

8分割マルチビューアー
MVW-90
取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

この製品を安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱をすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧以外では使用しないでください。
- ・AC 電源(室内電源)の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にかませないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。
機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシナールームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシナールーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- ・部品の取付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。
- ・電源が入っている時に行うと危険です。
- ・規格の異なる部品の交換は危険です。

5、その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- ・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
- ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
- ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。
そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
- ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。
- ・長時間運転による発熱にご注意ください。手などの皮膚が長時間にわたり本体へ触れてしまうと、低温やけどを起こす可能性があります。
- ・正面パネルなどを開閉する作業が必要な場合は、作業後に必ず元の通りに閉じてください。



注意

誤った取扱をすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、本製品を取扱う際は

- ・直射日光、水濡れ、湿気、ほこりなどを避けて使用してください。
- ・身体の静電気を取り除いてから作業を行ってください。

2、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

- ・コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチャー部品の接触不良になります。

3、機械の持ち運びに注意してください。

- ・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

4、フロッピーディスクやMOディスクを取扱う製品については

- ・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。
マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。
- ・フィルターが付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。
通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。
- ・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
- ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

●定期的なお手入れをおすすめします。

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタタイプの基板はコネクタの清掃を一月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

**上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

☆連絡先……ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間8:30～17:00

E-Mail cs@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 ** 090-3230-3507

受付時間9:00～17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承ください。

..... 目 次

この製品を安全にご使用いただくために	I
1. 概 説	1
1. 《特長》	1
2. 機能チェック	2
1. 構成	2
2. 機能チェック接続図	2
3. POWER ON までの手順	2
4. 基本動作チェック	3
3. 各部の名称と働き	4
1. MVW-90 正面	4
2. MVW-90 背面	5
3. MVW-90 側面	7
4. MVW-90 出荷時設定およびイニシャル設定	7
4-1). 工場出荷時設定	7
4-2). OUT FORMAT、NETWORK、SYSTEM の初期化設定	8
4-3). マルチウィンドウパターンの初期化設定	8
4-4). マルチウィンドウパターン毎の初期化設定	8
4. 操作方法	9
1. 操作概要	9
2. 操作例	9
3. メニューツリー	13
4. OUT FORMAT	21
5. MULTI PAT	21
6. PATTERN	22
7. NETWORK	29
8. SYSTEM	30
9. INPUT STATUS	38
10. VERSION	38
5. フォント	39
1. 標準フォント	39
2. TrueType フォント	39
6. FTP 転送	40
1. 概要	40
2. ネットワークの設定	40
3. ネットワーク接続の確認	40
4. ファイル仕様	41
5. FTP転送手順	41
7. SNMP通信	42

1. 概要	42
2. ネットワークの設定	42
3. ネットワーク接続の確認	42
4. 基本動作チェック	42
5. 工場出荷時設定	44
6. MIB 一覧	45
8. TELNET を使った設定	50
1. 概要	50
2. ネットワークの設定	50
3. ネットワーク接続の確認	50
4. TELNET による設定	50
setip	51
setgate	51
setmask	51
setmip	51
setcmtty	51
setups	52
setupc	52
wd	52
wt	52
rd	52
rt	53
lf	53
echo	53
reset	53
ver	54
Help	54
telnet を終了する場合	54
9. 外部インターフェース	55
1. PARALLEL REMOTE (DDK-50pin)	55
2. RS-232C (D-sub-9pin)	58
3. 10/100 BASE (RJ-45)	59
10. トラブルシューティング	78
11. 保守・点検	81
1. ファンユニット取り外し方法	81
2. ファンユニット実装方法	82
12. 仕 様	83

1. 機能	83
2. 定格	84
3. 性能	85
13. ブロック図.....	86
14. 外形寸法図	87
15. リモコン(オプション PRC-1201、MVW-90-01)	88
1. 概説	88
2. 構成	88
3. 接続	88
4. MVW-90-01 ケーブル外観.....	88
5. MVW-90-01 ケーブル配線図.....	89
6. 基本動作チェック	89
7. 各部の名称と働き	90
8. 仕様	92
9. 外形寸法	93
16. リモコン(オプション PRC-0401、MVW-90-02)	94
1. 概説	94
2. 構成	94
3. 接続	94
4. MVW-90-02 ケーブル外観.....	94
5. MVW-90-02 ケーブル配線図.....	95
6. 基本動作チェック	95
7. 各部の名称と働き	96
8. 仕様	98
9. 外形寸法	99

1. 概 説

MVW-90Iは8系統の映像信号を拡大・縮小し、自由にレイアウトできる8分割のマルチビューアーです。入力信号は、HD-SDI、SD-SDI、NTSC信号に対応し混在できます。

チャンネル毎に、音声レベルメーター表示、英数字や漢字のタイトル名を合成できます。

ONAIRタリー、NEXTタリー、AUDIOタリーが表示でき1台のモニターで映像監視ができます。入力信号をキャプチャーしてバックグラウンドとして合成することもできます。

1. 《特長》

- 入力信号は HD-SDI、SD-SDI、NTSC 信号を接続でき混在が可能 ※1
- NTSC 信号入力の際、アナログ音声を出力エンベデッド可能 ※2
- 出力信号フォーマットは HD-SDI または SD-SDI、DVI-D シングルリンク出力端子を装備 ※1 ※3
- DVI/HDMI 変換コネクタを使用することで、HDMI のエンベデッド音声も通過可能
- 4:3 から 16:9 へ変換のとき、スクイーズ・エッジクロップ・サイドパネルが選択可能
- 16:9 から 4:3 へ変換のとき、スクイーズ・エッジクロップ・レターボックスが選択可能
- 入力チャンネル 8、バックカラー、ファイルをバックグラウンドとして重ね合わせ可能
- バックグラウンドファイルは、4 枚まで保存可能
- 入力信号 8 をキャプチャーし、バックグラウンドとして保存可能
- 正面ボタンと外部接点により分割表示パターンを選択可能
- マルチウィンドウパターンは 8 種類登録可能 ※4
- 正面ボタンと外部接点により入力チャンネルのフルスクリーン表示が選択可能
- 正面ボタンと外部接点により入力チャンネル音声を選択し SDI OUT に重畳
- ON AIR/NEXT の TALLY 表示可能（ON AIR 赤枠、NEXT 緑枠）
- 各分割画面に最大 8CH の音声レベルメーターを表示、音声レベルメーターは 2ch、4ch、8ch を選択可能
- 入力毎に、エラー検出ができエラーをオンスクリーン表示、TALLY 出力が可能
- エラー検出は、NOSIG、TRS、CRC、BLACK、FREEZ、MUTE エラーが可能 ※5
- 表示位置のレイアウトおよびタイトル挿入は、MVW-90S プリセットアプリケーション使用

※1 HD-SDI は 1080I/59.94Hz、SD-SDI は 525I/59.94Hz のみ対応

SD-SDI 出力で、非同期の SD-SDI または NTSC を入力した場合、使用デバイスの関係で、特定位相において出力映像や音声にノイズが発生する可能性があります。基準リファレンスに同期した入力映像では問題ありません。

※2 アナログ音声は、1/2CH の L/R に対応

※3 DVI は 1080/59.94Hz および 525/59.94Hz のみ対応しています。

※4 マルチウィンドウパターンは正面ボタン 1～8 に割り当てられます。

※5 エラー検出の、CRC エラーは HD-SDI のみ、NTSC 入力の際には TRS エラー、CRC エラーは対応しておりません。

NTSC 入力の際には、量子化ノイズの関係でフリーズエラーは対応しておりません。

2. 機能チェック

1. 構成

【本 体】

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	8 分割マルチビューアー	MVW-90	1 台	
2	電源ケーブル		2 本	
3	マウントビス	5mm	4 本	
4	GPIコネクタ	57E-30500	1 個	半田付けタイプ
5	取扱説明書		1 部	本書
6	マルチビューアー・アプリケーション プログラム CD	MVW-90S	1 枚	
7	パラレルリモートコントローラ	PRC-1201、PRC-0401		(OPTION)※

表2-1 構成

※PRC-1201 では、12 種類までの外部制御が可能です。PRC-0401 では 4 種類までの外部制御が可能です。

パラレルリモート制御は、外部 GPI の設定によりパターン切り替えや ONAIR、NEXT タリー表示、音声切り替えなどができます。

TALLY バックを利用し、スイッチ LED を点灯することもできます。

2. 機能チェック接続図

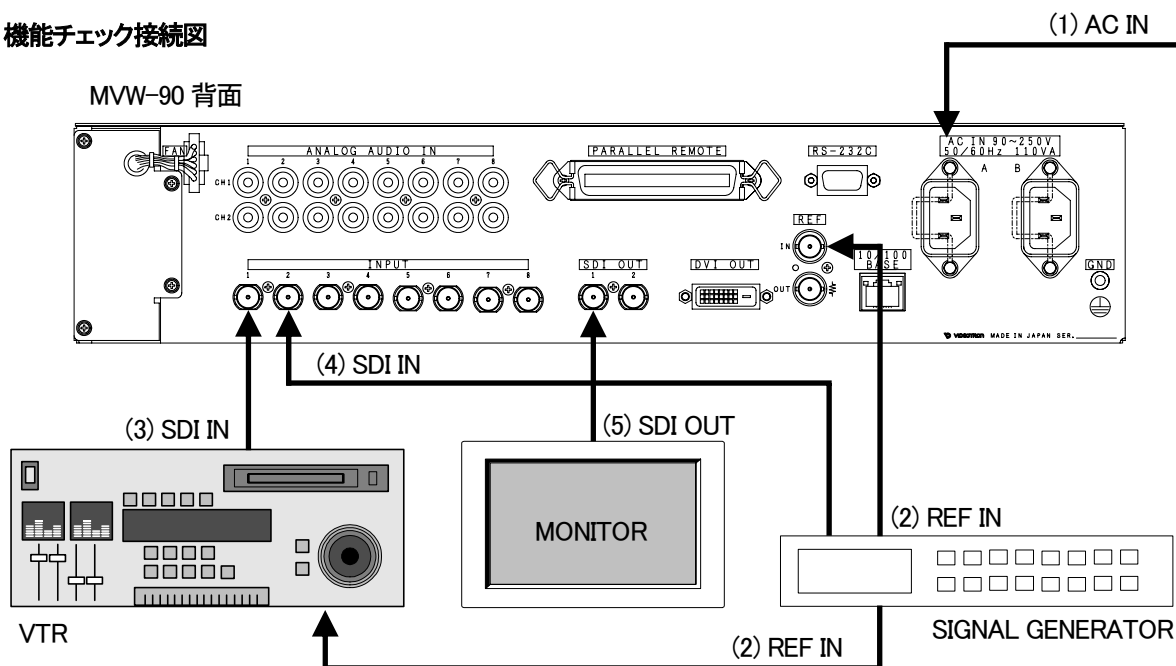


図2.1 機能チェック接続図

3. POWER ON までの手順

- (1) 本体背面の AC IN の A 側に電源ケーブルを接続し、AC100V を供給します。
- (2) MVW-90 本体と VTR の REF IN に BBS または 3 値 SYNC を接続します。
- (3) IN1 に VTR の SDI OUT 信号を入力します。
- (4) IN2 に SIGNAL GENERATOR の SDI OUT 信号を入力します。
- (5) OUTPUT1 を SDI 対応の MONITOR に接続します。
- (6) 本体の POWER A スイッチを ON にします。

電源スイッチを投入すると左横のパワーランプが緑色に点灯します。

4. 基本動作チェック

下記の操作で本体が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合は、P-76「9.トラブルシューティング」を参照してください。

- (1)前項の POWER ON までの手順に従い機器をセットアップします。
- (2)電源を投入すると出力画面上に、オンスクリーンメニューが表示され、起動シーケンスが開始されます。
※起動シーケンスは 10 秒ほど掛かります。
※その後バックグラウンドが登録されているときはバックグラウンドデータをメモリ転送します。
- (3)起動シーケンスが完了すると画面上に分割表示、またはフル画面表示で入力された映像が出力されます。
- (4)この状態で、INPUT SELECT の 1 と 2 が薄く橙点灯し、3 から 8 は入力信号がないので、薄く橙点滅します。
- (5)本体正面の INPUT SELECT 1 を押すと明るく橙色に点灯し、出力映像が入力 1 のフル画面が出力されます。
- (6)もう一度、INPUT SELECT 1 を押すとマルチウィンドウパターンに切り替わります。
- (7) MULTI を押し、INPUT SELECT の 1 ～ 8 を選択するとマルチウィンドウパターンが切り替わります。
- (8) AUDIO を押し、INPUT SELECT の 1 か 2 を選択すると音声出力が入力されている音声で切り替わります。
- (9)以上の動作が確認できましたら、基本動作チェックは完了です。

*文中の で囲まれている単語は前面パネルのボタンを意味します。

3. 各部の名称と働き

1. MVW-90 正面

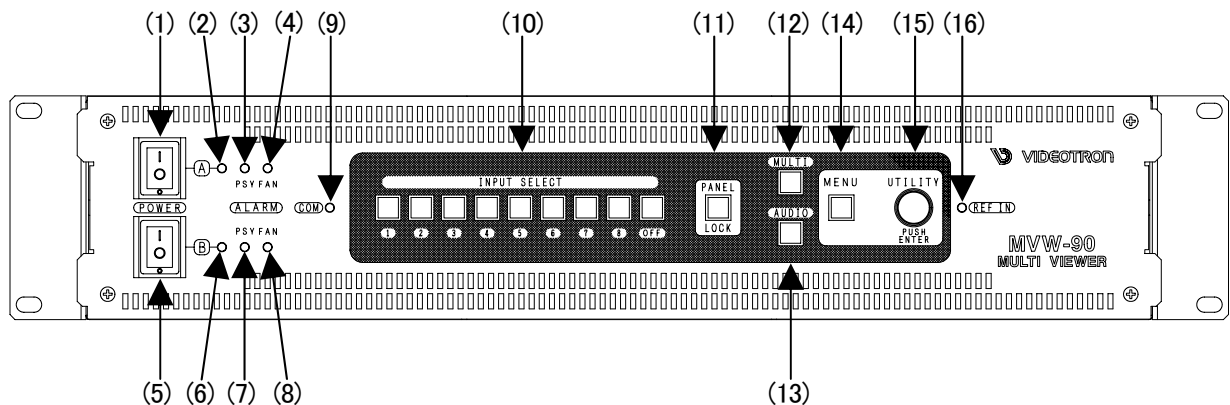


図3-1 本体正面

(1) パワースイッチA

電源AのON/OFFスイッチです。上に倒すことで、電源ONします。

(2) パワーランプA

電源Aの通電ランプです。

(3) パワーAアラーム

電源A、エラーアラームのインジケータです。電源OFFまたは電源異常で点滅します。

(4) FAN Aアラーム

FAN A、エラーアラームのインジケータです。停止または回転数が70%以下で点滅します。

(5) パワースイッチB

電源BのON/OFFスイッチです。上に倒すことで、電源ONします。

(6) パワーランプB

電源Bの通電ランプです。

(7) パワーBアラーム

電源B、エラーアラームのインジケータです。電源OFFまたは電源異常で点滅します。

(8) FAN Bアラーム

FAN B、エラーアラームのインジケータです。停止または回転数が70%以下で点滅します。

(9) COMランプ

外部制御(GPI、RS-232C、LAN転送)でコントロールしたときに緑点滅します。

(10) INPUT SELECT 1、2、3、4、5、6、7、8、OFF ボタン

ダイレクトに押すことで、選択した入力が入力フルスクリーン表示されます。音声も同時に切り替わります。

同じボタンをもう一度押すことで、マルチウィンドウパターンに戻ります。

マルチウィンドウパターンのとき、**OFF** ボタンを選択し **1** ~ **8** ボタンを選択することで、選択したVIEWをOFFすることができます。

ボタン点灯について

1 ~ **8** ボタンが薄く点滅 : 入力信号が接続されていないまたはフォーマット検知できない状態

1 ~ **8** ボタンが薄く点灯 : 入力信号が接続されている状態

1 ~ **8** ボタンが明るく点灯 : フルスクリーン、AUDIO、MULTI、VIEW ONが選択されている状態

※入力信号を接続してもフォーマットが検知出来ず、スイッチが点滅しているときは点滅しているスイッチ押ししてください。スイッチを押すことでフォーマットを再検知します。

(11) KEY LOCK ボタン

KEY LOCK ボタンを3秒間押し続けることで、キーロックが掛かりパワースイッチ以外のボタン、UTILITYは操作できません。また、RS-232C、UDP、TCP通信接続中は、橙点灯しボタン、UTILITYは操作できません。

(12) MULTIボタン

MULTI ボタンを押し、**1** ～ **8** ボタンを選択することで、マルチウィンドウパターンを選択できます。

1 ～ **8** ボタンを選択すると、選択したボタンが明るく点灯します。

(13) AUDIOボタン

AUDIO ボタンを押し、**1** ～ **8** ボタンを選択することで、出力音声を選択できます。

1 ～ **8** ボタンを選択すると、選択したボタンが明るく点灯します。

(14) MENUボタン

MENU ボタンを押すことで、出力映像に、オンスクリーンメニューが表示されます。

(15) UTILITYツマミ

メニュー操作で、項目の選択、または設定値の変更で使用します。ツマミと押しボタンが一緒になっています。以降文中では ツマミ と表記します。

(16) REF INランプ

外部同期信号のインジケータです。背面REF INにBBSまたは3値SYNCが接続されると緑点灯します。

2. MVW-90 背面

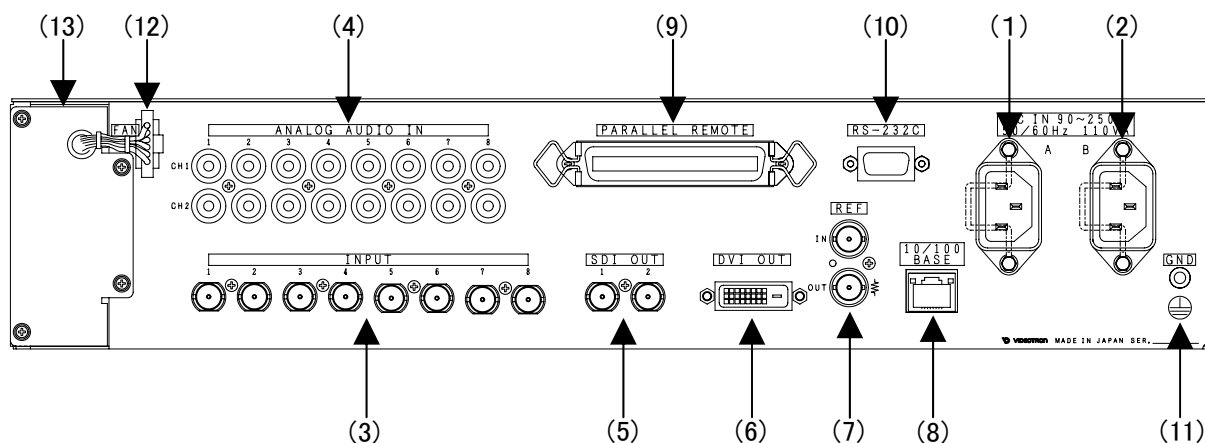


図3-2 本体背面

(1) AC IN A(電源ユニットA)

電源ユニットA側の3端子のAC電源コネクターです。AC100Vのコンセントに付属の電源ケーブルを接続します。

(2) AC IN B(電源ユニットB)

電源ユニットB側の3端子のAC電源コネクターです。AC100Vのコンセントに付属の電源ケーブルを接続します。

(3) IN1 から 8

映像信号の入力端子です。入力フォーマットはHD-SDI、SD-SDI、NTSCを入力します。

(4) ANALOG AUDIO IN CH-1、CH-2

アナログ音声の入力端子です。CH-1にLチャンネル CH-2にRチャンネルを接続します。

※アナログ音声は、映像入力信号がNTSCのときのみ有効です。

(5) SDI OUT1、2

SDIの出力端子です。

(6) DVI OUT

DVI OUTの出力端子です。

※DVI/HDMI変換コネクタを使用することで、HDMIのエンベデッド音声も通過します。

※DVIは1080/59.94Hzおよび525/59.94Hzのみ対応しています。

(7) REF IN、OUT

REF INは同期信号の入力端子です。入力信号に同期した3値SYNCまたはBBS信号を必ず入力してください。3値SYNCまたはBBS信号を判別し同期生成します。REF INに信号が入力されると自動で75Ω 終端が掛かります。OUTを他機器へブリッジ接続するときは、OUT側に同軸を挿入することで、75Ω 終端はオープンとなります。ブリッジ先で75Ω 終端してください。

注意！LINEに同期したリファレンス信号を入力しないと、音声ノイズや、映像ノイズの原因となります。

(8) 10/100 BASE

10/100BASE-T対応のLANコネクタです。画像ファイルのFTP転送やSNMP、UDP、TCP通信で使します。

詳細は、P-39「5. FTP転送」および P-41「6. SNMP通信」の項を参照してください。

(9) PARALLEL REMOTE I/F

接点制御のI/Fです。フルスクリーン選択、マルチウィンドウパターン選択、出力音声選択、ON AIR、NEXTタリ制御等、基本的動作の接点制御が可能です。

詳細は、P-54「8.1 PARALLEL REMOTE (DDK-50pin)」の項を参照してください。

(10) RS-232C I/F

RS-232CのI/Fです。フルスクリーン選択、マルチウィンドウパターン選択、出力音声選択、ON AIR、NEXTタリ制御等、基本的動作の外部制御が可能です。

詳細は、P-57「8.2 RS-232C (D-sub9pin)」の項を参照してください。

(11) アース端子

フレームGNDです。

(12) FANユニット脱着コネクタ

FAN交換の際は脱着コネクタとネジを取り外し、FANユニットを引き抜きます。

(13) FANユニット

内部冷却用の、FANユニットです。

3. MVW-90 側面

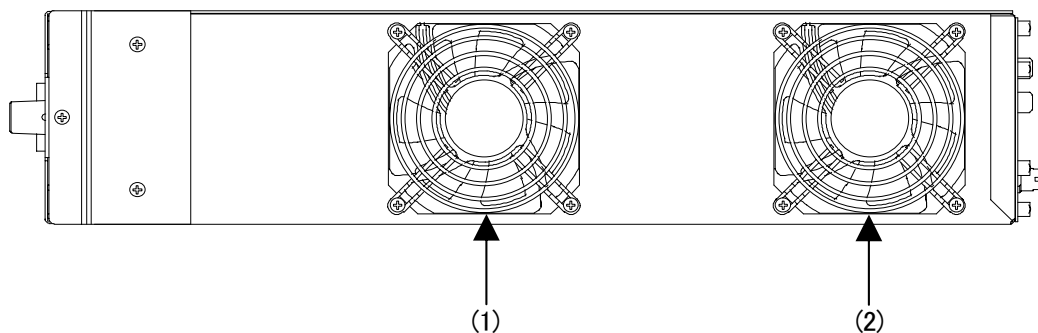


図 3-3 本体側面の名称と働き

(1) FAN A

本機内部を冷却するための回転センサー付き電動ファンです。回転数が70%以下または停止のときPARALLEL REMOTE I/FからERROR ALARMを接点出力します。

(2) FAN B

本機内部を冷却するための回転センサー付き電動ファンです。回転数が70%以下または停止のときPARALLEL REMOTE I/FからERROR ALARMを接点出力します。

4. MVW-90 出荷時設定およびイニシャル設定

正面スイッチを使用して設定の初期化を行うことができます。

初期化は工場出荷時設定、マルチウィンドウパターン of 初期化設定、マルチウィンドウパターン毎のイニシャル設定の3種類があります。

4-1). 工場出荷時設定

下記の操作で工場出荷時の設定に戻ります。

注意！ 設定値は全て初期状態に戻ります。必要な設定データはメモなどで記録してください。

工場出荷時の初期設定値は、P-13 3. メニューツリーを参照してください。

(1) 本体電源スイッチをOFFにします。

(2) **MULTI** と **AUDIO** ボタンを押したまま本体電源スイッチをONして、3秒間待ちます。

全てのバックアップが初期化されます。

(3) 一度、電源スイッチをOFFにします。

(4) 再度、電源スイッチをONすることで、工場出荷時の設定に戻ります。

4-2). OUT FORMAT、NETWORK、SYSTEM の初期化設定

下記の操作でOUTFORMAT、NETWORK、SYSTEMに関する設定値は初期値に戻ります。

注意！ 設定値は全て初期状態に戻ります。必要な設定データはメモなどで記録してください。

OUT FORMAT、NETWORK、SYSTEM の初期設定値は、P-13 3. メニューツリーを参照してください。

- (1) 本体電源スイッチをOFFにします。
- (2) **MULTI** と **MENU** ボタンを押したまま本体電源スイッチをONして、3秒間待ちます。
OUT FORMAT、NETWORK、SYSTEMのバックアップデータが初期化されます。
- (3) 一度、電源スイッチをOFFにします。
- (4) 再度、電源スイッチをONすることで、OUT FORMAT、NETWORK、SYSTEMが初期値に戻ります。

※この操作に於いて、SYSTEM TIMERの設定値は初期化されません。

4-3). マルチウィンドウパターンの初期化設定

下記の操作で全てのマルチウィンドウパターンの設定値が初期状態に戻ります。

注意！ マルチウィンドウパターンUSER1～USER8は初期状態に戻ります。

必要な設定データはメモなどで記録してください。

初期設定値は、P-13 3. メニューツリーを参照してください。

- (1) 筐体の電源スイッチをOFFにします。
- (2) **MULTI** ボタンと **OFF** を押したまま筐体の電源スイッチをONにして、3秒間待ちます。
マルチウィンドウパターンに関する全てのバックアップデータが初期化されます。
- (3) 一度、筐体の電源スイッチをOFFにします。
- (4) 再度、電源スイッチをONにすることで、マルチウィンドウパターンは初期状態に戻ります。

4-4). マルチウィンドウパターン毎の初期化設定

下記の操作で選択されたマルチウィンドウパターンの設定値が初期状態に戻ります。

注意！ 選択されたマルチウィンドウパターンは初期状態に戻ります。

必要な設定データはメモなどで記録してください。

初期設定値は、P-13 3. メニューツリーを参照してください。

USER1 PATTERNの初期化(例)

- (1) 筐体の電源スイッチをOFFにします。
- (2) **MULTI** ボタンと **1** を押したまま筐体の電源スイッチをONにして、3秒間待ちます。
USER1マルチウィンドウパターンに関する全てのバックアップデータが初期化されます。
- (3) 一度、筐体の電源スイッチをOFFにします。
- (4) 再度、電源スイッチをONにすることで、USER1マルチウィンドウパターンは初期状態に戻ります。
- (5) 他のマルチウィンドウパターンを初期化するときは、**MULTI** + **1** ～ **8** のどれか一つを同時に押してください。

4. 操作方法

1. 操作概要

- (1) 電源投入後、出力画面に次の様にメッセージが表示されます。

MVW-90
VIDEOTRON Corp.
Program Version :01.00.00.R00

約10秒後に、設定されたマルチウィンドウパターンまたはフル画面表示で映像出力されます。

その後、BACKGROUNDファイルを転送します。ファイル転送には20秒ほど掛かります。

画面表示されないときは、出力フォーマットの確認と接続しているモニター設定を確認してください。

- (2) 正面の **MENU** ボタンを押します。ボタンが点灯し、出力画面にオンスクリーンメニューが表示されます。
オンスクリーンメニューをキャンセルするときは、**MENU** ボタンをもう一度押します。

- (3) オンスクリーンメニューが表示されている状態で、ツマミを左右に回して設定メニューの項目に→を移動します。
ツマミを押すことで階層メニューに入ります。

- (4) ツマミを押して項目を決定します。この時選択した項目によって、更に階層メニューに移ります。**MENU** ボタンを押すと、一つ上の階層メニューに戻ります。

- (5) (3)、(4)の操作を繰り返し、設定の変更を行います。

項目を選択した後、その設定を決定するには必ずツマミを押してください。ツマミを押さずにメニューを抜けると項目や数値はキャンセルされます。

2. 操作例

出力映像フォーマットHD-SDI、マルチウィンドウパターン ユーザーパターン2、でVIEW8の画像サイズを720ドットとし、プライオリティを最上位にして表示させます。

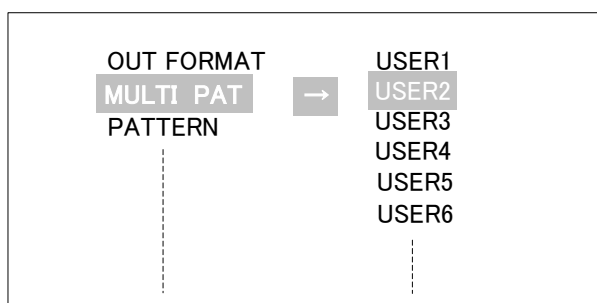
- (1) **MENU** ボタンを押して設定メニューに入ります。**MENU** ボタンが橙点灯します。
ツマミを回して→カーソルを『OUT FORMAT』に合わせ、ツマミを押します。
階層メニューに→カーソルが移動します。ツマミで『1080i』を選択し、ツマミを押して決定します。



白文字で選択されたメニューが設定した項目です。

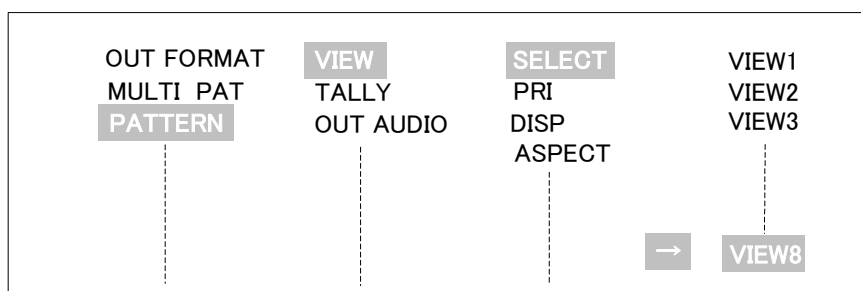
『1080i』が白文字で選択されます。→カーソルは『OUT FORMAT』に移動します。

- (2) **MENU** ボタンを選択した状態で、ツマミを回して→カーソルを『MULTI PAT』に合わせツマミを押します。階層メニューから『USER2』を選択しツマミを押します。



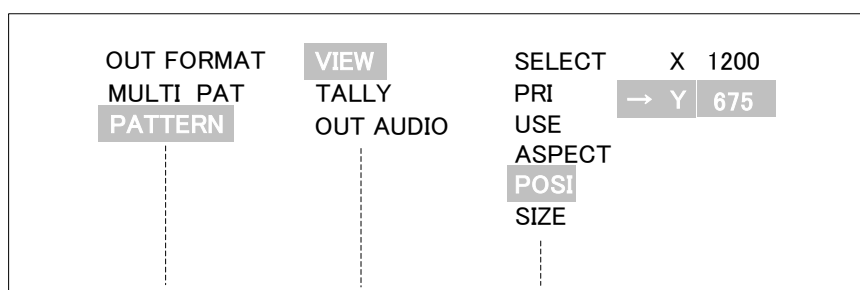
『USER2』が白文字で選択されます。→カーソルは『MULTI PAT』に移動します。

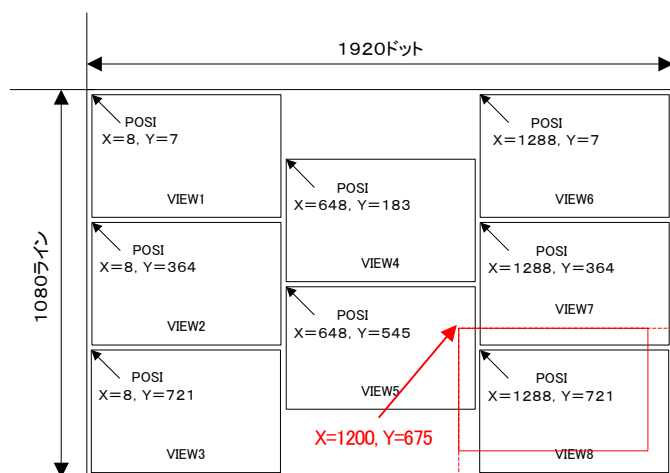
- (3) ツマミを回して→カーソルを『PATTERN』に合わせツマミを押します。階層メニューから『VIEW』を選択しツマミを押します。階層メニューから『SELECT』を選択しツマミを押します。更に階層メニューから『VIEW8』を選択しツマミを押します。



『VIEW8』が白文字で選択されます。→カーソルは『SELECT』に移動します。

- (4) この状態でツマミを回して→カーソルを『POS』に合わせツマミを押します。X、Yのポジションを設定します。
ここでは、画枠サイズ720に合わせるので、X値 $1920 - 720 = 1200$ 、Y値 $1080 - 405 = 675$ に設定します。
ツマミでX値を1200、Y値を675に設定します。





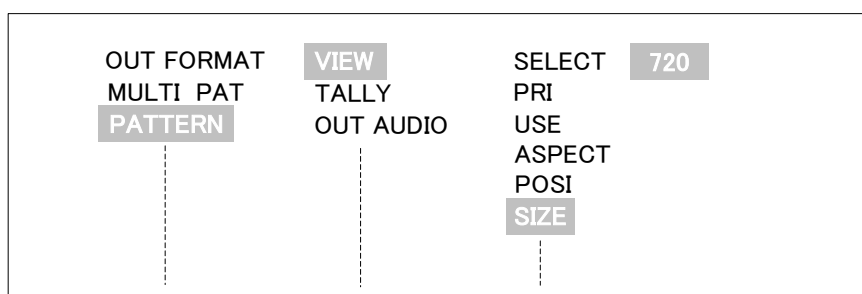
HD-SDIでの最大画枠サイズは1920ドット×1080ラインです。初期値のマルチウィンドウパターン ユーザーパターン2の各VIEWサイズは624×351に設定されています。

POSI値は左図の様に左上が原点となり、各々の数値が初期値として設定されています。

X値、Y値が大きすぎると、リミットが掛かり全画面表示されませんので注意してください。

MENU ボタンを押し、一つ上の階層メニューに戻ります。

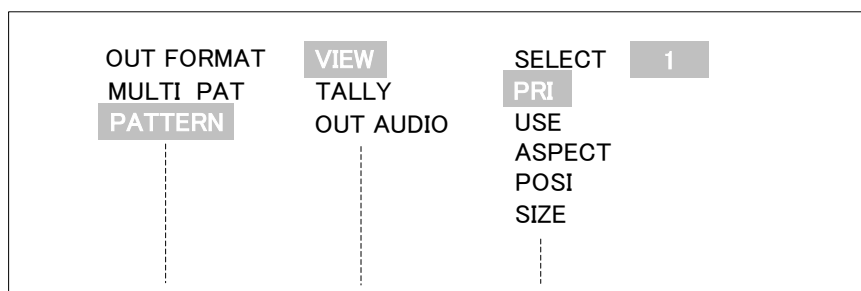
- (5) ツマミを回して『SIZE』を選択しツマミを押します。ツマミを回し、サイズを『720』に設定します。ツマミを押しサイズを決定します。



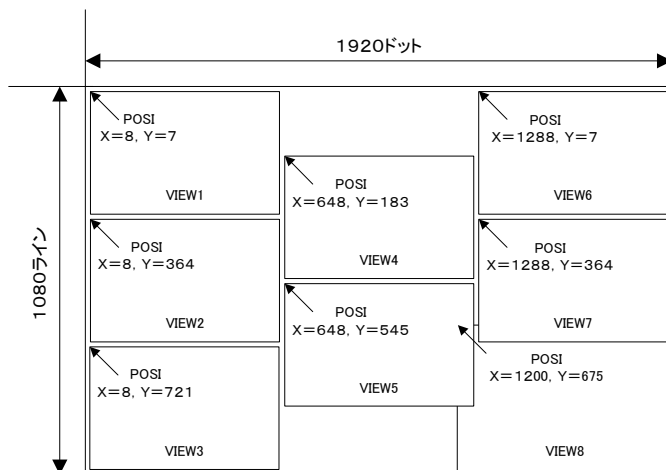
SIZE『720』に設定することで、縦方向は自動的に16:9、4:3の比率で拡大/縮小します。

→カーソルは『SIZE』に移動します。

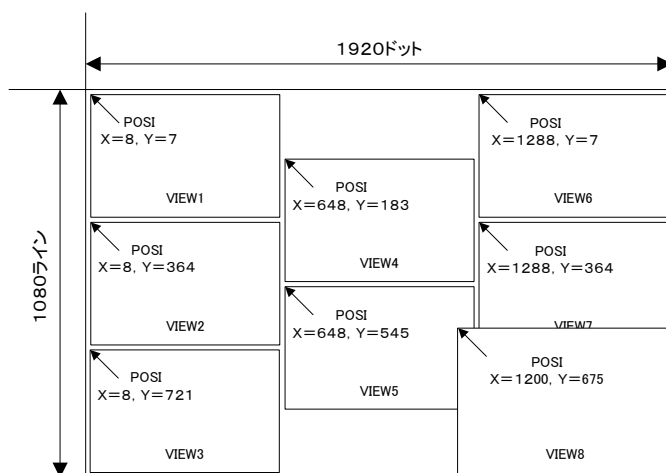
- (6) ツマミを回して『PRI』を選択しツマミを押します。初期値ではVIEW8は、PRIORITY『8』に設定されています。ツマミを回し、PRIORITYを『1』に変更しツマミを押します。



重ね合わせの優先順位を変更することで、変更したVIEW以降の優先順位も変わります。



左図のように、初期設定ではVIEW8のPRIORITYが『8』に設定されているので重ね合わせの順番は最下位となります。



左図のように、VIEW8にPRIORITY『1』を設定することで、重ね合わせの順番が最上位となりVIEW5、VIEW7の上にVIEW8が表示されます。

PRIORITYは1が最上位、8が最下位となります。

3. メニューツリー

本機は下記の階層メニューで管理された設定項目があります。灰色で選択されている項目は、出荷時または初期値の設定値です。

MENU	
OUT FORMAT	出力フォーマットの選択
1080i	HD-SDIを選択します
525i	SD-SDIを選択します
MULTI PAT	マルチウィンドウパターンを選択します
USER1	ユーザープリセットパターン1を選択します
USER2	ユーザープリセットパターン2を選択します
USER3	ユーザープリセットパターン3を選択します
USER4	ユーザープリセットパターン4を選択します
USER5	ユーザープリセットパターン5を選択します
USER6	ユーザープリセットパターン6を選択します
USER7	ユーザープリセットパターン7を選択します
USER8	ユーザープリセットパターン8を選択します
PATTERN	画面に表示されているマルチウィンドウの各設定をします
VIEW	設定変更するVIEWを選択します
SELECT	VIEWを選択します
VIEW1	VIEW1を選択します
VIEW2	VIEW2を選択します
VIEW3	VIEW3を選択します
VIEW4	VIEW4を選択します
VIEW5	VIEW5を選択します
VIEW6	VIEW6を選択します
VIEW7	VIEW7を選択します
VIEW8	VIEW8を選択します
PRI	画像の重ね合わせ優先順位を選択します
1 ~ 8	重ね合わせの優先順位を選択します 1 (高) 8 (低)
DISP	VIEWを表示する、表示しないを選択します
ON	VIEWを表示します
OFF	VIEWを表示しません
ASPECT	出力映像の縦横比を選択します
SQUEEZE	出力フォーマットの縦横比に合わせます
EDGECROP	縦横を等倍率で引き伸ばし上下左右を切り取ります
SP/LB	縦横を等倍率で引き伸ばし幅をあわせて上下左右を黒く塗ります
POSI	VIEWの表示位置を設定します
X	横方向の位置を設定します
0 ~ 8 ~ 1728	0~1728(HD)0~648(SD)を設定します (HD、SD共に最小サイズの時)
Y	縦方向の位置を設定します
0 ~ 7 ~ 972	0~972(HD)0~437(SD)を設定します (HD、SD共に最小サイズの時)
SIZE	VIEWの表示サイズを変更します
192 ~ 624 ~ 1920	192~1920(HD)72~720(SD)を設定します
FRAME	VIEWフレーム枠の選択をします
WIDTH	VIEWフレーム枠の太さを選択します
2,4,6,8,10	VIEWフレーム枠を2(ドット、ライン)~10(ドット、ライン)から選択します
DISP	VIEWフレーム枠を表示する、表示しないを選択します
ON	VIEWフレーム枠を表示します
OFF	VIEWフレーム枠を表示しません
TITLE	VIEWタイトルの表示選択をします
LAYOUT	タイトルの表示位置を選択します
TOP L	タイトル表示位置を左上にします
TOP C	タイトル表示位置を上センターにします
TOP R	タイトル表示位置を右上にします
BTM L	タイトル表示位置を左下にします
BTM C	タイトル表示位置を下センターにします
BTM R	タイトル表示位置を右下にします

SIZE	タイトルのフォントサイズを選択します
20 ~ 50 ~ 100	タイトルのフォントサイズを40級~100級より選択します
DISP	タイトルを表示する、表示しないを選択します
ON	タイトルを表示します
OFF	タイトルを表示しません
METER	オーディオレベルメーターの設定をします
2CH	オーディオレベルメーターを2チャンネル表示します
4CH	オーディオレベルメーターを4チャンネル表示します
8CH	オーディオレベルメーターを8チャンネル表示します
OFF	オーディオレベルメーターを表示しません
TALLY	オンエア、ネクストタリー枠の表示選択をします
ONAIR	オンエアタリー枠の選択を行います
VIEW1	オンエアタリー枠をVIEW1に設定します
VIEW2	オンエアタリー枠をVIEW2に設定します
VIEW3	オンエアタリー枠をVIEW3に設定します
VIEW4	オンエアタリー枠をVIEW4に設定します
VIEW5	オンエアタリー枠をVIEW5に設定します
VIEW6	オンエアタリー枠をVIEW6に設定します
VIEW7	オンエアタリー枠をVIEW7に設定します
VIEW8	オンエアタリー枠をVIEW8に設定します
OFF	オンエアタリー枠を表示しません
NEXT	ネクストタリー枠の選択を行います
VIEW1	ネクストタリー枠をVIEW1に設定します
VIEW2	ネクストタリー枠をVIEW2に設定します
VIEW3	ネクストタリー枠をVIEW3に設定します
VIEW4	ネクストタリー枠をVIEW4に設定します
VIEW5	ネクストタリー枠をVIEW5に設定します
VIEW6	ネクストタリー枠をVIEW6に設定します
VIEW7	ネクストタリー枠をVIEW7に設定します
VIEW8	ネクストタリー枠をVIEW8に設定します
OFF	ネクストタリー枠を表示しません
WIDTH	タリー枠の太さを選択します
2 ~ 6 ~ 10	タリー枠の幅を2(ドット、ライン)~10(ドット、ライン)から選択します
OUT AUDIO	出力音声を選択します
SELECT	出力音声のVIEWを選択します
VIEW1	VIEW1の音声を選択します
VIEW2	VIEW2の音声を選択します
VIEW3	VIEW3の音声を選択します
VIEW4	VIEW4の音声を選択します
VIEW5	VIEW5の音声を選択します
VIEW6	VIEW6の音声を選択します
VIEW7	VIEW7の音声を選択します
VIEW8	VIEW8の音声を選択します
OFF	出力音声をオフします
MARKER	音声マーカー(♪)を表示する、表示しないを選択します
ON	音声マーカー(♪)を表示します
OFF	音声マーカーを表示しません
FULL SCREEN	全画面表示するチャンネルを選択します
VIEW1	VIEW1を全画面表示します
VIEW2	VIEW2を全画面表示します
VIEW3	VIEW3を全画面表示します
VIEW4	VIEW4を全画面表示します
VIEW5	VIEW5を全画面表示します
VIEW6	VIEW6を全画面表示します
VIEW7	VIEW7を全画面表示します
VIEW8	VIEW8を全画面表示します
OFF	マルチウィンドウ表示に戻ります

BACKGROUND	バックグラウンドの素材を選択します
BLACK	バックグラウンドを黒に設定します
COLOR	バックカラーを任意の色に設定します
LUM	バックカラーの輝度を設定します
0 ~ 50 ~ 110	バックカラーの輝度を0~110%より選択します
HUE	バックカラーの色度を設定します
0 ~ 359	バックカラーの色度を0~359%より選択します
SAT	バックカラーの彩度を設定します
0 ~ 100	バックカラーの彩度を0~100%より選択します
IN8 THROU	バックグラウンドを入力8のスルー画面にします
FILE	キャプチャーまたはFTP転送したファイルを選択します
1 ~ 4	バックグラウンドをファイル番号1~4で指定します
TYPE	VIEWの表示タイプを選択します
TYPE A	VIEW画枠にフルサイズで表示します
TYPE B	VIEW画枠に対し、縮小して上下左右に黒味を挿入し表示します
NETWORK	IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどを設定します
IP ADDRESS	IPアドレスを設定します
192.168. 1. 1	ネットワーク管理者より割り当てられたIPアドレスを設定します
SUBNET MASK	サブネットマスクを設定します
255.255.255. 0	ネットワーク管理者より割り当てられたサブネットマスクを設定します
GATEWAY	ゲートウェイを設定します
192.168. 1. 0	ネットワーク管理者より割り当てられたゲートウェイを設定します
MANEGER IP1	マネージャーのIPを設定します
192.168. 1. 10	SNMPマネージャーのIPを設定します
MANEGER IP2	マネージャーのIPを設定します
0. 0. 0. 0	SNMPマネージャーのIPを設定します
MANEGER IP3	マネージャーのIPを設定します
0. 0. 0. 0	SNMPマネージャーのIPを設定します
MANEGER IP4	マネージャーのIPを設定します
0. 0. 0. 0	SNMPマネージャーのIPを設定します
MANEGER IP5	マネージャーのIPを設定します
0. 0. 0. 0	SNMPマネージャーのIPを設定します
MANEGER IP6	マネージャーのIPを設定します
0. 0. 0. 0	SNMPマネージャーのIPを設定します
MANEGER IP7	マネージャーのIPを設定します
0. 0. 0. 0	SNMPマネージャーのIPを設定します
MANEGER IP8	マネージャーのIPを設定します
0. 0. 0. 0	SNMPマネージャーのIPを設定します
MANEGER IP9	マネージャーのIPを設定します
0. 0. 0. 0	SNMPマネージャーのIPを設定します
MANEGER IP10	マネージャーのIPを設定します
0. 0. 0. 0	SNMPマネージャーのIPを設定します
SYSTEM	システム設定をします
BAUDRATE	RS-232Cのボーレートを設定します
9600	ボーレートを9600に設定します
19200	ボーレートを19200に設定します
38400	ボーレートを38400に設定します
TIMER	日付、時刻を設定します
DATE	日付を設定します
XXXX/XX/XX	日付を設定します
TIME	時刻を設定します
XX:XX:XX	時刻を設定します
SERVER PORT	UDP通信ポート番号を設定します
49152 ~ 50801 ~ 65535	MVW-8の通信ポート番号を設定します

GPI1 - 8	外部リモートGPI1～8を設定します
FULL	外部リモートGPI1～8をFULL SCREEN選択に設定します
MULTI	外部リモートGPI1～8をMULTIPTRN選択に設定します
AUDIO	外部リモートGPI1～8を出力音声選択に設定します
ONAIR	外部リモートGPI1～8をオンエアタリー選択に設定します
NEXT	外部リモートGPI1～8をネクストタリー選択に設定します
VIEW	外部リモートGPI1～8をVIEWのON/OFFに設定します
GPI9 - 16	外部リモートGPI9～16を設定します
FULL	外部リモートGPI9～16をFULL SCREEN選択に設定します
MULTI	外部リモートGPI9～16をMULTIPTRN選択に設定します
AUDIO	外部リモートGPI9～16を出力音声選択に設定します
ONAIR	外部リモートGPI9～16をオンエアタリー選択に設定します
NEXT	外部リモートGPI9～16をネクストタリー選択に設定します
VIEW	外部リモートGPI9～16をVIEWのON/OFFに設定します
TALLY1 - 8	外部リモートTALLY1～8を設定します
ONAIR	外部リモートTALLY1～8をオンエアタリーに設定します
NEXT	外部リモートTALLY1～8をネクストタリーに設定します
AUDIO	外部リモートTALLY1～8をオーディオタリーに設定します
INP1 ERR	外部リモートTALLY1～8をINPUT1のエラータリーに設定します
INP2 ERR	外部リモートTALLY1～8をINPUT2のエラータリーに設定します
INP3 ERR	外部リモートTALLY1～8をINPUT3のエラータリーに設定します
INP4 ERR	外部リモートTALLY1～8をINPUT4のエラータリーに設定します
INP5 ERR	外部リモートTALLY1～8をINPUT5のエラータリーに設定します
INP6 ERR	外部リモートTALLY1～8をINPUT6のエラータリーに設定します
INP7 ERR	外部リモートTALLY1～8をINPUT7のエラータリーに設定します
INP8 ERR	外部リモートTALLY1～8をINPUT8のエラータリーに設定します
ALL ERR	外部リモートTALLY1～8をINPUT1～8のエラータリーに設定します
VIEW	外部リモートTALLY1～8をVIEW ON/OFFタリーに設定します
TALLY9～16	外部リモートTALLY9～16を設定します
ONAIR	外部リモートTALLY9～16をオンエアタリーに設定します
NEXT	外部リモートTALLY9～16をネクストタリーに設定します
AUDIO	外部リモートTALLY9～16をオーディオタリーに設定します
INP1 ERR	外部リモートTALLY9～16をINPUT1のエラータリーに設定します
INP2 ERR	外部リモートTALLY9～16をINPUT2のエラータリーに設定します
INP3 ERR	外部リモートTALLY9～16をINPUT3のエラータリーに設定します
INP4 ERR	外部リモートTALLY9～16をINPUT4のエラータリーに設定します
INP5 ERR	外部リモートTALLY9～16をINPUT5のエラータリーに設定します
INP6 ERR	外部リモートTALLY9～16をINPUT6のエラータリーに設定します
INP7 ERR	外部リモートTALLY9～16をINPUT7のエラータリーに設定します
INP8 ERR	外部リモートTALLY9～16をINPUT8のエラータリーに設定します
ALL ERR	外部リモートTALLY9～16をINPUT1～8のエラータリーに設定します
VIEW	外部リモートTALLY9～16をVIEW ON/OFFタリーに設定します
AUDIO METER	オーディオレベルメーターの色境界を設定します
YELLOW	オーディオレベルメーター黄色の境界を設定します
-60～-8 ～0	オーディオレベルメーター黄色の境界を-60dB～0dBより設定します
GREEN	オーディオレベルメーター緑色の境界を設定します
-60～-18 ～0	オーディオレベルメーター緑色の境界を-60dB～0dBより設定します
TITLE TONE	タイトルの文字色を選択します
WHITE	タイトル文字色を白レベルに設定します
GRAY	タイトル文字色をグレーレベルに設定します
FRAME TONE	VIEWフレーム枠の色を選択します
WHITE	VIEWフレーム枠を白レベルに設定します
GRAY	VIEWフレーム枠をグレーレベルに設定します

BG FILE WRITE	バックグラウンドをキャプチャーし、FILEに書き込みます
1 ~ 4	FILE番号、1~4を指定します
WRITE SURE?	書き込み開始の確認メッセージです
YES	書き込み開始します
NO	書き込みをキャンセルします
ERROR DETECT	各入力のエラーメッセージを設定します
INP1	INPUT1のエラーメッセージを設定します
NOSIG	INPUT1の無信号エラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT1の無信号エラー表示をする、しないを選択します
TRS	INPUT1のTRSエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT1のTRSエラー表示をする、しないを選択します
CRC	INPUT1のCRCエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT1のCRCエラー表示をする、しないを選択します
BLACK	INPUT1の黒味エラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT1の黒味エラー表示をする、しないを選択します
FREEZ	INPUT1のFREEZエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT1のFREEZエラー表示をする、しないを選択します
MUTE	INPUT1のMUTEエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT1のMUTEエラー表示をする、しないを選択します
INP2	INPUT2のエラーメッセージを設定します
NOSIG	INPUT2の無信号エラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT2の無信号エラー表示をする、しないを選択します
TRS	INPUT2のTRSエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT2のTRSエラー表示をする、しないを選択します
CRC	INPUT2のCRCエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT2のCRCエラー表示をする、しないを選択します
BLACK	INPUT2の黒味エラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT2の黒味エラー表示をする、しないを選択します
FREEZ	INPUT2のFREEZエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT2のFREEZエラー表示をする、しないを選択します
MUTE	INPUT2のMUTEエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT2のMUTEエラー表示をする、しないを選択します
INP3	INPUT3のエラーメッセージを設定します
NOSIG	INPUT3の無信号エラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT3の無信号エラー表示をする、しないを選択します
TRS	INPUT3のTRSエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT3のTRSエラー表示をする、しないを選択します
CRC	INPUT3のCRCエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT3のCRCエラー表示をする、しないを選択します
BLACK	INPUT3の黒味エラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT3の黒味エラー表示をする、しないを選択します
FREEZ	INPUT3のFREEZエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT3のFREEZエラー表示をする、しないを選択します
MUTE	INPUT3のMUTEエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT3のMUTEエラー表示をする、しないを選択します
INP4	INPUT4のエラーメッセージを設定します
NOSIG	INPUT4の無信号エラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT4の無信号エラー表示をする、しないを選択します
TRS	INPUT4のTRSエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT4のTRSエラー表示をする、しないを選択します
CRC	INPUT4のCRCエラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT4のCRCエラー表示をする、しないを選択します
BLACK	INPUT4の黒味エラー表示を選択します
ENA / DIS	INPUT4の黒味エラー表示をする、しないを選択します

TIME	エラーを検知する時間を設定します
NOSIG	無信号エラーの検知時間を設定します
0 ~ 30 ~ 1800	無信号エラーの検知時間を0~1800フレームより選択します
BLACK	黒味エラーの検知時間を設定します
0 ~ 30 ~ 1800	黒味エラーの検知時間を0~1800フレームより選択します
FREEZ	フリーズエラーの検知時間を設定します
0 ~ 30 ~ 1800	フリーズエラーの検知時間を0~1800フレームより選択します
MUTE	音声ミュートエラーの検知時間を設定します
0 ~ 300 ~ 1800	音声ミュートエラーの検知時間を0~1800フレームより選択します
ERROR TALLY	エラータリーの出力アサインを設定します
NO1	TALLY1に出力するエラーを選択します
NOSIG	TALLY1に無信号エラーを選択します
TRS	TALLY1にTRSエラーを選択します
CRC	TALLY1にCRCエラーを選択します
BLACK	TALLY1に黒味エラーを選択します
FREEZ	TALLY1にフリーズエラーを選択します
MUTE	TALLY1に音声ミュートエラーを選択します
NO2	TALLY2に出力するエラーを選択します
NOSIG	TALLY2に無信号エラーを選択します
TRS	TALLY2にTRSエラーを選択します
CRC	TALLY2にCRCエラーを選択します
BLACK	TALLY2に黒味エラーを選択します
FREEZ	TALLY2にフリーズエラーを選択します
MUTE	TALLY2に音声ミュートエラーを選択します
NO3	TALLY3に出力するエラーを選択します
NOSIG	TALLY3に無信号エラーを選択します
TRS	TALLY3にTRSエラーを選択します
CRC	TALLY3にCRCエラーを選択します
BLACK	TALLY3に黒味エラーを選択します
FREEZ	TALLY3にフリーズエラーを選択します
MUTE	TALLY3に音声ミュートエラーを選択します
NO4	TALLY4に出力するエラーを選択します
NOSIG	TALLY4に無信号エラーを選択します
TRS	TALLY4にTRSエラーを選択します
CRC	TALLY4にCRCエラーを選択します
BLACK	TALLY4に黒味エラーを選択します
FREEZ	TALLY4にフリーズエラーを選択します
MUTE	TALLY4に音声ミュートエラーを選択します
NO5	TALLY5に出力するエラーを選択します
NOSIG	TALLY5に無信号エラーを選択します
TRS	TALLY5にTRSエラーを選択します
CRC	TALLY5にCRCエラーを選択します
BLACK	TALLY5に黒味エラーを選択します
FREEZ	TALLY5にフリーズエラーを選択します
MUTE	TALLY5に音声ミュートエラーを選択します
NO6	TALLY6に出力するエラーを選択します
NOSIG	TALLY6に無信号エラーを選択します
TRS	TALLY6にTRSエラーを選択します
CRC	TALLY6にCRCエラーを選択します
BLACK	TALLY6に黒味エラーを選択します
FREEZ	TALLY6にフリーズエラーを選択します
MUTE	TALLY6に音声ミュートエラーを選択します

ERROR DISP	エラー表示モードを選択します
DISPLAY	エラー表示する/表示しないを選択します
ON	エラー表示します
OFF	エラー表示しません
MODE	エラー表示モードを選択します
HOLD	エラー表示をホールドします
ONE SHOT	エラー発生毎にエラー表示します
STATUS CLR	ホールドされているエラー表示を全てクリアします
FONT TYPE	タイトル、オーディオマーカのフォントを選択します
VNG	標準フォント
TTF	TTFフォント
INPUT STATUS	入力映像のフォーマット、状態を確認できます
VIEW1	INPUT1の入力フォーマット、状態を確認できます
HD SDI	INPUT1にHD SDIが接続されています
SD SDI	INPUT1にSD SDIが接続されています
NTSC	INPUT1にNTSCが接続されています
NO SIGNAL	INPUT1に信号が接続されていません
VIEW8	INPUT8の入力フォーマット、状態を確認できます
VERSION	プログラムバージョンとハードウェアバージョンを表示します
MVW-90	型番を表示します
SoftVer :	
01.00.00.R00	プログラムバージョンが表示されます
2012/XX/XX/XXX	プログラムの作成日が表示されます
Build-XX:XX:XX	プログラムの作成時間が表示されます
HradVer :	
0101	入力系1のFPGAバージョンです
0201	入力系2のFPGAバージョンです
0301	メインプロセスのFPGAバージョンです
0401	出力系のFPGAバージョンです

4. OUT FORMAT

OUT FORMAT は、出力の映像フォーマットを決定します。

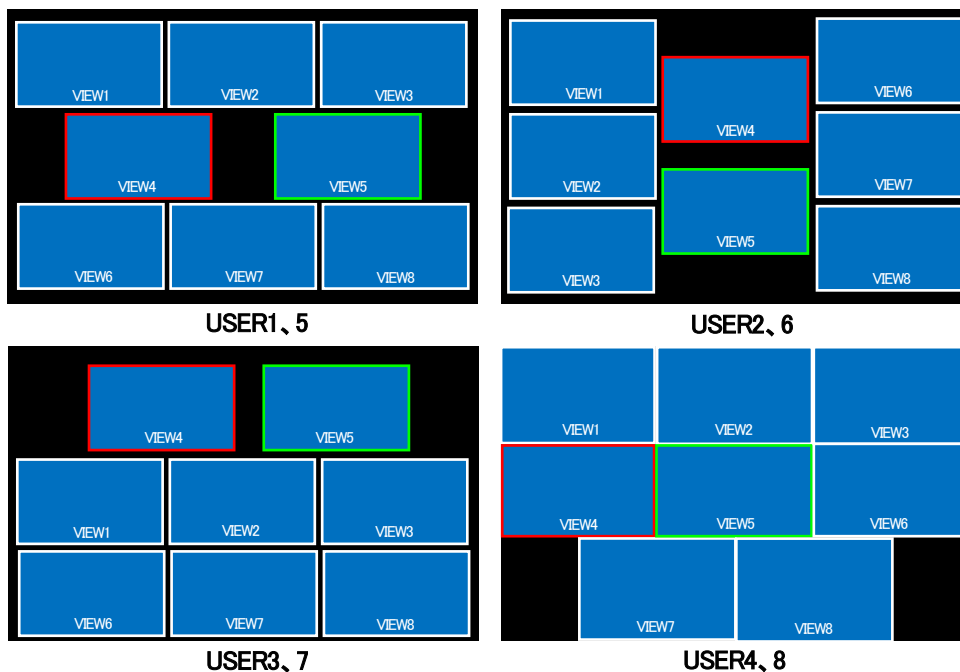
MVW-90 では、1080i/59.94 と 525i/59.94 に対応しています。DVI OUT も同じ出力のみ対応しています。

5. MULTI PAT

マルチウィンドウパターンを選択します。

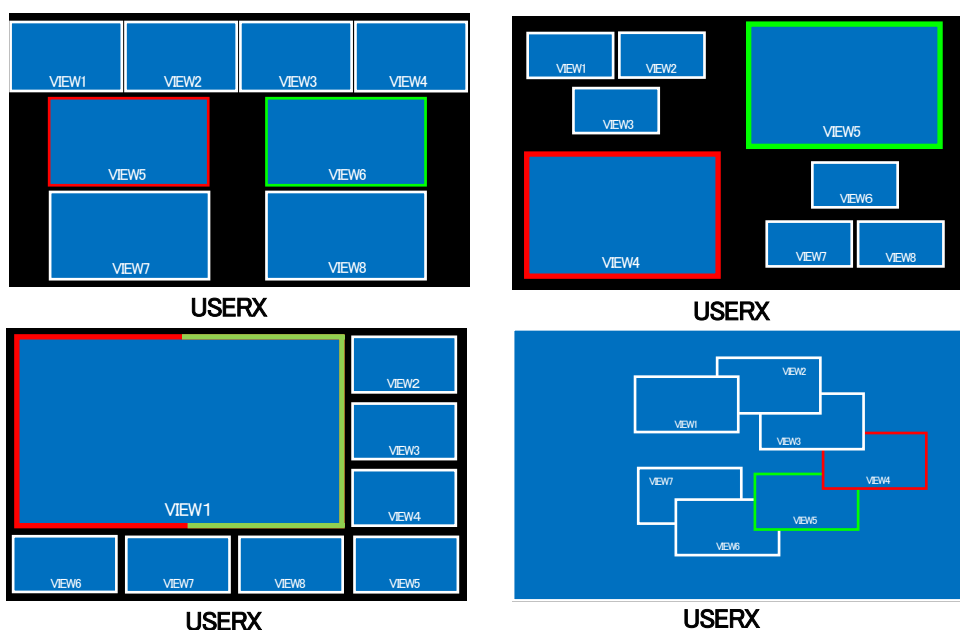
USER1～USER8

マルチウィンドウパターンを選択します。下図はイニシャル後のUSER1～USER8のマルチウィンドウパターンです。



(表示例)

各VIEWのサイズや表示位置を変更した表示サンプル例です。



6. PATTERN

PATTERN は、各 VIEW の縦横比や、画枠サイズ、表示位置やタイトルなどのパターン表示設定をします。

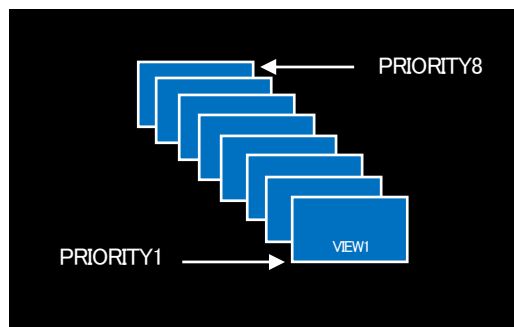
※PATTERNを設定する際は、予め変更したいマルチウィンドウパターンを選択してください。

SELECT:VIEW1～VIEW8

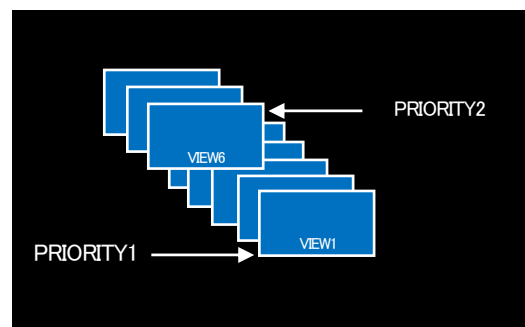
PATTERN設定をするVIEWを選択します。

PRI:1～8

PRIORITYは、VIEWを重ね合わせたときの優先順位を選択します。PRIは1が最上位、8が最下位です。



VIEW6 PRI『6』



VIEW6 PRI『2』

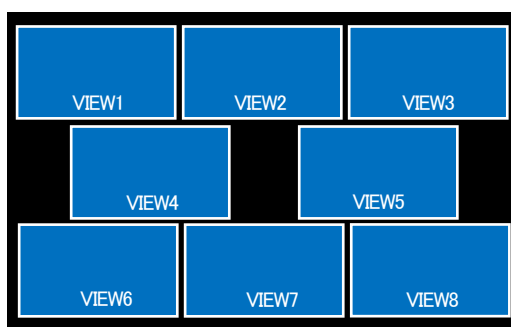
初期設定では、上図左の通り、VIEW1がPRIORITY1、VIEW8がPRIORITY8に設定されています。

上図右の画面では、VIEW6をPRI 6からPRI 2に変更したときの画面です。

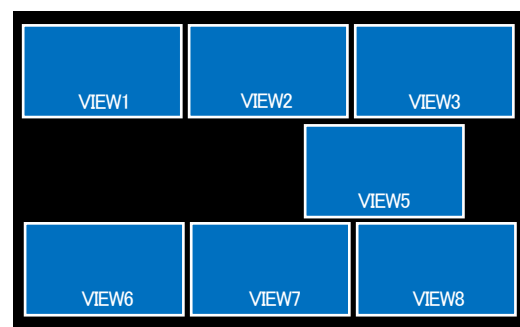
DISP:ON/OFF

DISPは、マルチウィンドウパターンのとき、選択したVIEWを表示する、表示しないを選択します。

VIEW4のDISPをOFFに設定すると、下図右の画面になります。



VIEW4 DISP ON



VIEW4 DISP OFF

ASPECT

出力映像の縦横比を設定します。

SQUEEZEの設定

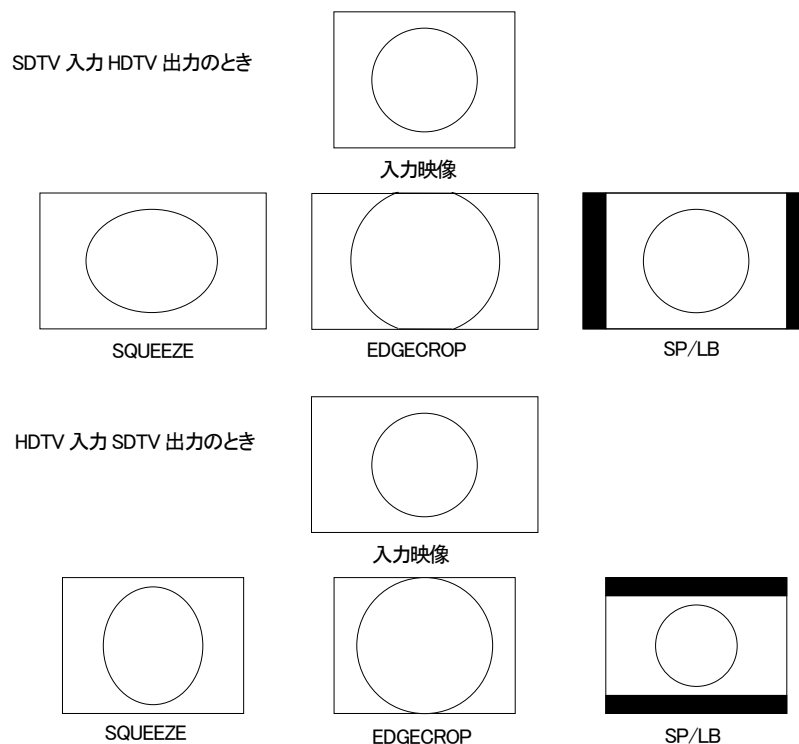
- (1)入力映像と出力映像フォーマットが同じ場合、そのまま出力します。
- (2)入力映像がHDTVで出力映像がSDTVの場合、入力の16:9を4:3します。
- (3)入力映像がSDTVで出力映像がHDTVの場合、入力の4:3を16:9します。

EDGE CROPの設定

- (1)入力映像と出力映像のフォーマットが同じ場合、そのまま出力します。
- (2)入力映像HDTVで出力映像SDTVの場合、縦横を等倍率で引き伸ばし、縦方向の幅をあわせ左右を切り取ります。
- (3)入力映像SDTVで出力映像HDTVの場合、縦横を等倍率で引き伸ばし、横方向の幅をあわせ上下を切り取ります。

SP/LBの設定

- (1)入力映像と出力映像のフォーマットが同じ場合、そのまま出力します。
- (2)入力映像HDTVで出力映像SDTVの場合、縦横を等倍率で引き伸ばし、横方向の幅をあわせ上下を黒く塗ります。
- (3)入力映像SDTVで出力映像HDTVの場合、縦横を等倍率で引き伸ばし、縦方向の幅をあわせ左右を黒く塗ります。

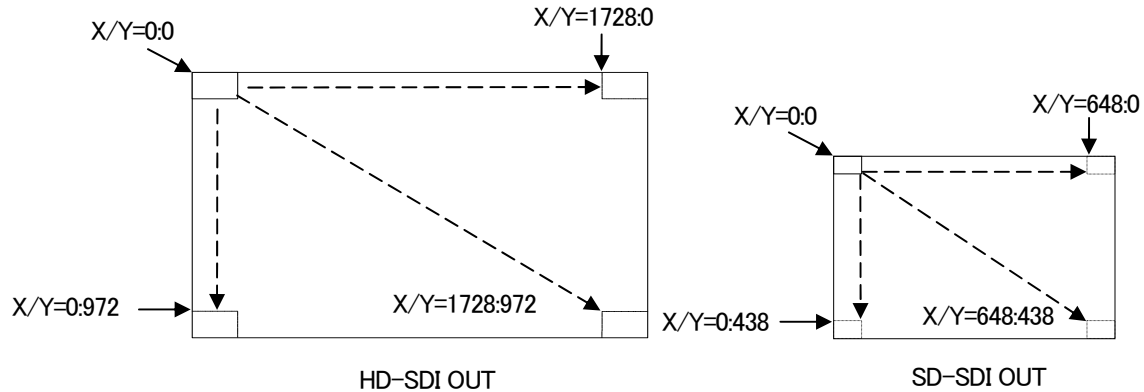


POSI: X 0~XXXX / Y 0~XXX

VIEWの表示位置を設定します。X方向 2ドット、Y方向 1ラインで移動できます。

HD-SDI出力のときは、サイズ192×108のときX方向が0~1728ドット、Y方向が0~972ラインの範囲で移動できます。

SD-SDI出力のときは、サイズ72×48のときX方向が0~648ドット、Y方向が0~438ラインの範囲で移動できます。



画枠サイズにより、位置移動出来る範囲が決定します。

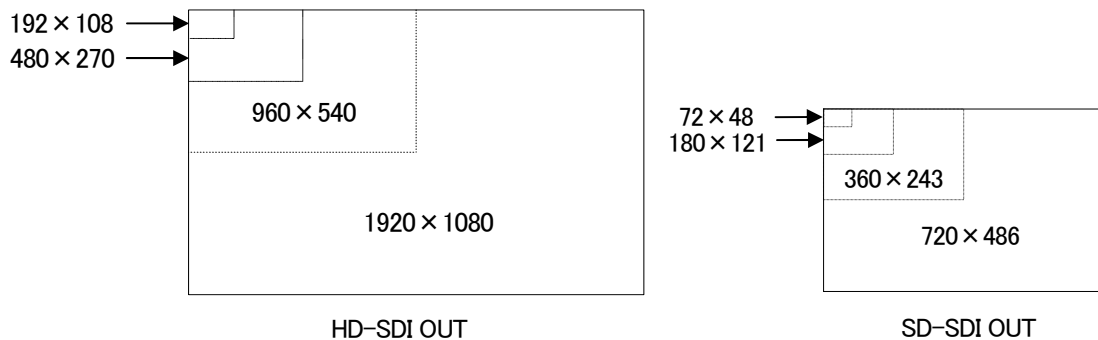
(例) 画枠サイズ 192としたとき Y方向ライン数は $192 \div 1920 = 0.1$ $1080 \times 0.1 = 108$ ライン
X方向 $1920 - 192 = 1728$ ドット 0~1728ドットまで移動できます。
Y方向 $1080 - 108 = 972$ ライン 0~972ラインまで移動できます。

SIZE: 192~1920

VIEWの画枠サイズを設定します。水平方向のドット数で指定します。

HD-SDI出力のときは、最小サイズ192ドットから最大サイズ1920ドットで任意に設定できます。

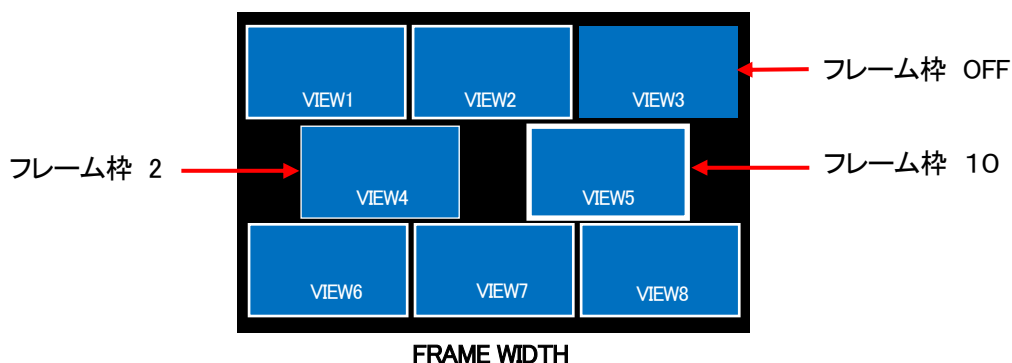
SD-SDI出力のときは、最小サイズ72ドットから最大サイズ720ドットで任意に設定できます。



縦方向のサイズは、16:9または4:3の比率で自動調整されます。

FRAME WIDTH:2~10 DISP:ON/OFF

VIEW のフレーム枠幅を設定します。2、4、6、8、10ドット 10ラインより選択できます。DISP ON/OFF はフレーム枠を表示する、表示しないを選択します。



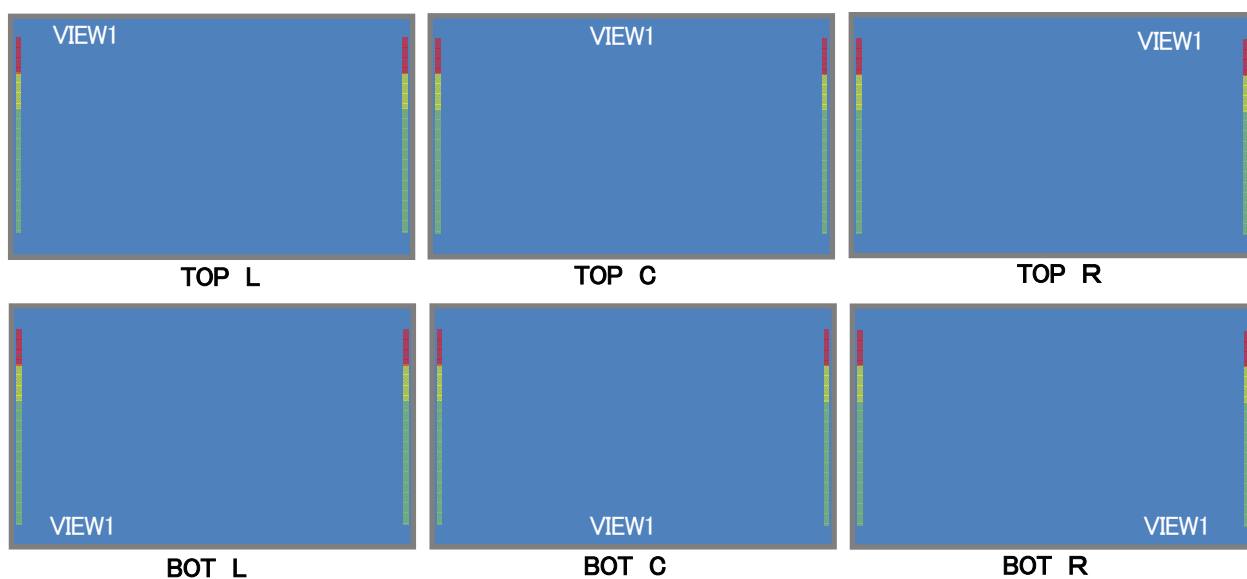
TITLE LAYOUT

TOP L、TOP C、TOP R、BOT L、BOT C、BOT R

各VIEWのタイトル名を表示する場所を選択します。固定位置で6箇所から選択できます。

TOP L=左上、TOP C=上センター、TOP R=右上

BOT L=左下、BOT C=下センター、BOT R=右下



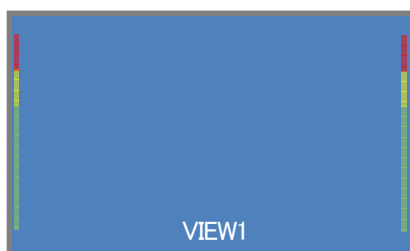
TITLE SIZE:20~100 級

タイトル文字フォントの大きさを選択します。文字級数 20~100 で設定できます。

設定したタイトル文字は VIEW の画枠サイズにより同じ比率で、拡大、縮小します。

TITLE DISP:ON/OFF

タイトル文字フォントを表示する。表示しないを設定できます。



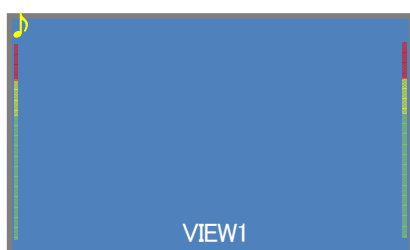
TITLE DISP ON



TITLE DISP OFF

MATER:2CH、4CH、8CH、OFF

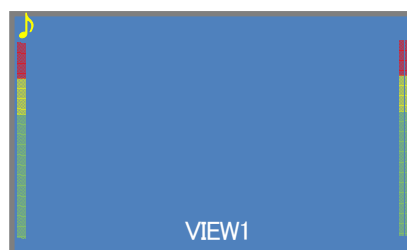
VIEWの音声レベルメーター表示を2CH、4CH、8CH、OFFから選択します。



1

2CH

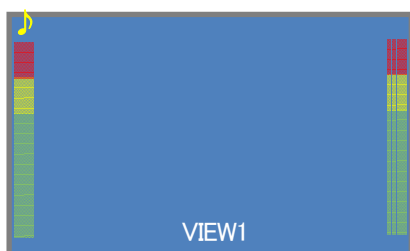
2



1, 2

4CH

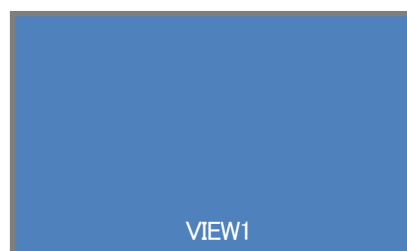
3, 4



1, 2, 3, 4

8CH

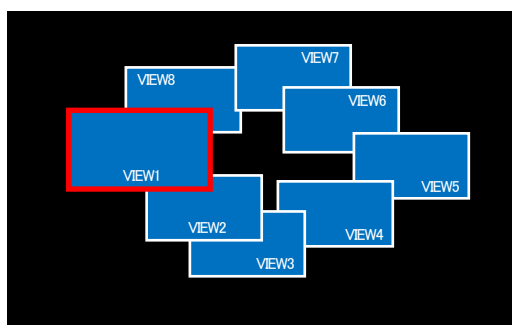
5, 6, 7, 8



音声レベルメーターOFF

TALLY ON AIR :VIEW1～8、OFF WIDTH:2～10

マルチウィンドウパターン表示で ON AIR タリー枠を選択表示します。VIEW1～8 で ON AIR タリー枠の表示 VIEW を選択します。DISP ON/OFF で ON AIR タリー枠の表示、非表示を選択します。WIDTH2～10 で ON AIR タリー枠の太さを決定します。



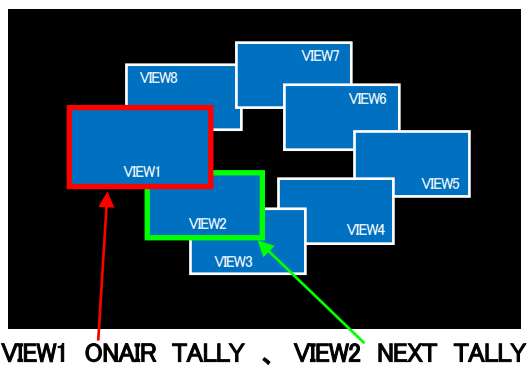
VIEW1 ONAIR TALLY

ON AIRタリー枠は赤で表示します。マルチウィンドウパターンで選択できるのは一つのVIEWだけです。

TALLY NEXT :VIEW1~8、OFF WIDTH:2~10

マルチウィンドウパターン表示でのNEXTタリー枠を選択表示します。

WIDTH2~10でNEXTタリー枠の太さを決定します。VIEW1~8でNEXTタリー枠の表示VIEWを選択します。DISP ON/OFFでNEXTタリー枠の表示、非表示を選択します。



NEXTタリー枠は緑で表示します。マルチウィンドウパターンで選択できるのは一つのVIEWだけです。

OUT AUDIO SELECT:VIEW1~8、OFF、MARKER:ON/OFF

VIEW1~8、OFF

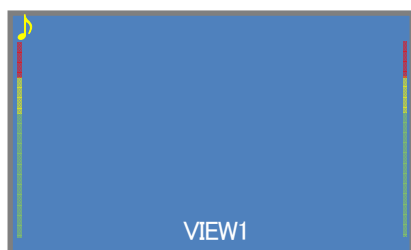
音声出力をVIEW1~8で選択します。選択した音声が入力にエンベディットされます。

OFFを選択することで、無音になります。OFFを選択すると音声マーカー(♪)もOFFされます。

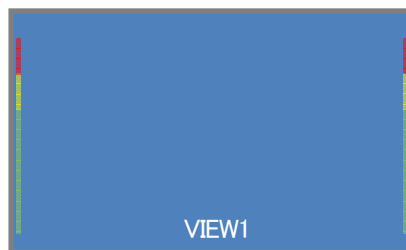
MARKER ON/OFF

ONを選択することでVIEWに音声マーカー(♪)を付加します。OFFで音声マーカーを表示しません。

音声マーカーが必要無いときOFFにします。



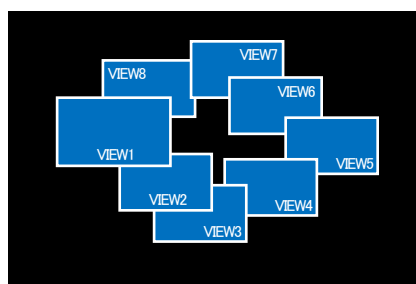
音声マーカー ON



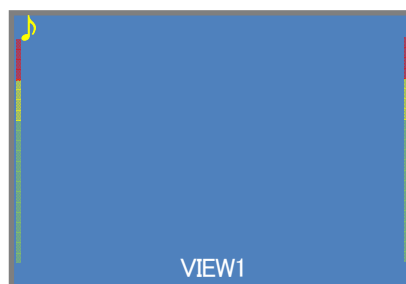
音声マーカー OFF

FULL SCREEN VIEW1～8、OFF

マルチウィンドウパターン表示から選択したVIEWを、全画面表示して出力します。



マルチウィンドウパターン



VIEW1FULL SCREEN

このとき出力音声は、全画面選択されたVIEWの音声出力されます。

FULL SCREEN OFFを選択すると全画面表示から元のマルチウィンドウパターン表示に戻ります。

BACKGROUND BLACK、COLOR:LUM, HUE, SAT、IN8 THROU、FILE

マルチウィンドウパターン表示のとき、背景の選択ができます。

BLACK、COLOR設定

背景を黒、または任意の固定色に設定できます。

VARI LUMI、HUE、SAT設定

背景のバックカラーに任意の固定色を設定します。

LUMI 0～110% 輝度を設定します。

HUE 0～359° 色相を設定します。

SAT 0～100% 彩度を設定します。

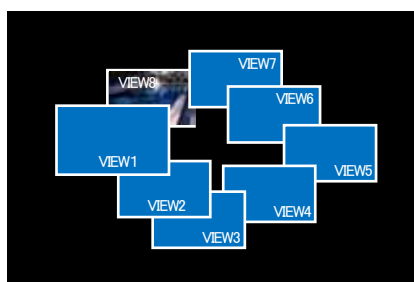
IN8 THROU

入力信号8の映像を全面スルーで、背景として選択します。※

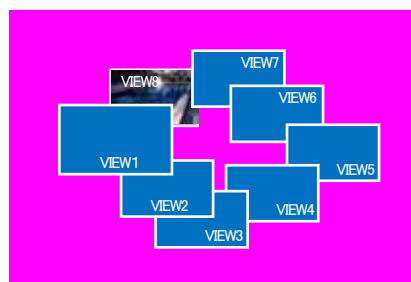
FILE 1～4

FILEを背景として選択します。

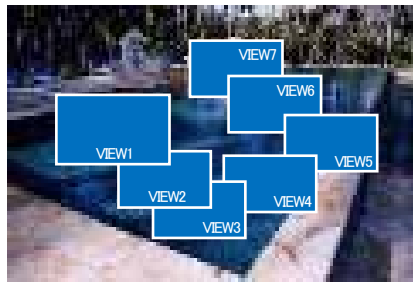
指定したFILE番号1～4の画像を読み出します。



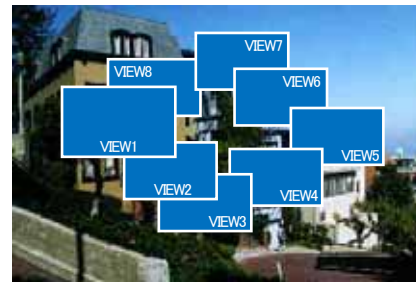
背景 BLACK



背景 BACK COLOR



背景 IN8 THROU 選択



背景 FILE 選択

※IN8 THROUGHを選択したときVIEW8は縮小表示できません。IEW1～VIEW7のみ縮小表示されます。

TYPE A/B

TYPE AはVIEW画枠に対して、1対1で縮小しオーディオレベルメーターとタイトルを合成します。

TYPE Bは画枠に対し縮小を掛け、上下左右に黒味を挿入し、黒味にオーディオレベルメーターとタイトルを合成します。TYPE Bは約80%の縮小率となります。



TYPE A



TYPE B

7. NETWORK

IPアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどを設定します。

IP ADDRESS

ネットワーク管理者から割当てられたIPアドレスを設定します。

SUBNET MASK

ネットワーク管理者から割当てられたサブネットマスクを設定します。

GATEWAY

ネットワーク管理者から割当てられたデフォルトゲートウェイを設定します。

MANEGER IP1～IP10

SNMPマネージャーIPアドレスを設定します。

8. SYSTEM

RS-232Cの通信速度や日付、時刻、外部リモートなどのシステム設定を行います。

BOUDRATE

RS-232C外部制御の通信速度を、ボーレート9800、19200、38400より選択します。

TIMER DATE/TIME

日付および時刻を設定します。

SERVER PORT

MVW-90の通信ポート番号を設定します。9152から65535から選択します。

GPI1～8、GPI9～16

外部パラレルリモートコネクタのGPIにより本体をコントロールします。8チャンネル同一機能となります。

機 能	詳 細
FULL	外部GPIにより全画面出力を選択します
MULTI	外部GPIによりマルチウィンドウパターンを選択します
AUDIO	外部GPIにより出力音声を選択します
ON AIR	外部GPIによりオンエアタリーを選択します
NEXT	外部GPIによりネクストタリーを選択します
VIEW	外部GPIによりVIEWのON/OFFを選択します

GPI1～8

機能	GPI1	GPI2	GPI3	GPI4	GPI5	GPI6	GPI7	GPI8
FULL AUDIO ON AIR NEXT VIEW	VIEW1	VIEW2	VIEW3	VIEW4	VIEW5	VIEW6	VIEW7	VIEW8
MULTI	USER1	USER2	USER3	USER4	USER5	USER6	USER7	USER8

GPI9～16

機能	GPI9	GPI10	GPI11	GPI12	GPI13	GPI14	GPI15	GPI16
FULL AUDIO ON AIR NEXT VIEW	VIEW1	VIEW2	VIEW3	VIEW4	VIEW5	VIEW6	VIEW7	VIEW8
MULTI	USER1	USER2	USER3	USER4	USER5	USER6	USER7	USER8

TALLY1～8、TALLY9～16

TALLY1～8、TALLY9～16のコントロールをMULTIタリー、AUDIOタリー、ONAIRタリー、NEXTタリー、INP1 ERR～INP8 ERR、ALL ERR、VIEWより選択します。TALLY1～8 詳細参照、TALLY9～16 詳細参照。

機 能	詳 細
MULTI	外部TALLYよりマルチタリーを出力します
AUDIO	外部TALLYよりAUDIOタリーを出力します
ONAIR	外部TALLYよりオンエアタリーを出力します
NEXT	外部TALLYよりネクストタリーを出力します
INP1 ERR	INPUT1のエラータリーを出力します
INP2 ERR	INPUT2のエラータリーを出力します
INP3 ERR	INPUT3のエラータリーを出力します
INP4 ERR	INPUT4のエラータリーを出力します
INP5 ERR	INPUT5のエラータリーを出力します
INP6 ERR	INPUT6のエラータリーを出力します
INP7 ERR	INPUT7のエラータリーを出力します
INP8 ERR	INPUT8のエラータリーを出力します
ALL ERR	INPUT1～8のエラータリーを出力します
VIEW	VIEWのON/OFFタリーを出力します

TALLY1～8 詳細

機能	TALLY1	TALLY2	TALLY3	TALLY4	TALLY5	TALLY6	TALLY7	TALLY8
MULTI	USER1	USER2	USER3	USER4	USER5	USER6	USER7	USER8
AUDIO ONAIR NEXT ALL ERR VIEW	VIEW1	VIEW2	VIEW3	VIEW4	VIEW5	VIEW6	VIEW7	VIEW8
INP1～8 ERR	NOS、TRS、CRC、BLK、FRZ、MUTをTALLY1からTALLY6にAssignします							
	Assign	Assign	Assign	Assign	Assign	Assign	—	—

TALLY9～16 詳細

機能	TALLY1	TALLY2	TALLY3	TALLY4	TALLY5	TALLY6	TALLY7	TALLY8
MULTI	USER1	USER2	USER3	USER4	USER5	USER6	USER7	USER8
AUDIO ONAIR NEXT ALL ERR VIEW	VIEW1	VIEW2	VIEW3	VIEW4	VIEW5	VIEW6	VIEW7	VIEW8
INP1～8 ERR	NOS、TRS、CRC、BLK、FRZ、MUTをTALLY1からTALLY6にAssignします							
	Assign	Assign	Assign	Assign	Assign	Assign	—	—

エラー表示一覧

表示名称	エラー詳細	エラー検知時間
NOS	INPUT信号無しエラー	イニシャル時 30 フレーム
TRS	TRSのエラー (NTSCは無効)	
CRC	ビデオ信号CRCエラー (HDのみ表示)	
BLK	指定時間黒味表示エラー (NTSCは無効)	イニシャル時 30 フレーム
FRZ	指定時間フリーズ表示エラー (NTSCは無効)	イニシャル時 30 フレーム
MUT	音声ミュートエラー	イニシャル時 300 フレーム

※ON AIR、NEXT、AUDIO、は選択されたVIEWのTALLYがメーク出力します。

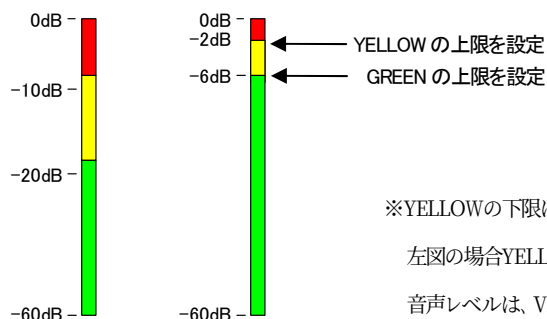
※TALLYをALL ERRに設定したときは、各VIEWのエラー(NOS、TRS、CRC、BLK、FRZ、MUT)をOR演算して出力します。

AUDIO METER

YELLOW -60~-0、GREEN -60~0dB

音声レベルメーターのレベルを変更します。

通常、GREENが-18dB、YELLOWが-8dBに設定されています。※



※YELLOWの下限はGREENの上限でリミットされます。

左図の場合YELLOWは-6dBでリミットされます。

音声レベルは、VIEW1からVIEW8まで共通レベルとなります。

TITLE TONE WHITE/GRAY

OUTLINEフォントの文字色を選択します。WHITE 100%、GRAY 50%より選択します。



TITLE TONE 100%



TITLE TONE 50%

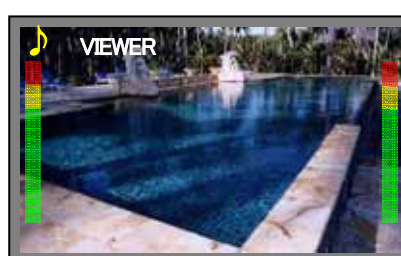
TITLEの文字色は、VIEW1からVIEW8まで同一色に設定されます。

FRAME TONE WHITE/GRAY

VIEW枠の色を選択します。HITE 100%、GRAY 50%より選択します。



TITLE TONE 100%



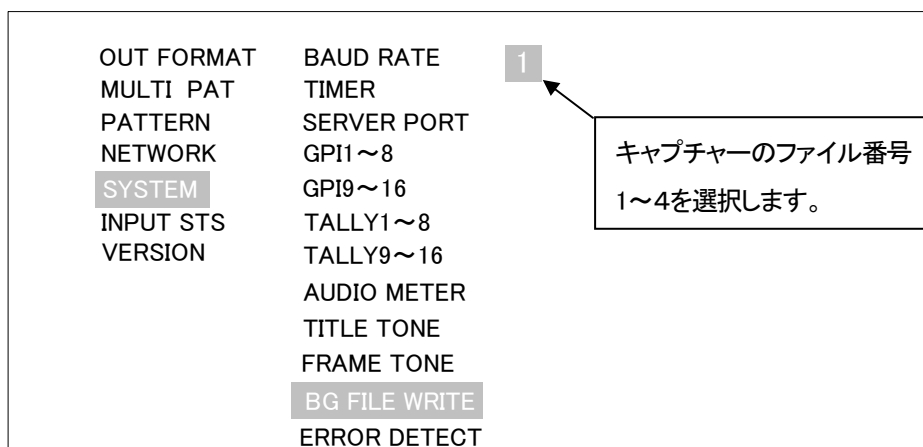
TITLE TONE 50%

FRAME枠の色は、VIEW1からVIEW8まで同一色に設定されます。

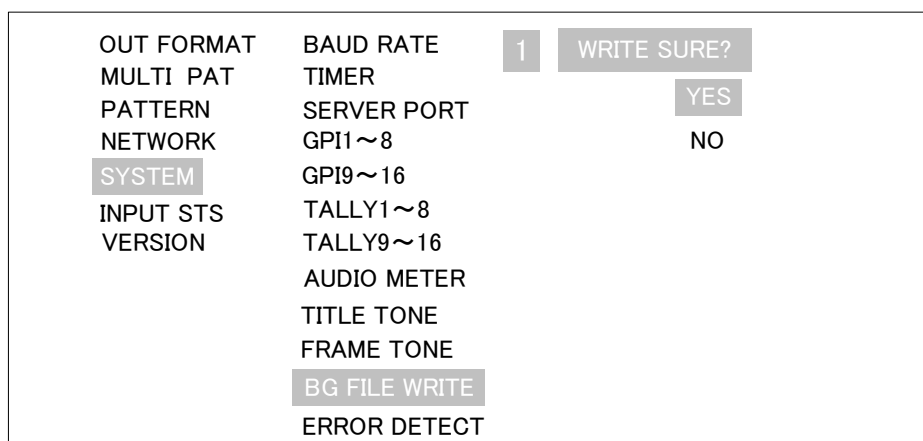
BG FILE WRITE 1～4

入力信号8をキャプチャーしてバックグラウンドFILEに書き込みます。

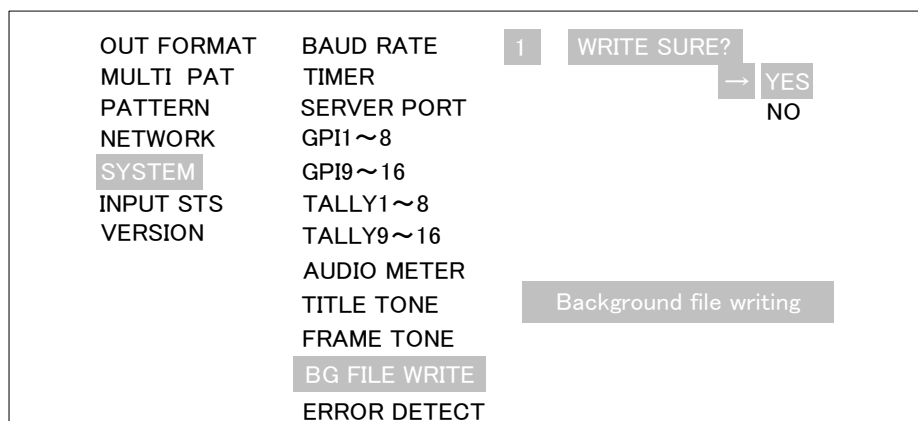
- (1)メニュー画面からBG FILE WRITEを選択し、ツマミを押すと数字が表示されます。ツマミを回し、ファイル番号1～4を選択します。



- (2)ファイル番号を決定してツマミを押します。書き込みOKかWRITE SURE? YES/NOの確認メッセージが表示されます。YESを選択し、ツマミを押すとキャプチャーが開始されます。約3秒後に取り込みイメージが表示されます。NOを選択すると、書き込みはキャンセルされ、ファイル番号選択に戻ります。



- (3)YESを選択しファイル書き込を実行すると、Background file writingが表示されます。



(4)メニュー画面にFILE書き込みのメッセージが消えたらキャプチャーの完了です。

FILE書き込み時間は1080iの映像で25秒、525iの映像で7秒程かかります。

OUT FORMAT	BAUD RATE	1
MULTI PAT	TIMER	
PATTERN	SERVER PORT	
NETWORK	GPI1～8	
SYSTEM	GPI9～16	
INPUT STS	TALLY1～8	
VERSION	TALLY9～16	
	AUDIO METER	
	TITLE TONE	
	FRAME TONE	
	BG FILE WRITE	
	ERROR DETECT	

ERROR DETECT

入力毎に、エラー検知する。検知しないを選択します。また、エラー検知するまでの時間も設定できます。

OUT FORMAT	BAUD RATE	INP1	NOSIG	ENA
MULTI PAT	TIMER	INP2	TRS	ENA
PATTERN	SERVER PORT	INP3	CRC	ENA
NETWORK	GPI1～8	INP4	BLACK	ENA
SYSTEM	GPI9～16	INP5	FREEZ	ENA
INPUT STS	TALLY1～8	INP6	MUTE	ENA
VERSION	TALLY9～16	INP7		
	AUDIO METER	INP8		
	TITLE TONE	TIME		
	FRAME TONE			
	BG FILE WRITE			
	ERROR DETECT			
	ERROR TALLY			
	ERROR DISP			

DETECTの種類

ERROR DETECT		詳 細
NOSIG	ENA	無信号エラーを検知します
	DIS	無信号エラーを検知しません
TRS	ENA	TRSエラーを検知します
	DIS	TRSエラーを検知しません
CRC	ENA	CRCエラーを検知します
	DIS	CRCエラーを検知しません
BLACK	ENA	黒味エラーを検知します
	DIS	黒味エラーを検知しません
FREEZ	ENA	フリーズエラーを検知します
	DIS	フリーズエラーを検知しません
MUTE	ENA	音声ミュートエラーを検知します
	DIS	音声ミュートエラーを検知しません

※ERROR DETECTがDIS(ディセーブル)に設定されたときは、
 オンスクリーンエラー表示、TALLY出力はされません。
 また、エラーログも記録されませんので、ご注意ください。

TIME設定

ERROR種類	TIME設定
NOSIG	無信号エラーの検知時間を(0～1800フレーム)より設定します イニシャルでの初期値は、30フレームになっています
TRS	TRSエラーの検知時間は毎VDで固定です
CRC	CRCエラーの検知時間は毎VDで固定です
BLACK	黒味エラーの検知時間を(0～1800フレーム)より設定します イニシャルでの初期値は、30フレームになっています
FREEZ	フリーズエラーの検知時間を(0～1800フレーム)より設定します イニシャルでの初期値は、30フレームになっています
MUTE	音声ミュートエラーの検知時間を(0～1800フレーム)より設定します イニシャルでの初期値は、300フレームになっています

ERROR TALLY

エラー検知したときの、TALLY出力先をアサインできます。

ERROR TALLYはNO1～NO6まであり、TALLY1～6およびTALLY9～14に対応します。

TALLY1～8とTALLY9～16は同じASSIGNとなります。

OUT FORMAT	BAUD RATE	NO1	NOSIG
MULTI PAT	TIMER	NO2	TRS
PATTERN	SERVER PORT	NO3	CRC
NETWORK	GPI1～8	NO4	BLACK
SYSTEM	GPI9～16	NO5	FREEZ
INPUT STS	TALLY1～8	NO6	MUTE
VERSION	TALLY9～16		
	AUDIO METER		
	TITLE TONE		
	FRAME TONE		
	BG FILE WRITE		
	ERROR DETECT		
	ERROR TALLY		
	ERROR DISP		

ERROR TALLY ASSIGN例

ビット	NO1	NO2	NO3	NO4	NO5	NO6	NO7	NO8
TALLY出力	TALLY1 TALLY9	TALLY2 TALLY10	TALLY3 TALLY11	TALLY4 TALLY12	TALLY5 TALLY13	TALLY6 TALLY14	TALLY7 TALLY15	TALLY8 TALLY16
ERROR アサイン	TRS	CRC	NOSIG	BLAKC	FREEZ	MUTE	—	—

※ERROR TALLYのイニシャル初期値は、

NO1=NOSIG、NO2=TRS、NO3=CRC、NO4=BLACK、NO5=FREEZ、NO6=MUTEの順です。

ERROR DISP ON/OFF

OUT FORMAT	BAUD RATE	DISPLAY	ON
MULTI PAT	TIMER	MODE	OFF
PATTERN	SERVER PORT	STATUS CLR	
NETWORK	GPI1～8		
SYSTEM	GPI9～16		
INPUT STS	TALLY1～8		
VERSION	TALLY9～16		
	AUDIO METER		
	TITLE TONE		
	FRAME TONE		
	BG FILE WRITE		
	ERROR DETECT		
	ERROR TALLY		
	ERROR DISP		
	FONT TYPE		

ERROR DISP		詳 細
DISPLAY	ON	エラー表示を出力オンスクリーンに表示します
	OFF	エラー表示を出力オンスクリーンに表示しません
MODE	HOLD	一度エラーが発生したら表示を保持します
	ONE SHOT	エラー発生毎にオンスクリーンに表示します
STATUS CLR		ホールドされているエラー表示をクリアします

エラー画面表示例

INPUT ERROR
IN1 MUT FRZ BLK CRC TRS
IN2 FRZ BLK
IN5 CRC
IN8 NOS

エラーが検知されないチャンネルは表示しません。エラーを検知したチャンネルを上詰めて表示します。

また、最大で6個のエラーが有りますが、エラーが検知されない項目は左詰めて表示します。

※ERROR DISP MODEのHOLDが選択されたときは、エラー表示およびアサインされたTALLY出力はSTATUS CLRされるまでホールドします。

※ERROR DISP MODEのONE SHOTが選択されたときは、エラー表示してから約10秒後に消えます。

NOS : 信号無しエラー

入力信号が無いときにエラー表示します。無信号の状態が設定フレーム以上連続したときエラー検知します。

TRS : TRS のエラー

ワード 番 号	ビット 番 号									
	9 MSB	8	7	6	5	4	3	2	1	0 LSB
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	1	F	V	H	P3	P2	P1	P0	0	0

F=0 : 第1フィールドの期間 V=0 : デジタルアクティブフィールドの期間

1 : 第2フィールドの期間 1 : デジタルフィールドプランキングの期間

H=0 : SAV

1 : EAV

P0、P1、P2、P3 : プロテクションビット

同期コードとプロテクションビットが不一致でエラーになります。

また、SAV、EAVが連続していないとエラーになります。

CRC : Y,C ビデオ信号 CRC エラー (HD 時のみ表示)

前ラインのSAVの次のワード(YD0)(PbD0)からライン番号データの最後のワード(LN1)までの計算結果と誤り検出符号データが不一致でエラーになります。

BLK : 黒味検知

有効画素内で、輝度レベルが閾値(デジタルデーター50HEX $\approx$ 1.85%)以下で、設定フレーム以上、黒味が連続したときエラー検知します。

FRZ : フリーズ検知

有効画素内で、輝度レベルが変化しない状態が、設定フレーム以上、輝度レベルの変化が無い状態が連続したときエラー検知します。NTSC入力の場合は、量子化ノイズの関係で、FREEZ検知は出来ません。

MUT : MUTE 検出

音声レベルが-80dB以下で、設定フレーム以上、音声レベルが-80dB以下が連続したときMUTEエラーを検知します。

入力フォーマットによるエラー検出の種類

入力 FORMAT	エラー名称					
	NOS	TRS	CRC	BLK	FRZ	MUT
HD-SDI	○	○	○	○	○	○
SD-SDI	○	○	×	○	○	○
NTSC	○	×	×	○	×	○

FONT TYPE

タイトルやオーディオマーカのフォントを選択します。

VNGは標準フォント、TTFはトゥルータイプフォントになります。

OUT FORMAT	BAUD RATE	VNG
MULTI PAT	TIMER	TTF
PATTERN	SERVER PORT	
NETWORK	GPI1～8	
SYSTEM	GPI9～16	
INPUT STS	TALLY1～8	
VERSION	TALLY9～16	
	AUDIO METER	
	TITLE TONE	
	FRAME TONE	
	BG FILE WRITE	
	ERROR DETECT	
	ERROR TALLY	
	ERROR DISP	
	FONT TYPE	

9. INPUT STATUS

入力信号のフォーマットや接続状況が確認できます。

表示されるメッセージは、HD SDI、SD SDI、NTSC、NO SIGNALの4種類です。

OUT FORMAT	VIEW1	NTSC
MULTI PAT	VIEW2	HD SDI
PATTERN	VIEW3	SD SDI
NETWORK	VIEW4	HD SDI
SYSTEM	VIEW5	NO SIGNAL
INPUT STS	VIEW6	HD SDI
VERSION	VIEW7	SD SDI
	VIEW8	HD SDI

10. VERSION

プログラムバージョンおよびハードウェアバージョンを確認できます。

OUT FORMAT	MVW-90
MULTI PAT	SoftVer :
PATTERN	01.00.00 R00
NETWORK	2012/XX/XX XXX
SYSTEM	Buitd-XX:XX:XX
INPUT STS	HardVer :
VERSION	0101
	0201
	0301
	0401

5. フォント

市販のフォントをお使いになる場合、著作権についてフォントメーカーにお問い合わせください。

1. 標準フォント

独自フォーマットの角ゴシックフォントを備えていますが、以下の文字は、表示できません。

JIS	SJIS	EUC	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F	
13 区	2D20	873F	ADAO		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
13 区	2D30	874F	ADBO	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	・
13 区	2D40	875F	ADCO	ミ	リ	キ	ロ	セ	ン	メ	ー	グ	ラ	ト	ン	ア	ー	ヘ	ク
				リ	ツ	ワ	ッ	カ	ロ	ド	ル	セ	ン	パ	ー	ミ	リ	ベ	ー
13 区	2D50	876F	ADDO	mm	cm	km	mg	kg	cc	m ²	・	・	・	・	・	・	・	・	平
13 区	2D60	8780	ADEO	ゝ	゚	ゝ	゚	N	o	K	K	T	E	L	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ
13 区	2D70	8790	ADFO	≡	∫	ℳ	Σ	√	⊥	∠	⊥	∠	∴	∩	∪	・	・		
半角	007E	007E	007E	~															

これらのフォントをご使用になりたい場合は、市販の TrueType のフォントを登録してご使用ください。

2. TrueType フォント

TrueType フォントを 1 書体のみ追加できます。SHIFTJIS または UNICODE の TrueType フォントファイルをアップロードすることにより使うことができます。アップロードすると自動的に登録されます。

付属のアプリケーションソフトを使ってアップロードします。

6. FTP転送

1. 概要

TCP/IPネットワークに接続されたMVW-90のFTPサーバー機能を使用して、バックグラウンド用の画像TARGAファイルをMVW-90に転送できます。

2. ネットワークの設定

MENUを押して、メニューモードに入ってからツマミで「NETWORK」を選択し、IP ADDRESS、SUBNETMASK、GETEWAYを設定します。

PC側のネットワークの設定はPC付属の取扱説明書を参照してください。

※ 各アドレスを変更したときは、MVW-90を再起動してください。

※ 他のネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように注意してください。

※ 接続できない時や不明な点がある時は、パソコンの取扱説明書を見るか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

3. ネットワーク接続の確認

MVW-90とPCクライアントが正常にネットワークで接続されているかを“ping”コマンドで確認します。

ここでは仮にMVW-90のIPアドレスを「192.168.1.1」とします。

・ Windowsの場合

スタート>すべてのプログラム>アクセサリ>コマンドプロンプトを起動します。

コマンドプロンプトで“ping 192.168.1.1”と入力し、以下のメッセージが表示されるのを確認してください。

```
C:\>ping 192.168.1.1

Pinging 192.168.1.1 with 32 bytes of data:

Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=128
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=128
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=128
Reply from 192.168.1.1: bytes=32 time<1ms TTL=128

Ping statistics for 192.168.1.1:
    Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss),
    Approximate round trip times in milli-seconds:
        Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms

C:\>
```

“Reply from ……”と表示されればOKですが、“Request timed out.”のメッセージが表示された場合、PCクライアントからの接続が正常に行えていません。ケーブルの接続、MVW-90およびPCクライアントのネットワーク設定を確認してください。

4. ファイル仕様

・TARGAファイル

[仕様]

画像サイズ : 1080i = 1920 × 1080 (最大)

525i = 720 × 486 (最大)

フォーマット : TARGA: Ver2.0 、 α チャンネル付き(32bit)/ α チャンネル無し(24bit)、非圧縮/RLE圧縮、Image Originビット対応。

[ファイル名]

ファイル番号は BGImg に 1～4 までの番号を付けます。

ファイルの拡張子には “.TGA” または “.tga” を付けます。

BGImg□.TGA



ファイル番号 1～4

5. FTP転送手順

ファイル転送は、コマンドプロンプトからのFTPコマンドやFTPツールを使用してください。

転送はドライブAのBGImgフォルダーに対して行ってください。

※ ユーザー名は“ADMIN”、パスワードは” MVW90”を設定してください。

7. SNMP通信

1. 概要

MVW-90は本体のステータスを監視し、ステータスの変化を検出しトラップを送ることができます。

マネージャーからの要求に応じ管理情報(MIB)を送ることができます。

2. ネットワークの設定

MENUを押して、メニューモードに入ってからツマミで「NETWORK」を選択し、IP ADDRESS、SUBNETMASK、GETEWAY、MANAGER IPを設定します。

PC側のネットワークの設定はPC付属の取扱説明書を参照してください。

※ 各アドレスを変更したときは、MVW-90を再起動してください。

※ 他のネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように注意してください。

※ 接続できない時や不明な点がある時は、パソコンの取扱説明書を見るか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

3. ネットワーク接続の確認

「5 FTP転送」を参照して、MVW-90とPCクライアントが正常にネットワークで接続されているかを確認してください。

4. 基本動作チェック

SNMP 監視用 PC の環境を構築します。

1.ドライバの追加

Windows 2000 の場合

コントロールパネル→プログラムの追加と削除→Windows コンポーネントの追加と削除の管理とモニター ツールをチェックし詳細ボタンを押します。

管理とモニター ツールの詳細が表示されたら[簡易ネットワーク管理プロトコル]をチェックし「OK」ボタンを押します。

Windows XP の場合

コントロールパネル→プログラムと機能→Windows の機能の有効化または無効化の中にある「SNMP の機能」をチェックしてください。

「WMI SNMP プロバイダ」および「ネットワーク管理プロトコル(SNMP)」をチェックし「OK」ボタンを押します。

Windows Vista の場合

コントロールパネル→プログラムと機能→Windows の機能の有効化または無効化の中にある「SNMP の機能」をチェックしてください。

インストールする際、Windows の CD-ROM が必要になります。

インストールが完了したら再起動をしてください。

Windows 7 の場合

コントロールパネル→プログラムと機能→Windows の機能の有効化または無効化の中にある「簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)」をチェックしてください。

(すでにチェックが入っている場合はセットアップされている為、「キャンセル」を押して終了します)

インストールする際、Windows の CD-ROM が必要になります。

インストールが完了したら再起動をしてください。

2. サービスの開始

コントロールパネル→管理ツール→サービスの[SNMP Service]と[SNMP Trap Service]が「開始」状態にあるか確認します。

「開始」になっていない場合は手動で「開始」させます。

この作業は Windows2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 共通です。

3. ファイアーウォールの設定

Windows XP の場合、ファイアーウォールの設定を行わないと SNMP が使用できません。

Windows ファイアーウォールの例外タブでポートの追加を押し、

1. 名前[snmp], ポート番号[161], UDP

2. 名前[trap] ポート番号[162], UDP

上の 2 つを登録します。

4. SnmpMonitor、wSnmpTrap の入手

SnmpMonitor と wSnmpTrap を使用することで MIB データの取得、トラップの受信を行うことができます。

SnmpMonitor、wSnmpTrap はフリーウェアです。下記サイトにてダウンロードすることができます。

SnmpMonitor

<http://milukiriu2010.web.fc2.com/>

wSnmpTrap

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA031427/wsnp/index.htm>

SnmpMonitor、wSnmpTrap の取り扱いの詳細については上記サイト、又は各アプリケーションのヘルプを参照してください。

5.動作確認

MVW-90 背面の LAN コネクタに LAN を接続し、SnmpMonitor を起動します。

エージェントの IP アドレスに、MVW-90 の IP アドレスを入力します。

Community は Read Community、Write Community 共に「public」(工場出荷時設定)と入力し OK を押します。

メニュー一覧が表示されたら MIB ツリーを開き、ツールバーの MIB を選択します。

MIB 定義ツリーが表示されますので、iso → org → dod → internet → private の enterprises を MIB ツリーウィンドウの左側へドラッグしてください。

MVW-90 のステータスが表示されることを確認してください。

wSnmpTrap を起動します。

wSnmpTrap を起動し[ツール]から[トラップ受信サービス開始]を選択します。

トラップ受信サービス実行中に入力コネクタを外し、Trap が送信されることを確認してください。

SNMP 制御の確認をします。

プリセットパターンの切り替え、出力フォーマットの切り替え等は、MIB データ一覧の R/W アクセスの項目番号が設定できます。

wSnmpTrap を起動し[ツール]から[SNMP SET]を選択します。

ターゲットデバイスに MVW-90 の IP ADDRESS、コミュニティ文字列に「public」、OID に「1.3.6.1.4.1.20120.20.2014.47.0」(CurrentPattern)、文法に「32ビット符号無し INT」、値を「0」から「7」のいずれかを指定し、送信ボタンを押します。指定したパターンが表示されることを確認してください。

5. 工場出荷時設定

MVW-90 のデフォルト IP アドレス設定は下記のとおりです。

IP	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.0
マネージャIP1	192.168.1.10
マネージャIP2	0.0.0.0
マネージャIP3	0.0.0.0
マネージャIP4	0.0.0.0
マネージャIP5	0.0.0.0
マネージャIP6	0.0.0.0
マネージャIP7	0.0.0.0
マネージャIP8	0.0.0.0
マネージャIP9	0.0.0.0
マネージャIP10	0.0.0.0
コミュニティ	public

6. MIB 一覧

MVW-90のMIBデータは以下の表に対応します。

オブジェクト識別子は、1. 3. 6. 1. 4. 1. 20120. 20. 2014. 項番. 0になります。

太字の項番(25～37)は、トラップを発生します。

アクセスのR/Oはデータの取得、R/Wはデータの取得と設定ができることを意味します。

項番	オブジェクト識別子名	アクセス	バイト数	内容	実装例	SYNTAX
1	mvw90pid	R/O	80	プログラム情報	char PID[5][16]の内容 製品コード MVW-90 会社名 VIDEOTRON Corp バージョン 01.00.00 R00 製造日 2012/05/23 WED 時 Build-13:29:49	STRING
2	mvw90p	R/W	4	IP アドレス	192.168.1.1	IPADDRESS
3	mvw90Mac	R/O	6	MAC アドレス	XX-XX-XX-XX-XX-XX	PSADDRESS
4	mvw90Gateway	R/W	4	ゲートウェイ	192.168.1.0	IPADDRESS
5	mvw90SubNetMask	R/W	4	サブネットマスク	255.255.255.0	PADDRESS
6	mvw90ManagerIp1	R/W	4	マネージャーIP アドレス 1	192.168.1.10	PADDRESS
7	mvw90ManagerIp2	R/W	4	マネージャーIP アドレス 2	0.0.0.0	IPADDRESS
8	mvw90ManagerIp3	R/W	4	マネージャーIP アドレス 3	0.0.0.0	IPADDRESS
9	mvw90ManagerIp4	R/W	4	マネージャーIP アドレス 4	0.0.0.0	IPADDRESS
10	mvw90ManagerIp5	R/W	4	マネージャーIP アドレス 5	0.0.0.0	IPADDRESS
11	mvw90ManagerIp6	R/W	4	マネージャーIP アドレス 6	0.0.0.0	IPADDRESS
12	mvw90ManagerIp7	R/W	4	マネージャーIP アドレス 7	0.0.0.0	IPADDRESS
13	mvw90ManagerIp8	R/W	4	マネージャーIP アドレス 8	0.0.0.0	IPADDRESS
14	mvw90ManagerIp9	R/W	4	マネージャーIP アドレス 9	0.0.0.0	IPADDRESS
15	mvw90ManagerIp10	R/W	4	マネージャーIP アドレス 10	0.0.0.0	IPADDRESS
16	mvw90ServerPort	R/W	4	サーバーポート番号 49152～65535	50801	INTEGER
17	mvw90Hard14	R/O	4	LCA のバージョン情報 bit0～15:16 進数	16 進数で 4 桁表示 0101(0x0101)	STRING
18	mvw90Hard58	R/O	4	LCA のバージョン情報 bit0～15:16 進数	16 進数で 4 桁表示 0201(0x0201)	STRING
19	mvw90HardMain	R/O	4	LCA のバージョン情報 bit0～15:16 進数	16 進数で 4 桁表示 0301(0x0301)	STRING
20	mvw90HardOut	R/O	4	LCA のバージョン情報 bit0～15:16 進数	16 進数で 4 桁表示 0401(0x0401)	STRING
21	mvw90Date	R/W	10	日付設定 年/月/日	2011 年 10 月 10 日 2011/10/10	STRING
22	mvw90Time	R/W	8	時間設定 時:分:秒	12 時 30 分 9 秒 12:30:9	STRING

項番	オブジェクト識別子名	アクセス	バイト数	内容	実装例	SYNTAX
23	mvw90DipSw	R/O	4	DipSw bit0:TERMINAL bit4:LOG クリア bit6:FLASH FORMAT bit7:初期化(出荷時設定)	初期化 0x80	INTEGER
24	mvw90Baudrate	R/W	4	シリアル通信ボーレート 0=9600 1=19200 2=38400	1	INTEGER
25	mvw90Fan1Alarm	R/O	4	ファン 1 アラーム 0=Normal 1=FanStop(回転数低下)	0	INTEGER
26	mvw90Fan2Alarm	R/O	4	ファン 2 アラーム 0=Normal 1=FanStop(回転数低下)	0	INTEGER
27	mvw90Power1Alarm	R/O	4	電源 1 アラーム 0=PowerON 1=PowerOFF	0	INTEGER
28	mvw90Power2Alarm	R/O	4	電源 2 アラーム 0=PowerON 1=PowerOFF	0	INTEGER
29	mvw90Genlock	R/O	4	Genlock ステータス 0=RefNG 1= RefOK	REF 入力あり 1	INTEGER
30	mvw90inpFormat1	R/O	4	映像入力フォーマット 1CH 0,1,2=NoInput 4=1080i 5=525i 6=NTSC	0	INTEGER
31	mvw90inpFormat2	R/O	4	映像入力フォーマット 2CH 0,1,2=Noinput 4=1080i 5=525i 6=NTSC	0	INTEGER
32	mvw90inpFormat3	R/O	4	映像入力フォーマット 3CH 0,1,2=NoInput 4=1080i 5=525i 6=NTSC	0	INTEGER
33	mvw90inpFormat4	R/O	4	映像入力フォーマット 4CH 0,1,2=Noinput 4=1080i 5=525i 6=NTSC	0	INTEGER
34	mvw90inpFormat5	R/O	4	映像入力フォーマット 5CH 0,1,2=Noinput 4=1080i 5=525i 6=NTSC	0	INTEGER
35	mvw90inpFormat6	R/O	4	映像入力フォーマット 6CH 0,1,2=NoInput 4=1080i 5=525i 6=NTSC	0	INTEGER
36	mvw90inpFormat7	R/O	4	映像入力フォーマット 7CH 0,1,2=Noinput 4=1080i 5=525i 6=NTSC	0	INTEGER
37	mvw90inpFormat8	R/O	4	映像入力フォーマット 8CH 0,1,2=Noinput 4=1080i 5=525i 6=NTSC	0	INTEGER
38	mvw90YellowLevel	R/W	4	オーディオレベルメーター黄色境界 -60～0dBFS	-8	INTEGER
39	mvw90GreenLevel	R/W	4	オーディオレベルメーター緑境界 -60～0dBFS	-18	INTEGER
40	mvw90outpFormat	R/W	4	映像出力フォーマット bit0: 0=1080i 1=525i	0	INTEGER
41	mvw90TitleTone	R/W	4	タイトルトーン設定 0=WHITE 1=GRAY	0	INTEGER
42	mvw90FrameTone	R/W	4	フレーム枠トーン設定 0=WHITE 1=GRAY	1	INTEGER
43	mvw90RemoteGpi8	R/W	4	GPI1～8 入力接点機能設定 bit0～2: 0=FULL 1=MULTI 2=AUDIO 3=ON AIR 4=NEXT	0	INTEGER
44	mvw90RemoteGpi16	R/W	4	GPI9～16 入力接点機能設定 bit0～2: 0=FULL 1=MULTI 2=AUDIO 3=ON AIR 4=NEXT	0	INTEGER

項番	オブジェクト識別子名	アクセス	バイト数	内容	実装例	SYNTAX
45	mvw90RemoteTally8	R/W	4	Tally1～8 出力接点機能設定 bit0～3 0=ONAIR 1=NEXT 2=AUDIO 3=IN1 ERR 10=IN8 ERR 11=ALL ERR	0	INTEGER
46	mvw90RemoteTally16	R/W	4	Tally9～16 出力接点機能設定 bit0～3 0=ONAIR 1=NEXT 2=AUDIO 3=IN1 ERR 10=IN8 ERR 11=ALL ERR	0	INTEGER
47	mvw90CurrentPattern	R/W	4	現在の Pattern No. パターンを選択するとき、ここで設定する。 0～7=User1～8	5	INTEGER
48	mvw90CurrentView	R/W	4	選択した View No. VIEW を選択するとき、ここで設定する。0～7=View1～8	5	INTEGER
49	mvw90PatternFull	R/W	4	全画面表示 0=分割 1～8=全画面	0	INTEGER
50	mvw90PatternAudioMark	R/W	4	音符 ON/OFF bit0: 1=ON 0=OFF	0	INTEGER
51	mvw90PatternAudioOutput	R/W	4	エンベデッドオーディオ出力 0=OFF 1～8=View1～8	5	INTEGER
52	mvw90PatternViewType	R/W	4	VIEW 表示タイプの切り替え 0=TypeA 1=TypeB	5	INTEGER
53	mvw90PatternBackCtrl	R/W	4	バックグランド設定 0=BLACK 1=Color 2=Input8 スルー 3=File	1	INTEGER
54	mvw90PatternBackColor	R/W	4	バックカラー設定(RGB) bit0-7:B bit8-15:G bit16-23:R	0	INTEGER
55	mvw90PatternBackfileNo	R/W	4	バックグランドファイル番号 0～3=1～4	3	INTEGER
56	mvw90PatternOnAirSelect	R/W	4	ON AIR タリーの View 選択 0=OFF 1～8=View1～View8	3	INTEGER
57	mvw90PatternOnairTallyDisp	R/W	4	ON AIR タリーの表示 ON/OFF 0=OFF 1=ON	1	INTEGER
58	mvw90PatternOnairTallyWidth	R/W	4	ON AIR タリーの太さ設定 1～5=2～10dot	2	INTEGER
59	mvw90PatternNextSelect	R/W	4	NEXT タリーの View 選択 0=OFF 1～8=View1～View8	6	INTEGER
60	mvw90PatternNextTallyDisp	R/W	4	NEXT タリーの表示 ON/OFF 0=OFF 1=ON	1	INTEGER
61	mvw90PatternNextTallyWidth	R/W	4	NEXT タリーの太さ設定 1～5=2～10dot	2	INTEGER
62	mvw90ViewPriority	R/W	4	View のプライオリティ 0～7=1～8	2	INTEGER
63	mvw90ViewDisp	R/W	4	View の表示 ON/OFF 1=ON 0=OFF	1	INTEGER
64	mvw90ViewAspect	R/W	4	View のアスペクト設定 0=SQUEEZE 1=EDGE CROP 2=SPLB	2	INTEGER
65	mvw90ViewPosiX	R/W	4	View のポジション X 設定 SD:0～719 HD:0～1919	0	INTEGER
66	mvw90ViewPosiY	R/W	4	View のポジション Y 設定 SD:0～485 HD:0～1079	0	INTEGER

項番	オブジェクト識別子名	アクセス	バイト数	内容	実装例	SYNTAX
67	mvw90ViewSizeW	R/W	4	View のサイズ設定 SD: 72~720 HD: 192~1920	1920	INTEGER
68	mvw90ViewFrameWidth	R/W	4	View のフレーム枠太さ設定 1~5=2~10dot	2	INTEGER
69	mvw90ViewFrameDisp	R/W	4	View のフレーム枠表示 ON/OFF 0=OFF 1=ON	1	INTEGER
70	mvw90ViewTitleLayout	R/W	4	View のレイアウト設定 0=TopLeft 1=TopCenter 2=TopRight 3=BottomLeft 4=BottomCenter 5=BottomRight	0	INTEGER
71	mvw90ViewTitleFont	R/W	4	View のタイトルのフォントサイズ 20~100 dot	40	INTEGER
72	mvw90ViewTitleDisp	R/W	4	View のタイトル表示 ON/OFF 0=OFF 1=ON	1	INTEGER
73	mvw90ViewTitle	R/W	32	View のタイトル 全角/半角合わせて 16 文字まで	"ABCDEF"	STRING
74	mvw90ViewAudioMeter	R/W	4	View のオーディオレベルメーター 0=off 1=2ch 2=4ch 3=8ch	2ch 1	INTEGER
75	mvw90ErrDisp	R/W	4	エラー表示 0=OFF 1=ON	表示 1	INTEGER
76	mvw90ErrDispMode	R/W	4	エラー表示モード 0=ONE SHOT 1=HOLD	HOLD 1	INTEGER
77	mvw90In1Detect	R/W	4	エラー表示の有効/無効 b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	NOSIG 有効 1	INTEGER
78	mvw90In2Detect	R/W	4	エラー表示の有効/無効 b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	NOSIG 有効 1	INTEGER
79	mvw90In3Detect	R/W	4	エラー表示の有効/無効 b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	NOSIG 有効 1	INTEGER
80	mvw90In4Detect	R/W	4	エラー表示の有効/無効 b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	NOSIG 有効 1	INTEGER
81	mvw90In5Detect	R/W	4	エラー表示の有効/無効 b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	NOSIG 有効 1	INTEGER
82	mvw90In6Detect	R/W	4	エラー表示の有効/無効 b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	NOSIG 有効 1	INTEGER
83	mvw90In7Detect	R/W	4	エラー表示の有効/無効 b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	NOSIG 有効 1	INTEGER
84	mvw90In8Detect	R/W	4	エラー表示の有効/無効 b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	NOSIG 有効 1	INTEGER
85	mvw90In1Err	R/O	4	映像入力 1 のエラーステータス b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	エラーなし 0 CRC エラー 4	INTEGER

項番	オブジェクト識別子名	アクセス	バイト数	内容	実装例	SYNTAX
86	mvw90In2Err	R/O	4	映像入力 2 のエラーステータス b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	エラーなし 0 CRC エラー 4	INTEGER
87	mvw90In3Err	R/O	4	映像入力 3 のエラーステータス b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	エラーなし 0 CRC エラー 4	INTEGER
88	mvw90In4Err	R/O	4	映像入力 4 のエラーステータス b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	エラーなし 0 CRC エラー 4	INTEGER
89	mvw90In5Err	R/O	4	映像入力 5 のエラーステータス b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	エラーなし 0 CRC エラー 4	INTEGER
90	mvw90In6Err	R/O	4	映像入力 6 のエラーステータス b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	エラーなし 0 CRC エラー 4	INTEGER
91	mvw90In7Err	R/O	4	映像入力 7 のエラーステータス b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	エラーなし 0 CRC エラー 4	INTEGER
92	mvw90In8Err	R/O	4	映像入力 8 のエラーステータス b0:NOSIG b1:TRS b2:CRC b3:BLACK b4:FREEZ b5:MUTE	エラーなし 0 CRC エラー 4	INTEGER
93	mvw90TimeNosig	R/W	4	エラーステータス 無信号の検出 時間 0~1800 フレーム	100 フレーム 100	INTEGER
94	mvw90TimeBlack	R/W	4	エラーステータス 黒味信号の検出 時間 0~1800 フレーム	100 フレーム 100	INTEGER
95	mvw90TimeFreez	R/W	4	エラーステータス 静止信号の検出 時間 0~1800 フレーム	100 フレーム 100	INTEGER
96	mvw90TimeMute	R/W	4	エラーステータス 無音声の検出 時間 0~1800 フレーム	100 フレーム 100	INTEGER

8. TELNETを使った設定

1. 概要

MVW-90はTELNETを使ってIPアドレス、MVW-90サーバーのポート番号や日付等の設定、バージョン番号の確認ができます。メンテナンス用として使用しますので取扱いには十分注意してください。

2. ネットワークの設定

MENUを押して、メニューモードに入ってからツマミで「NETWORK」を選択し、IP ADDRESS、SUBNETMASK、GETEWAY、MANAGER IPを設定します。

PC側のネットワークの設定はPC付属の取扱説明書を参照してください。

※ 各アドレスを変更したときは、MVW-90を再起動してください。

※ 他のネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように注意してください。

※ 接続できない時や不明な点がある時は、パソコンの取扱説明書を見るか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

3. ネットワーク接続の確認

「5 FTP転送」を参照して、MVW-90とPCクライアントが正常にネットワークで接続されているかを確認してください。

4. TELNET による設定

コマンドプロンプトを立ち上げて以下のコマンドを入力します。

telnet△192.168.1.1 （注意：初期設定のIPアドレスです。）

ウィンドウが切り替わり、以下のログインネームとパスワードを入力します。

login: user

Password :12345

Telnet では以下のコマンドが使用できます。

setip …IP アドレスの設定、参照

setgate …ゲートウェイの設定、参照

setmask …サブネットマスクの設定、参照

setmip …マネージャーIP の設定、参照

setcmtty …コミュニティの設定、参照

setport …サーバー側ポート番号の設定、参照

wd …年月日の設定

wt …時分秒の設定

rd…年月日の参照

rt…時分秒の参照

lf …ログデータのフラッシュ

echo …エコー機能の設定

reset …再起動及び設定内容の保存

ver …バージョン情報の表示

help …コマンドの説明

setip

IP アドレスを設定します。

[例] IP アドレスを 192.168.128.1 と設定する場合

```
setip△192△168△128△1
```

と入力します。

```
IP.[192:168:128:1]
```

と表示されます。

setgate

ゲートウェイアドレスを設定します。

[例] ゲートウェイアドレスを 192.168.128.30 と設定する場合

```
setgate△192△168△128△30
```

と入力します。

```
Gateway.[192:168:128:30]
```

と表示されます。

setmask

サブネットマスクアドレスを設定します。

[例] サブネットマスクアドレスを 255.255.255.0 と設定する場合

```
setmask△255△255△255△0
```

と入力します。

```
SubNetMask.[255:255:255:0]
```

と表示されます。

setmip

マネージャーIP アドレスを設定します。

[例] マネージャーIP アドレスを 192.168.128.10 と設定する場合

```
setmip△192△168△128△10
```

と入力します。

```
ManagerIP.[192:168:128:10]
```

と表示されます。

setcmtty

コミュニティ名を設定します。

[例] コミュニティ名を VIDEOTRON と設定する場合

```
setcmtty△VIDEOTRON
```

と入力します。

```
Community Name.[VIDEOTRON]
```

と表示されます。

※コミュニティ名は最大 63 文字の英数で大文字、小文字を区別しています。

setups

UDP 通信でサーバー側ポート番号を設定します。

MVW-90 を使用の場合に使います。

[例] ポート番号を 9010 と設定する場合

setups△9010

と入力します。

setupc

UDP 通信で PC クライアント側ポート番号を設定します。

MVW-90 を使用の場合に使います。

[例] ポート番号を 9011 と設定する場合

setupc△9011

と入力します。

wd

日付を設定します。

[例] 日付を 2012 年 5 月 25 日に設定する場合

wd△2012△5△25

と入力します。

wt

時間を設定します。

[例] 時間を 9 時 10 分 11 秒に設定する場合

wt△9△10△11

と入力します。

rd

日付を確認します。

[例]

rd

と入力します。

2012/05/25 (Fri)

と表示されます。

rt

時間を確認します。

[例]

rt

と入力します。

09:10:11

と表示されます。（注意 :秒数はすぐに変化するので 11 にはなりません。）

If

メンテナンス用のコマンドです。

メモリに残っているログデータを D ドライブのファイル(mvw90lg0.dat)に書き出します。

[例]

If

と入力します。

残りのログデータを D ドライブのファイル(mvw90lg0.dat)に書き出します。

echo

エコーの ON/OFF の設定をします。

[例]

Echo ON の時に

echo

と入力すると

Echo Off

と表示され、エコー機能が OFF になります。

Echo OFF の時は

Echo On

と表示され、エコー機能が ON になります。

入力した文字が 2 重に表示されてしまう場合はエコーの設定を行ってください。

reset

設定を保存します。

IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、マネージャーIP を設定した場合、設定後に**必ず** reset と入力し、MVW-90 を再起動させて設定を保存してください。

ver

バージョンの情報を表示します。

[例]

ver と入力します。

Project Name : MVW-90

Vender Code : VIDEOTRON Corp.

Version Information : 01.00.00 R00

Birthday : 2012/XX/XX ○○○ Build-XX:XX:XX

と表示されます。

Help

コマンドの簡易説明を表示します。

[例]

help と入力します。

各コマンドとコマンドの簡易説明が表示されます。

telnetを終了する場合

bye と入力し、エンターを 2 回押します。

ホストとの接続が切断されました。

と表示され、telnet が終了します。

9. 外部インターフェース

1. PARALLEL REMOTE (DDK-50pin)

MVW-90は外部接点制御により、電源ON/OFFとメニュー操作以外のダイレクト操作ができます。

また、FAN/電源アラームやONAIR/NEXT/AUDIOタリー出力を装備しています。

制御できる距離は、接続ケーブルの性能品質にもよりますが、通常最長10m～20m程度です。

弊社、PRC-1201やPRC-0401コントローラを接続し、パターン切り替えやONAIR、NEXTタリー表示切り替えなどにご利用頂けます。

注意事項について

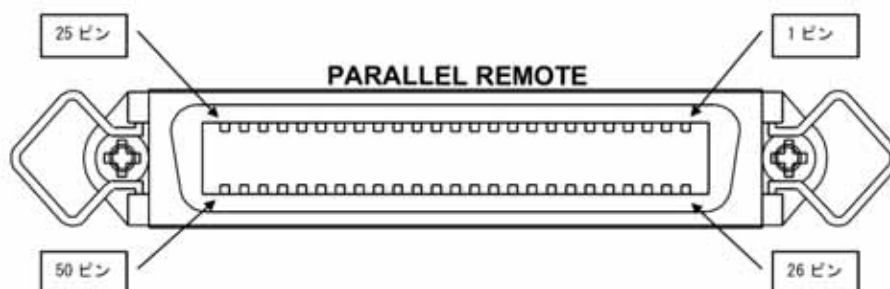
以下の注意事項については必ず厳守願います。

※ 注 意 事 項

1. MVW-90の各接点入力には、絶対に外部から電圧を印加しないでください。接点制御は、オープンとGNDへのメーク(18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25番ピンへの接続)にて行ってください。外部から電圧が加わると接点入力回路を破壊する場合があります。
2. MVW-90の接点出力の絶対最大定格は60V、300mAです。外部抵抗で電流を300mA以下に制限してください。負極性の電圧は接点出力を破壊しますので絶対に接続しないでください。また、コイル式リレーを接続する場合は、コイルの逆サージ電圧が発生しますので必ず保護ダイオード等を挿入する配慮が必要になります。
3. 外部制御を安定にするため、使用する線材は出来る限り太い線材を推奨します。
一般に、AWG#26番より細い線材では制御距離が短くなる場合があります。また、ノイズの多い環境下の使用では、信号線全体のシールド加工が必要となる場合があります。
4. 本体のボタン操作と競合した場合は、本体操作が優先されます。

アンフェノール 50ピンピンアサイン

MVW-90の背面にある、アンフェノール50ピンコネクタのピンアサインは次の図と表のようになっています。MVW-90は、DDK社製(第一電子工業株式会社)の57F-40タイプ50ピンレセプタクルを使用しています。同シリーズの50ピンプラグと勘合できます。



本体背面からの図

ピン番号は、DDK社57F-40コネクターのピン番号です。

ピン番	信号名	端 子 機 能	ピン番	信号名	端 子 機 能
1	GPI	GPI1 接点入力 ※1	26	TALLY	TALLY1 出力 ※2
2	GPI	GPI2 接点入力 ※1	27	TALLY	TALLY2 出力 ※2
3	GPI	GPI3 接点入力 ※1	28	TALLY	TALLY3 出力 ※2
4	GPI	GPI4 接点入力 ※1	29	TALLY	TALLY4 出力 ※2
5	GPI	GPI5 接点入力 ※1	30	TALLY	TALLY5 出力 ※2
6	GPI	GPI6 接点入力 ※1	31	TALLY	TALLY6 出力 ※2
7	GPI	GPI7 接点入力 ※1	32	TALLY	TALLY7 出力 ※2
8	GPI	GPI8 接点入力 ※1	33	TALLY	TALLY8 出力 ※2
9	GPI	GPI9 接点入力 ※1	34	TALLY	TALLY9 出力 ※2
10	GPI	GPI10 接点入力 ※1	35	TALLY	TALLY10 出力 ※2
11	GPI	GPI11 接点入力 ※1	36	TALLY	TALLY11 出力 ※2
12	GPI	GPI12 接点入力 ※1	37	TALLY	TALLY12 出力 ※2
13	GPI	GPI13 接点入力 ※1	38	TALLY	TALLY13 出力 ※2
14	GPI	GPI14 接点入力 ※1	39	TALLY	TALLY14 出力 ※2
15	GPI	GPI15 接点入力 ※1	40	TALLY	TALLY15 出力 ※2
16	GPI	GPI16 接点入力 ※1	41	TALLY	TALLY16 出力 ※2
17	NC	未使用	42	FAN1	FAN1 ALARM 出力 ※3
18	FAN2	FAN2 ALARM 出力 ※3	43	DC1	DC1 ALARM 出力 ※4
19	DC2	DC2 ALARM 出力 ※4	44	COM	TALLY COMMON
20	GND	GND(接地)	45	COM	TALLY COMMON
21	GND	GND(接地)	46	COM	TALLY COMMON
22	GND	GND(接地)	47	COM	TALLY COMMON
23	GND	GND(接地)	48	COM	TALLY COMMON
24	GND	GND(接地)	49	COM	TALLY COMMON
25	GND	GND(接地)	50	COM	TALLY COMMON

※1 GPI1 から 16 は、トリガー(100ms 以上のパルス)で制御します。

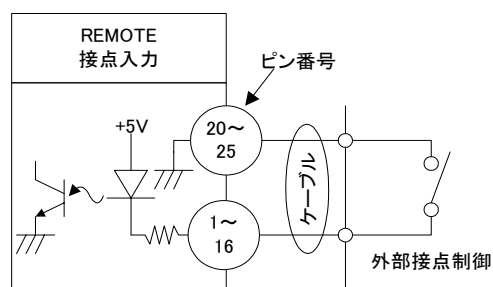
※2 TALLY1～16 は、エラー検出の際、ONE SHOT に設定された TRS、CRC エラーは約 130ms 間コモンと MAKE します。

ON AIR、NEXT、AUDIO タリーでは選択されたチャンネルがコモンと MAKE します。

※3 FAN1 ALARM および FAN2 ALARM は、FAN 停止または回転数が 70%以下のときコモンと MAKE します。

※4 DC1 ALARM および DC2 ALARM は、電源断のまたは、片電源 OFF のときコモンと MAKE します。

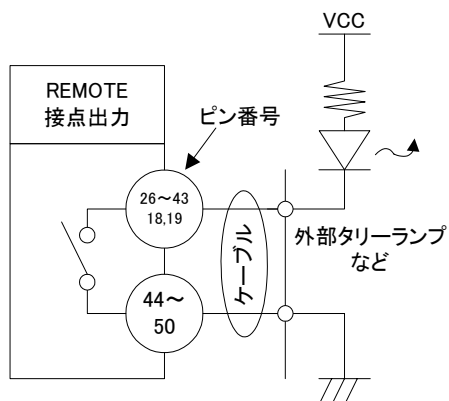
接点入力等価回路について



接点制御を行うには、GNDへ接続させるモーメンタリスイッチなどを接続してください。端子には電圧は印加しないでください。TTL信号で制御する際は、吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。なお、パラレルリモートは、トリガー接点制御です。対応するFULL画面表示、マルチウインドウパターン画面表示されます。TALLY出力は選択されたON AIR、NEXT、AUDIOがタリーバック出力されます。※

※接点がクローズされてから約 2.5 フレーム後にタリー表示されます。

接点出力等価回路について



MVW-90 の接点出力には、MOS FET リレーを採用しています。MOS FET リレーの出力回路に過電圧、過電流を印加しないでください。MOS FET リレーの故障および発火の原因となります。接点出力の絶対最大定格は 60V、300mA です。外部抵抗で電流を 300mA 以下に制限してください。

FAN ALARM 接点出力について

FAN1、FAN2 ALARM 出力は MVW-90 内蔵の冷却ファンの回転数が 70%以下または停止したときに、コモンと MAKE します。

※万一、FAN ALARM が発生したときは、ただちに使用をやめ、弊社の修理を受けてください。

DC ALARM 接点出力について

DC1、DC2 ALARM 出力は POWER A または POWER B が OFF のときまたは、電源に異常が発生したときおよび両電源 OFF のときにコモンと MAKE します。

※万一、DC ALARM が発生したときは、ただちに使用をやめ、弊社の修理を受けてください。

2. RS-232C(D-sub-9pin)

MVW-90 は RS-232C からのコマンド制御により、電源 ON/OFF 以外の全ての本体操作項目に対してリモート制御ができます。制御ホストコンピュータに DOS/V 系パソコンの COM ポートなどを使用する場合は、市販の 9 ピン D-SUB 全結線ストレートケーブル(メス-メス)で MVW-90 へ接続します。通信制御できる距離は、RS-232C 規格により通常 15m までです。

RS-232C 通信仕様について

次の表に、通信パラメーターと RS-232C 信号の結線図を示します。これらの通信仕様は変更できません。

RS-232C 通信パラメーター

パリティチェック	なし
データビット長	8 ビット
ストップビット長	1 ビット
ハードフロー (RTS/CTS)	有効
X パラメーター (ソフトフロー)	無効
転送方式	全二重通信
転送速度	9600 19200 38400 (bps)メニューによる切替え設定方式

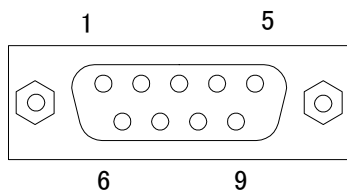
ホストコンピュータが 9 ピン仕様の場合の結線

MVW-90 側 Dsub9 ピンオス	下図のように 1:1 で各ピン を接続します。	ホスト側 Dsub9 ピン	信号名
ピン番号		ピン番号	
1		1	(MVW-90 側は未接続)
2		2	RXD 受信データ
3		3	TXD 送信データ
4		4	DTR データ端末レディー
5		5	GND 信号グランド
6		6	DSR データセットレディ
7		7	RTS 送信要求
8		8	CTS 送信可
9		9	(MVW-90 側は未接続)

ホストコンピュータが 25 ピン仕様の場合の結線

MVW-90 側 Dsub9 ピンオス	下図のように 1:1 で各ピン を接続します。	ホスト側 Dsub25 ピン	信号名
ピン番号		ピン番号	
1			
2		3	RXD 受信データ
3		2	TXD 送信データ
4		20	DTR データ端末レディー
5		7	GND 信号グランド
6		6	DSR データセットレディ
7		4	RTS 送信要求
8		5	CTS 送信可
9			

RS-232C コネクターピンアサインについて



本体背面からの図

ピン番	信号名	ピン番	信号名
1	CD	6	DSR
2	RXD	7	RTS
3	TXD	8	CTS
4	DTR	9	CS
5	GND		

※MVW-90 の 4 番ピン-6 番ピン間は、本体内部で電氣的に接続されています。

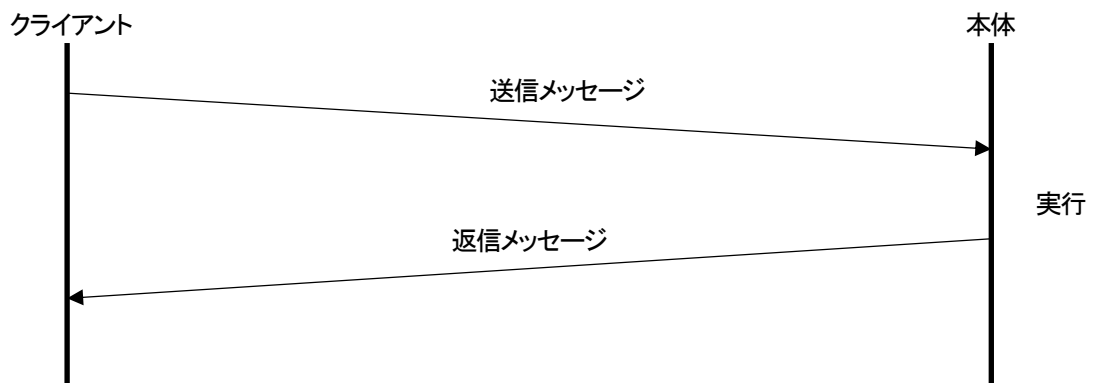
3. 10/100 BASE (RJ-45)

MVW-90 は UDP や TCP 通信を使ってもコマンド制御をすることができます。電源 ON/OFF 以外の全ての本体操作項目に対してリモート制御ができます。

UDP、TCP、RS-232C 通信による制御

プロトコル

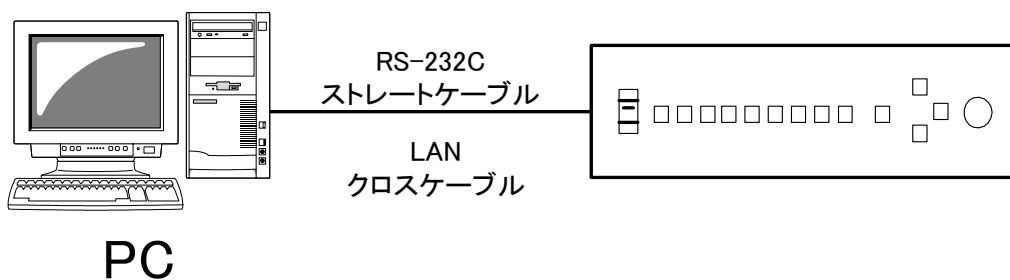
外部 APC、PC 等からの送信メッセージを受信し ACK/NAK の返信メッセージを 5 秒以内に返します。返信メッセージは MVW-90 でコマンドの実行した結果を受けてから返します。



制御の概要

MVW-90 の VIEW 制御は、UDP、TCP/IP や RS-232 のシリアル通信を使いコマンドを受信し、VIEW のサイズ、ポジション、タイトル、タイプなどを制御できます。

VIEW の位置や大きさは VIEW 設定用コマンドを使って簡単に制御できます。この他にタイトルやタリーの位置、大きさ色の設定や表示の ON/OFF を制御できるコマンドがあります。これらを使って外部から VIEW の制御をできます。



通信データ長は、コマンドにより可変です。

通信メッセージフォーマットは ASCII コードで扱います。(場合により S-JIS)

バイトオーダーは、Big Endian です。

送信メッセージフォーマットを以下に示します。

1	2	2	0 or 2	0 or 1	n	0 or 1	0 or 4	1
ヘッダー	通し番号	コマンド	機能選択	区切り	パラメーター	区切り	チェックサム	フッター
#	No.	CMD	FUN	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
0x23	0~99	2 文字キャラクターデータ	2 文字キャラクターデータ	半角 space／無	コマンド毎に参照	半角 space／無	総和の 16 進下位 4 桁／無	0x0D

(1) ヘッダー

#: (0x23)を固定で使します。コマンドの開始を表します。

(2) 通し番号

No.: 番号は、10進の1~99の間を繰り返し使します。(99の次は1になります)

0 は特殊な意味を持ち番号チェックの処理をキャンセルしたい場合に使されます。(連続性が必要ないコマンドや特殊コマンドに使されます)

APC、PCからコマンドが発行されるたびにインクリメントされていきます。

(3) コマンド

CMD: 2文字のキャラクターデータで処理に応じた文字コードを設定します。

詳細は下記のコマンド一覧を参照してください。

(4) 機能選択

FUN: 2文字のキャラクターデータでどこに対してのコマンドかを設定します。

ただし、機能選択必要ないコマンドの場合は入れる必要ありません。

詳細は下記の機能選択一覧を参照してください。

(5) 区切り

SP: 半角スペースを固定で使します。 コマンドの区切りを表します。

ただし、パラメーターが無い場合は入れる必要ありません。

(6) パラメーター

PARAMETER: 各コマンドに合わせたパラメーターを設定します。データサイズはコマンドにより可変です。一度に送れる最大データ数は99バイトになります。99バイトを超えるデータを扱う場合は、エラーとします。

(7) 区切り

SP: 半角スペースを固定で使します。 コマンドの区切りを表します。

ただし、チェックサムの無い場合は入れる必要ありません。

(8) チェックサム

SUM: ヘッダーからチェックサムの手前までを1バイト単位で区切り、各値の総和の16進下位4桁を設定します。
チェックサムのチェックをキャンセルする場合はデータを入れずにフッターを入れます。

(9) フッター

CR: (0x0D)を固定で使用します。コマンドの終端を表します。

機能選択一覧

機能選択の項目ではどこのデータを設定/取得するかの設定を行います。

Patternデータ及びViewデータにデータの設定と取得をするコマンドの場合にのみデータがセットされます。1バイト目はPattern番号(1～8)を2バイト目はView番号(1～8)を指定します。

機能名	1バイト目	2バイト目
PATTERNデータ設定/取得	Pattern番号 1～8を設定	0固定
VIEWデータの設定/取得	Pattern番号 1～8を設定	View番号 1～8を設定

コマンド一覧

コマンドは2バイトのキャラクターデータになっていて、キャラクターの構成により実行対象が決定し先頭文字が大文字/小文字で動作が決定します。先頭文字が大文字の場合は本体へのパラメーター設定を表し、小文字の場合は本体からのパラメーター取得を表します。

特に特別な記述がない場合は設定時の送信パラメーターと、取得時の受信パラメーターは同じになります。

※仕様変更によりコマンドの内容が変わることがあります。

(1) システム関係のコマンド

システム設定関係なので機能選択を使用しない為、機能選択部分は設定する必要はありません。

コマンド 設定/取得	動作内容	備考
AA/aa	出力フォーマット	出力フォーマットを指定します。
AB/ab	タイトルカラー	タイトルカラーを指定します。
AC/ac	フレームカラー	フレームカラーを指定します。
AD/ad	音声レベルメーター境界	音声メーターの黄色と緑の境界位置を指定します。 設定値の緑の値は黄色の値以下にする必要があります。(黄色 >= 緑)
AE/ae	リモート GPI1～8	GPI1～8 の動作を指定します。
AF/af	リモート GPI9～16	GPI9～16 の動作を指定します。
AG/ag	リモート TALLY 1～8	TALLY 1～8 の動作を指定します。
AH/ah	リモート TALLY 9～16	TALLY 9～16 の動作を指定します。
AI/ai	マネージャーIP	SNMPのマネージャーIPアドレスを指定します。
AJ/aj	現在のPattern番号	出力対象のPattern番号を指定します。
AL/al	エラー表示制御	エラー表示の状態を指定します。
AM/am	エラー表示の有効/無効	エラー表示の有効/無効を指定します。
AN/an	エラー検出の時間	エラー検出の時間を設定します。
AO/ao	エラータリーのビットアサイン	ビット0～5までのエラー信号をアサインします。
AP/ap	エラーステータスの取得	入力番号のステータスを取得します。
AQ/aq	フォントの選択	タイトル、オーディオマーカを表示するフォントを選択します。

(2) パターン関係のコマンド

パターン関係なので機能選択を使用して1バイト目はPattern番号の1～8を指定し、2バイト目は0を固定で入れます。

コマンド 設定/取得	動作内容	備考
BA/ba	フルスクリーン	フルスクリーンのView番号を指定します。
BB/bb	ビュータイプ	ビューの表示方法を指定します。
BC/bc	ON AIR枠/NEXT枠/音符表示	各項目の対象を指定します。
BD/bd	ON AIR/NEXT/AUDIO出力の 選択	各項目の対象を指定します。
BE/be	ON AIR枠/NEXT枠の幅	対象のフレーム幅を指定します。
BF/bf	背景指定	背景の表示形式を指定します。
BG/bg	背景色指定	背景が単色指定に設定された時の色を指定します。
BH/bh	背景イメージを指定	背景がファイル指定に設定された時のファイル番号を指定します。 ファイルを指定するには事前にFTPで「A:\BackGround\」フォルダーに以下BG1.tga～BG10.tgaでイメージを転送しておく必要があります。

(3) ビュー関係のコマンド

ビュー関係なので機能選択を使用して1バイト目はPattern番号の1～8を指定し、2バイト目はView番号の1～8を指定します。

コマンド 設定/取得	動作内容	備考
CA/ca	View位置	Viewの表示を開始点(X, Y)、大きさで指定します。表示位置が画枠外に出ないように設定されます。
CB/cb	プライオリティー	各View表示順番を指定します。数字が小さい方が上層に表示されます。 この値はView1～8で同じ値が設定出来ない為、設定が変更されると指定されたView以外の値が変化する場合があります。
CC/cc	アスペクト	各Viewのアスペクト(表示方法)を指定します。
CD/cd	フレーム幅	各Viewのフレーム幅を指定します。
CE/ce	View/フレーム/タイトル/の 表示	各Viewの各項目の表示非表示を指定します。 VIEW指定で表示をOFFにした場合は他の設定にONデモ全ての表示が消えます。
CF/cf	音声メーターのチャンネル	各Viewのオーディオレベルメーターの表示チャンネル数を指定します。
CG/cg	タイトルの表示位置	各Viewのタイトル表示位置を指定します。
CH/ch	タイトルのサイズ	各Viewのタイトル文字の大きさを指定します。
CI/ci	タイトル文字	各Viewのタイトルとして表示する文字列を指定します。 文字数は全角半角関係なく16文字までです。

(4) その他コマンド

このコマンド関係は本体の状態等を取得する為のコマンドや通信をする上で必要な制御をする為のコマンドがあります。動作の種類によって設定や取得だけのコマンドになります。(制御系のコマンドは設定コマンドとして扱われます)

コマンド 設定/取得	動作内容	備考
DA/—	本体起動確認	本体起動後の初期化が完了しているか確認するのに使用します。 起動して通信可能状態になると正常受信でHELLOが戻ってきます。 このコマンドは通信(制御)開始(DB)コマンド実行前に使用することが出来ます。
DB/—	通信(制御)開始	クライアントから本体の制御を開始する時に送ります。 RS-232C通信する場合は”RS-232C_0”送ります。 基本的にはこのコマンド成功後のみコマンドが実行されます。 本体は一定期間通信がないと接続状態が破棄されます。継続して接続が必要な場合は通信状態確認(DD)コマンドを定期的に発行して接続を維持する必要があります。
DC/—	通信(制御)終了	クライアントから本体の制御を終了する時に送ります。
DD/—	通信状態確認	通信状態がどうなっているかを確認する為に使用されます。 本体は基本的に何もせず応答を返すだけです。
—/de	本体バージョン	本体でバージョン管理されている物の全ての情報を取得します。
—/df	アップデート状態	前回の取得から変化があったパラメータ検知する為のデータ列が返されます。
—/dg	MACアドレス	本体の MAC アドレスを取得します。
—/dh	入力映像のフォーマット	各入力端子に対して入力されている映像フォーマットを取得します。 このコマンドは通信(制御)開始(DB)コマンド実行前に使用することが出来ます。

コマンドは、返信メッセージを確認してから送信してください。

設定を確実にするために、エラー発生時はコマンド再送を最低 1 回するようにしてください。

送信コマンド詳細

(1)システム関係のコマンド

SPIは区切りです。

①出力フォーマット

出力フォーマットを指定します。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
AA	有	1080i/59.94、525i/59.94	有/無	有/無	0x0D
aa	無	無	有/無	有/無	0x0D

1080i

HDTV

525i

SDTV

②タイトルカラー

タイトルカラーを指定します。(OUTLINE)

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
AB	有	FFFFFF / 808080	有/無	有/無	0x0D
ab	無	無	有/無	有/無	0x0D

RGBの値を16進で設定

FFFFFF

白

808080

グレー

※808080現状は白とグレーのみなので0x FFFFFFFと0x808080のみ本体が受け付けます。

③フレーム枠カラー

フレーム枠カラーを指定します。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
AC	有	FFFFFF / 808080	有/無	有/無	0x0D
ac	無	無	有/無	有/無	0x0D

RGBの値を16進で設定

FFFFFF

白

808080

グレー

※808080現状は白とグレーのみなので0x FFFFFFFと0x808080のみ本体が受け付けます。

④音声レベルメーター境界

音声メーターの黄色と緑の境界位置を指定します。

CMD	SP	PARAMETER			SP	SUM	CR
AD	有	黄色値	カンマ	緑値	有/無	有/無	0x0D
ad	無	無			有/無	有/無	0x0D

-60~0 dBFS

音声レベルメーター黄色

“ ”

カンマ区切り

-60~0 dBFS

音声レベルメーター緑色

⑤リモート GPI1～8

GPI1～8 の動作を指定します。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
AE	有	FULL/MULTI/AUDIO/ON AIR/NEXT	有/無	有/無	0x0D
ae	無	無	有/無	有/無	0x0D

FULL フルスクリーン選択
 MULTI マルチウィンドウパターン選択
 AUDIO 出力音声選択
 ON AIR ON AIR 選択
 NEXT NEXT 選択
 VIEW VIEW 表示/非表示選択

⑥リモート GPI9～16

GPI9～16 の動作を指定します。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
AF	有	FULL/MULTI/AUDIO/ON AIR/NEXT	有/無	有/無	0x0D
af	無	無	有/無	有/無	0x0D

FULL フルスクリーン選択
 MULTI マルチウィンドウパターン選択
 AUDIO 出力音声選択
 ON AIR ON AIR 選択
 NEXT NEXT 選択
 VIEW VIEW 表示/非表示選択

⑦リモート TALLY 1～8

TALLY 1～8 の動作を指定します。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
AG	有	MULTI/AUDIO/ONAIR/NEXT/INP1ERR/INP2ERR INP3ERR/INP4ERR/INP5ERR/INP6ERR/INP7ERR INP8ERR/ALLERR/VIEW	有/無	有/無	0x0D
ag	無	無	有/無	有/無	0x0D

MULTI MULTI パターンタリー
 AUDIO 音声タリー
 ON AIR ON AIR タリー
 NEXT NEXT タリー
 INP1ERR INPUT1 エラータリー
 INP2ERR INPUT2 エラータリー
 INP3ERR INPUT3 エラータリー
 INP4ERR INPUT4 エラータリー
 INP5ERR INPUT5 エラータリー
 INP6ERR INPUT6 エラータリー
 INP7ERR INPUT7 エラータリー
 ALLERR INPUT1～INPUT8 エラータリー
 VIEW VIEW の表示タリー

※ALLERR は NOSIG,TRS,CRC,BLACK,FREEZ,MUTE エラーの OR 出力となります。

⑧リモート TALLY 9～16

TALLY 9～16 の動作を指定します。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
AH	有	MULTI/AUDIO/ONAIR/NEXT/INP1ERR/INP2ERR INP3ERR/INP4ERR/INP5ERR/INP6ERR/INP7ERR INP8ERR/ALLERR/VIEW	有/無	有/無	0x0D
ah	無	無	有/無	有/無	0x0D

MULTI	MULTI パターンタリ-
AUDIO	音声タリ-
ON AIR	ON AIR タリ-
NEXT	NEXT タリ-
INP1ERR	INPUT1 エラータリ-
INP2ERR	INPUT2 エラータリ-
INP3ERR	INPUT3 エラータリ-
INP4ERR	INPUT4 エラータリ-
INP5ERR	INPUT5 エラータリ-
INP6ERR	INPUT6 エラータリ-
INP7ERR	INPUT7 エラータリ-
ALLERR	INPUT1～INPUT8 エラータリ-
VIEW	VIEW の表示タリ-

⑨マネージャIP

SNMP のマネージャIP アドレスを指定します。

CMD	SP	PARAMETER			SP	SUM	CR
AI	有	対象	カンマ	IP	有/無	有/無	0x0D
ai	有	対象			有/無	有/無	0x0D

1～10	対象
“ , ”	カンマ区切り
0.0.0.0～ 255.255.255.255	IP アドレス

※設定取得の場合は対象のみをパラメーターにセットします。

⑩現在のパターン番号

出力対象のパターン番号を指定します。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
AJ	有	パターン番号	有/無	有/無	0x0D
aj	無	無	有/無	有/無	0x0D

1～8	パターン番号
-----	--------

⑪エラー表示制御

エラー表示の状態を指定します。

CMD	SP	PARAMETER			SP	SUM	CR
AL	有	対象	カンマ	状態	有/無	有/無	0x0D
al	無	無			有/無	有/無	0x0D

DISP/MODE/CLR	対象
“ , ”	カンマ区切り
OFF/ON	状態 (DISP)
ONESHOT/HOLD	状態 (MODE)

※CLR はカンマ、状態の PARAMETER は必要ありません。

⑫エラー表示の有効/無効

エラー表示の有効/無効を指定します。

CMD	SP	PARAMETER			SP	SUM	CR
AM	有	対象	カンマ	対象	有/無	有/無	0x0D
am	無	無			有/無	有/無	0x0D

NOSIG/TRS/CRC/ 対象

BLACK/FREEZ/MUTE

“ , ”

カンマ区切り

NOSIG/TRS/CRC/ 対象

BLACK/FREEZ/MUTE

※複数のエラーを有効にするときは、対象, 対象, 対象・・・とカンマで区切って転送します。

※エラー表示を無効にする場合 PARAMETER は指定しません。

⑫エラー検出の時間

エラー検出の時間を設定します。

CMD	SP	PARAMETER			SP	SUM	CR
AN	有	対象	カンマ	状態	有/無	有/無	0x0D
an	無	無			有/無	有/無	0x0D

NOSIG/BLACK/FREEZ/MUTE 対象

“ , ”

カンマ区切り

0~1800

状態

※対象(NOSIG/BLACK/FREEZ/MUTE)毎に状態(0~1800)を設定してください。

※状態は、フレーム数で指定します。

⑫エラータリーのビットアサイン

ビット 0~5 までのエラータリーをアサインします。

CMD	SP	PARAMETER			SP	SUM	CR
AO	有	対象	カンマ	対象	有/無	有/無	0x0D
ao	無	無			有/無	有/無	0x0D

NOSIG/TRS/CRC 対象

BLACK/FREEZ/MUTE

“ , ”

カンマ区切り

NOSIG/TRS/CRC 対象

BLACK/FREEZ/MUTE

※ビット 0 から順番に、必ず 6 ビット分指定します。対象, 対象, 対象・・・で指定します。

⑬エラーステータスの取得

エラーステータスの取得をします。

CMD	SP	PARAMETER			SP	SUM	CR
AP	有	対象			有/無	有/無	0x0D
ap	無	INP1/INP2INP3/INP4/INP5/INP6/INP7INP8			有/無	有/無	0x0D

INP1~INP8 各入力のエラーステータスを取得

※ビット 0 から順番に、必ず 6 ビット分指定します。対象, 対象, 対象・・・で指定します。

⑭フォントの選択

タイトル、オーディオマーカを表示するフォントを選択します。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
AQ	有	対象	有/無	有/無	0x0D
aq	無	無	有/無	有/無	0x0D

VNG/TTF

対象 VNG=標準フォント TTF=TrueType フォント

(2) パターン関係のコマンド

①フルスクリーン

フルスクリーンのView番号を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
BA	Pattern	0	有	View No	有/無	有/無	0x0D
ba	Pattern	0	無	無	有/無	有/無	0x0D

1～8 Pattern 番号
 0 フルスクリーン解除
 1～8 View No

②ビュータイプ

ビューの表示方法を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
BB	Pattern	0	有	0 / 1	有/無	有/無	0x0D
bb	Pattern	0	無	無	有/無	有/無	0x0D

1～8 Pattern 番号
 0 Type A 入力イメージを 1 対 1 で表示
 1 Type B 入力イメージを 80%縮小して表示

③ON AIR 枠/NEXT 枠/音符表示

各項目の表示/非表示を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER			SP	SUM	CR
BC	Pattern	0	有	対象	カンマ	状態	有/無	有/無	0x0D
bc	Pattern	0	有	対象			有/無	有/無	0x0D

1～8 Pattern 番号
 ON AIR/NEXT/AUDIO 対象
 “ , ” カンマ区切り
 ON/OFF 状態

④ON AIR/NEXT/AUDIO 出力の選択

各項目の対象を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER			SP	SUM	CR
BD	Pattern	0	有	対象	カンマ	ViewNo	有/無	有/無	0x0D
bd	Pattern	0	有	対象			有/無	有/無	0x0D

1～8 Pattern 番号
 ON AIR/NEXT/AUDIO 対象
 “ , ” カンマ区切り
 0～8 (0=OFF 1～8=View 番号)

⑤ON AIR 枠/NEXT 枠の幅

対象のフレーム枠幅を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER			SP	SUM	CR
BE	Pattern	0	有	対象	カンマ	幅	有/無	有/無	0x0D
be	Pattern	0	有	対象			有/無	有/無	0x0D

1～8
ON AIR/NEXT
“ , ”
2/4/6/8/10

Pattern 番号
対象
カンマ区切り
フレーム枠幅

⑥背景指定

背景の表示形式を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
BF	Pattern	0	有	COLOR/INPUT/FILE/BLACK	有/無	有/無	0x0D
bf	Pattern	0	無	無	有/無	有/無	0x0D

1～8
COLOR
INPUT
FILE
BLACK

Pattern 番号
back color
input 8 スルー
background file
Back color 黒

⑦背景色指定

背景が単色指定に設定された時の色を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
BG	Pattern	0	有	000000～FFFFFF	有/無	有/無	0x0D
bg	Pattern	0	無	無	有/無	有/無	0x0D

1～8
000000～FFFFFF

Pattern 番号
RGB の値を 16 進で設定

⑧背景イメージを指定

背景がファイル指定に設定された時のファイル番号を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
BH	Pattern	0	有	ファイル番号	有/無	有/無	0x0D
bh	Pattern	0	無	無	有/無	有/無	0x0D

1～8
1～4

Pattern 番号
背景イメージファイル番号

(3)ビュー関係のコマンド

① ビュー位置

View の表示を開始点(X, Y)、大きさで指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER					SP	SUM	CR
CA	Pattern	View	有	X	カンマ	Y	カンマ	サイズ	有/無	有/無	0x0D
ca	Pattern	View	無	無	無	無	無	無	有/無	有/無	0x0D

1～8 Pattern 番号

1～8 View 番号

0～1728 or 0～648 or -1 X 水平位置 HDTV or SDTV or 変化なし

0～972 or 0～437 or -1 X 水平位置 HDTV or SDTV or 変化なし

192～1920 or 72～720 or -1 水平方向のサイズで指定 HDTV or SDTV or -1

“ , ” カンマ区切り

表示位置が画枠外に出ないように設定されます。

②プライオリティー

各View表示順番を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
CB	Pattern	View	有	プライオリティー番号	有/無	有/無	0x0D
cb	Pattern	View	無	無	有/無	有/無	0x0D

1～8 Pattern 番号 1～8

1～8 View 番号 1～8

1～8 プライオリティー番号 数字が小さい方が最上層に表示されます。

※プライオリティー値は View1～8 で同じ値が設定出来ない為、設定が変更されると指定された View 以外の値が変化する場合があります。

③アスペクト

各 View のアスペクト(表示方法)を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
CC	Pattern	View	有	0/1/2	有/無	有/無	0x0D
cc	Pattern	View	無	無	有/無	有/無	0x0D

1～8 Pattern 番号

1～8 View 番号

0 SQUEEZE

1 EDGE CROP

2 SP/LB

④フレーム枠幅

各Viewのフレーム幅を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
CD	Pattern	View	有	2/4/6/8/10	有/無	有/無	0x0D
cd	Pattern	View	無	無	有/無	有/無	0x0D

1～8 Pattern 番号 1～8

1～8 View 番号 1～8

2/4/6/8/10 フレーム枠幅です

⑤View/フレーム枠/タイトルの表示

各Viewの各項目の表示非表示を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER			SP	SUM	CR
CE	Pattern	View	有	対象	カンマ	状態	有/無	有/無	0x0D
ce	Pattern	View	有	対象			有/無	有/無	0x0D

1～8 Pattern 番号
 1～8 View 番号
 VIEW/FRAME/TITLE 対象
 “ , ” カンマ区切り
 ON/OFF 状態

⑥音声レベルメーターのチャンネル

各 View のオーディオレベルメーターの表示チャンネル数を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
CF	Pattern	View	有	0/2/4/8	有/無	有/無	0x0D
cf	Pattern	View	無	無	有/無	有/無	0x0D

1～8 Pattern 番号
 1～8 View 番号
 0/2/4/8 音声レベルメーターの表示チャンネル数を指定 0=OFF

⑦タイトルの表示位置

各 View のタイトル表示位置を指定します。

CMD	FUN		SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
CG	Pattern	View	有	TL/TC/TR/BL/BC/BR	有/無	有/無	0x0D
cg	Pattern	View	無	無	有/無	有/無	0x0D

1～8 Pattern 番号
 1～8 View 番号
 TL View の左上
 TC View の上センター
 TR View の右上
 BL View の左下
 BC View の下センター
 BR View の右下

⑧タイトルのサイズ(OUTLINE)

CMD	FUN		SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
CH	Pattern	View	有	20～100	有/無	有/無	0x0D
ch	Pattern	View	無	無	有/無	有/無	0x0D

1～8 Pattern 番号
 1～8 View 番号
 20～100 OUTLINE フォントの文字大きさ

⑨タイトル文字

各 View のタイトルとして表示する文字列を指定します

CMD	FUN		SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
CI	Pattern	View	有	タイトル	有/無	有/無	0x0D
ci	Pattern	View	無	無	有/無	有/無	0x0D

1~8 Pattern 番号

1~8 View 番号

シフト JIS で 16 文字

タイトル

ただし、半角スペースの場合は特殊で1スペース分を送るのにコード的には2個送る必要があります。文字数は全角半角関係なく16文字までです。

(4) その他コマンド

① 本体起動確認

本体起動後の初期化が完了しているか確認するのに使用します。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
DA	有	HELLO	有/無	有/無	0x0D
—	—	—	—	—	—

HELLO	起動確認メッセージ
-------	-----------

起動して通信可能状態になると正常受信でHELLOが戻ってきます。

このコマンドは通信(制御)開始(DB)コマンド実行前に使用することが出来ます。

②通信(制御)開始

クライアントから本体の制御を開始する時に送ります。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
DB	有	クライアントの IP または RS-232C_0	有/無	有/無	0x0D
—	—	—	—	—	—

通信(制御)開始の認識コード

クライアントの IP UDP、TCP の場合、クライアントの IP アドレス

RS-232C 0	RS-232C の場合
-----------	-------------

基本的にはこのコマンド成功後のみコマンドが実行されます。

本体は一定期間通信がないと接続状態が破棄されます。継続して接続が必要な場合は通信状態確認(DD)コマンドを定期的に発行して接続を維持する必要があります。

※クライアントから通信制御開始コマンドが送られたときは、本体メニュー操作およびパラレルリモート操作は禁止されます。メニュー操作およびパラレルリモート操作するときは、次項通信制御終了コマンドを送信してください。

③通信(制御)終了

クライアントから本体の制御を終了する時に送ります。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
DC	無	無	有/無	有/無	0x0D
—	—	—	—	—	—

④通信状態確認

通信状態がどうなっているかを確認する為に使用されます。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
DD	無	無	有/無	有/無	0x0D
—	—	—	—	—	—

本体は基本的に何もせず応答を返すだけです。

⑤本体バージョン

本体でバージョン管理されている物の全ての情報を取得します。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
—	—	—	—	—	—
de	無	無	有/無	有/無	0x0D

⑥アップデート状態

前回の取得から変化があったパラメーター検知する為のデータ列が返されます。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
—	—	—	—	—	—
df	無	無	有/無	有/無	0x0D

戻りパラメーター：検知する為のデータ列

No.	名称	データ長 (byte)	内容
1	フォーマット	1	出力フォーマットが変更された場合に1になります。
2	選択パターン	1	選択されているパターンが変更された時に選択されたパターン番号が設定されます。
3	フルスクリーン	1	フルスクリーンの設定が変更された時に選択されたView番号が設定されます。マルチウィンドウパターン設定にされた場合は255がセットされます。
4	ネットワーク	1	ネットワーク関係の設定が変化した時に1になります。
5	リモート	1	リモート関係の設定が変更された時に1になります。
6	オーディオメーター	1	オーディオメーターの設定が変化した時に1になります。
7	タイトルカラー	1	タイトルカラーが変化した時、設定された値に変化します。1：白 2：グレー
8	フレームカラー	1	フレームカラーが変化した時、設定された値に変化します。1：白 2：グレー
9	バックグラウンド	2	バックグラウンドのファイルに変化があった場合に対応bitが1になります。bit0～bit9がそれぞれファイル1～ファイル10に対応します。
10	パターン	2	パターンデータに変化があった場合に対応したbitが1になります。bit0～bit7がそれぞれView1～View 8に対応します。Bit8：TALLY、bit9：OUT AUDIO、bit10：BACKGROUND Bit11：TYPEになります。

このデータを取得されるたびにリセットされます。

⑦MAC アドレス

本体の MAC アドレスを取得します。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
—	—	—	—	—	—
dg	無	無	有/無	有/無	0x0D

⑧入力映像のフォーマット

各入力端子に対して入力されている映像フォーマットを取得します。

CMD	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
—	—	—	—	—	—
dg	有	1～8	有/無	有/無	0x0D

1～8 INPUT 1～8
HDTV/SDTV/NTSC/unknown 戻りパラメーター

このコマンドは通信(制御)開始(DB)コマンド実行前に使用することが出来ます。

返信メッセージフォーマット

本体に対してコマンドを発行すると基本的には戻りのコマンドが発行されます。

コマンドはシリアル通信で行っているため場合によっては正常にコマンドを受信できず戻りのコマンド自体がない場合があります。コマンド発行側は戻りコマンドを最大5秒まで待ちこれ以上かかった場合はコマンドが到達しなかったと判断してタイムアウト処理に入ります。

処理的に 5 秒以上かかる物はコマンド受信の戻りと処理完了の戻りコマンドを発行します。このタイプのコマンドは複数の戻りが帰ることで処理が正常実行したことを表します。

1	2	2	0 or 1	n	0 or 1	0 or 4	1
ヘッダー	通し番号	ステータス	区切り	パラメーター	区切り	チェックサム	フッター
#	No.	STAT	SP	PARAMETER	SP	SUM	CR
0x23	0～99	2 文字キャラクターデータ	半角 space／ 無	コマンド毎に参照	半角 space／ 無	総和の 16 進 下位 4 桁／ 無	0x0D

(1) ヘッダー

#: (0x23)を固定で使します。 コマンドの開始を表します。

(2) 通し番号

No.: 番号は、10進の1～99の間を繰り返し使します。(99の次は1になります)

0 は特殊な意味を持ち番号チェックの処理をキャンセルしたい場合に使用されます。(連続性が不必要なコマンドや特殊コマンドに使用されます)

APC、PC からコマンドが発行されるたびにインクリメントされていきます。

(3)ステータス

STAT: 2文字のキャラクターデータでステータスに応じた文字コードを設定します。

コマンドが成功した時は「A(ACK) + コード」になり失敗時は「N(NAK) + コード」になります。

詳細は下記のステータス一覧を参照してください。

(4)区切り

SP: 半角スペースを固定で使用します。 コマンドの区切りを表します。

ただし、パラメーターが無い場合は入れる必要ありません。

(5)パラメーター

PARAMETER: 各コマンドの戻りに合わせたパラメーターが設定されます。基本的には GET コマンドに対してのデータが格納されます。

(6)区切り

SP: 半角スペースを固定で使用します。 コマンドの区切りを表します。

ただし、チェックサムの無い場合は入れる必要ありません。

(7)チェックサム

SUM: ヘッダーからチェックサムの手前までを1バイト単位で区切り、各値の総和の16進下位4桁を設定します。受信したコマンドにチェックサムが無い場合はデータを入れずにフッターを入れます。

(8)フッター

CR: (0x0D)を固定で使用します。コマンドの終端を表します。

ステータス一覧

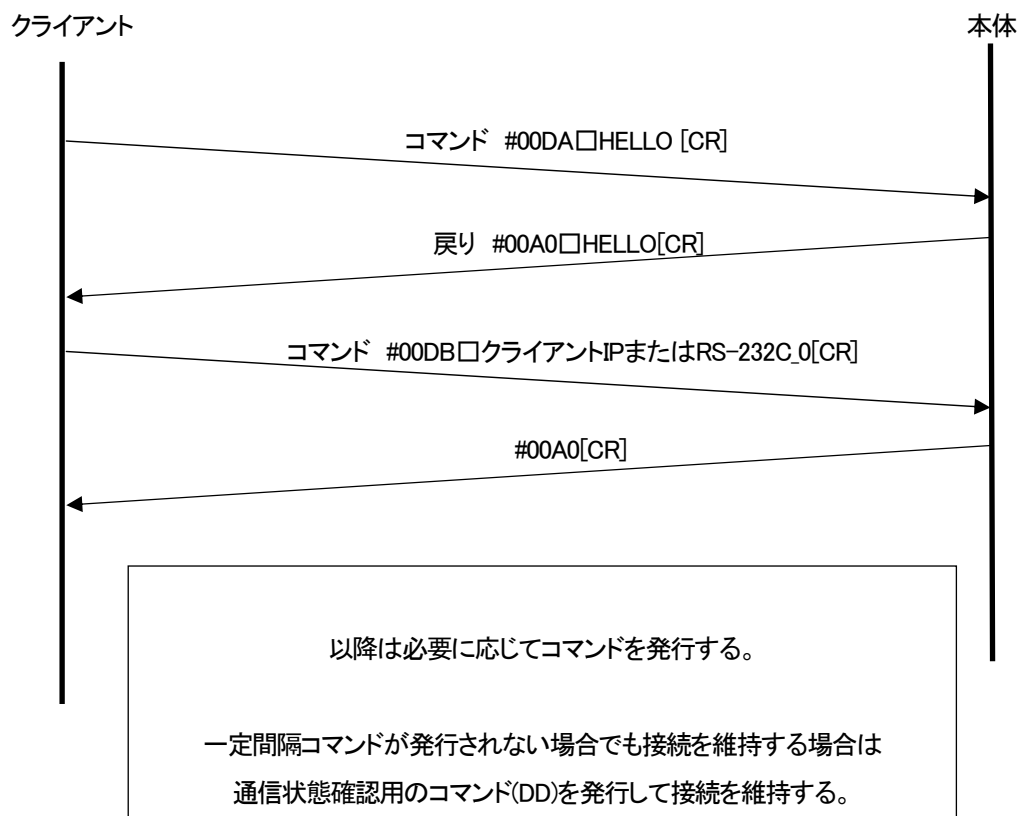
コマンドエラー時は基本的にパラメーター部にエラー内容が格納されます。

ステータス			意味
	1バイト目	2バイト目	
成功	A	0	正常受信しました。
	A	1	通し番号が不連続ですが正常受信しました。
	A	2	コマンドの中間レスポンス。次のコマンドが必要場合に発行されます。
	A	3	コマンドの中間レスポンス 処理に時間がかかる場合、クライアントがタイムアウトしないように発行されます。(コマンドは受信して処理中を表します) また、編員データが大きい時などにも使用されます。
失敗	N	0	コマンド受信に失敗しました。 チェックサムエラーやデータサイズエラーの場合に発行されます。 パラメーター部に「Command Error」が格納されます。
	N	1	不明なコマンド又は不正な機能選択です。 パラメーター部に「Unknown Command」が格納されます。
	N	2	不正なパラメーターです。 パラメーター部に「Parameter Error」が格納されます。
	N	3	設定パラメーターが範囲外です。 パラメーター部に「Parameter Besides Range」が格納されます。
	N	4	通信(制御)が開始されていません。 パラメーター部に「Connected Error」が格納されます。

通信フロー

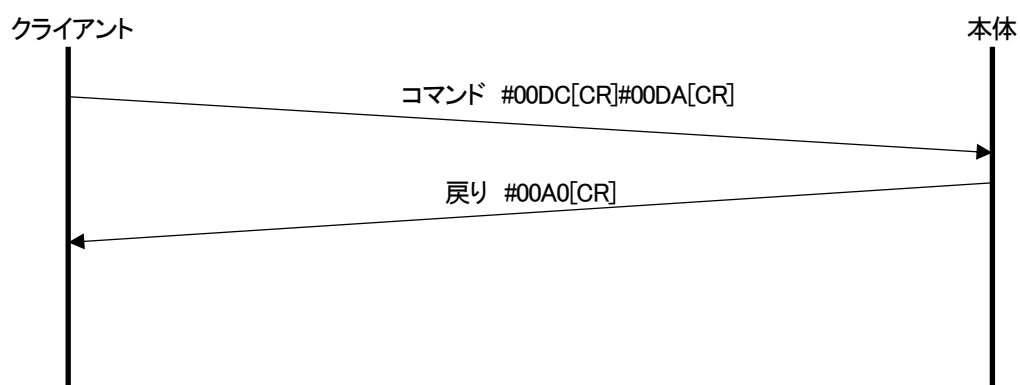
(a) 制御開始

1. 本体起動確認用のコマンドを発行します。
2. 通信(制御)開始用のコマンドを発行して問題なければ以降必要に応じてコマンド発行する。(コマンド発行が一定時間無い場合は接続が解除されないように定期的に通信状態確認用のコマンドを発行する)



(b) 制御終了

1. 通信(制御)終了コマンドを発行して戻りが問題なければ終了手続きは完了です。



10. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

(文中の→は対処方法を示しています)

現 象 ・FAN ALARM表示が出る！

原 因 ・FANの吹き出し口から異音がしていませんか？

→FANの吹き出し口に埃などが目詰まりしている場合、本体の電源をOFFし、清掃してください。

異音がしている場合はFANの交換が必要です。弊社にご連絡ください。

・FANが停止していませんか？

→停止している場合はFANの交換が必要です。弊社にご連絡ください。

現 象 POWER LED が点灯しない！

PSY ALARM LED が点灯した！

原 因 ・筐体正面の電源スイッチは ON 側になっていますか？

・筐体の電源ケーブルは確実に接続されていますか？

・電源電圧・周波数は正しいですか？

→電源電圧・周波数を確認してください。電源電圧は 90～250V、周波数は 50～60Hz です。

→接続が正しくて点灯しない場合は故障が考えられます。当社製造技術部までご連絡ください。

→PSY LED が点滅している場合、筐体がつながっているシステムの供給電源に異常がある可能性があります。筐体をシステムから外し、正常な供給電源に接続してください。

それでも症状が改善されない場合は、筐体の電源が故障した可能性があります。

当社製造技術部までご連絡ください。

現 象 PSY ALARM LED が消灯しない！

原 因 ・筐体への供給電源は正常ですか？

→筐体のつながっているシステムの供給電源に異常がある可能性があります。筐体をシステムから外し、正常な供給電源に接続してください。それでも症状が改善されない場合、筐体の電源が故障した可能性があります。当社製造技術部までご連絡ください。

現 象 ファンユニットが取り外せない！ファンユニットが実装出来ない！

原 因 ・ファンユニット、もしくは筐体のフレームなどがゆがんでいませんか？

→ゆがんで見える場合、筐体破損が原因と考えられます。当社製造技術部までご連絡ください。

現 象 ・電源が入らない！

原 因 ・筐体正面の電源スイッチはON側になっていますか？

・筐体の電源ケーブルのプラグはコンセントに挿入されていますか？

現象 ・入力信号が正常にモニター出力されない！ノイズが発生する！

原因 ・出力映像フォーマットの設定がシステムに合っていますか？

→メニューのOUT FORMATの設定を確認してください。

原因 ・SDI信号接続時は、規定内のBNCを使用していますか？

→HDTVでは5CFB 100m、SDTVでは5C2V 250mです。

規格内のケーブルに交換してください。

現象 ・設定したデータがバックアップされない！

原因 ・データ設定後にツマミを押してからメニューを閉じましたか？

→項目や数値を設定後には、必ずツマミを押してデータを決定してください。

現象 ・正面ボタンから操作出来ない！

原因 ・LOCKボタンが点灯または点滅していませんか？

→LOCKボタンを3秒以上押し続け、LOCKを解除してください。

→外部制御を終了してください。(アプリケーションまたはUDP通信など)

現象 ・INPUT8が縮小表示されない！

原因 ・PATTERNメニューのBACKGROUNDがIN8 THROUになっていませんか？

→BACKGROUNDメニューからBACKCOLORまたはFILEを選択してください。

現象 ・音声が出力されない！

原因 ・PATTERNメニューのOUT AUDIOがOFFになっていませんか？

→OUT AUDIOメニューからVIEW1～VIEW8を選択してください。

原因 ・NTSC入力を選択されていませんか？

→NTSCが入力されているチャンネルにAUDIO信号を入力してください。

NTSCが接続されている同じチャンネルのAUDIO IN(RCAピン)にANALOG AUDIOを入力します。

現象 ・パソコンとネットワークが繋がらない！

原因 ・パソコンと本体のIPアドレスの設定は重複していませんか？

→ネットワーク管理者に問い合わせ、IPアドレスを適切な値に変更してください。

・サブネットマスクの設定は適切ですか？

→ネットワーク管理者に問い合わせ、サブネットマスクを適切な値に変更してください。

・パソコンのファイアウォールの設定が有効になっていませんか？

→ネットワーク管理者に問い合わせ、ファイアウォールの設定を無効にしてください。

・本体背面のLANステータスランプは緑、または橙色に点灯していますか？

→点灯していない場合は、LANケーブル、またはHUBに問題がある可能性があります。

・ネットワーク管理者に問い合わせ、接続を確認してください。

現 象 ・FTPで転送エラーが発生し、ファイルが転送出来ない！

原 因 ・MVW-90で使用可能なファイルを転送しましたか？

→「P-39. FTP転送」を参照し、ファイル形式を確認してください。

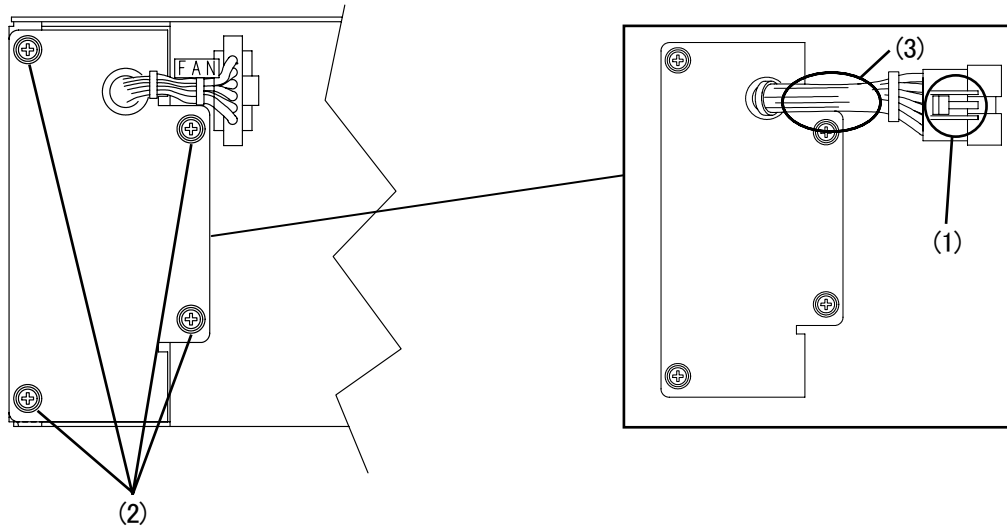
お問い合わせは当社製造技術部までご連絡ください。

11. 保守・点検

P-I ~ III「この製品を安全にご使用いただくために」の内容を確認し、安全に作業を行ってください。

1. ファンユニット取り外し方法

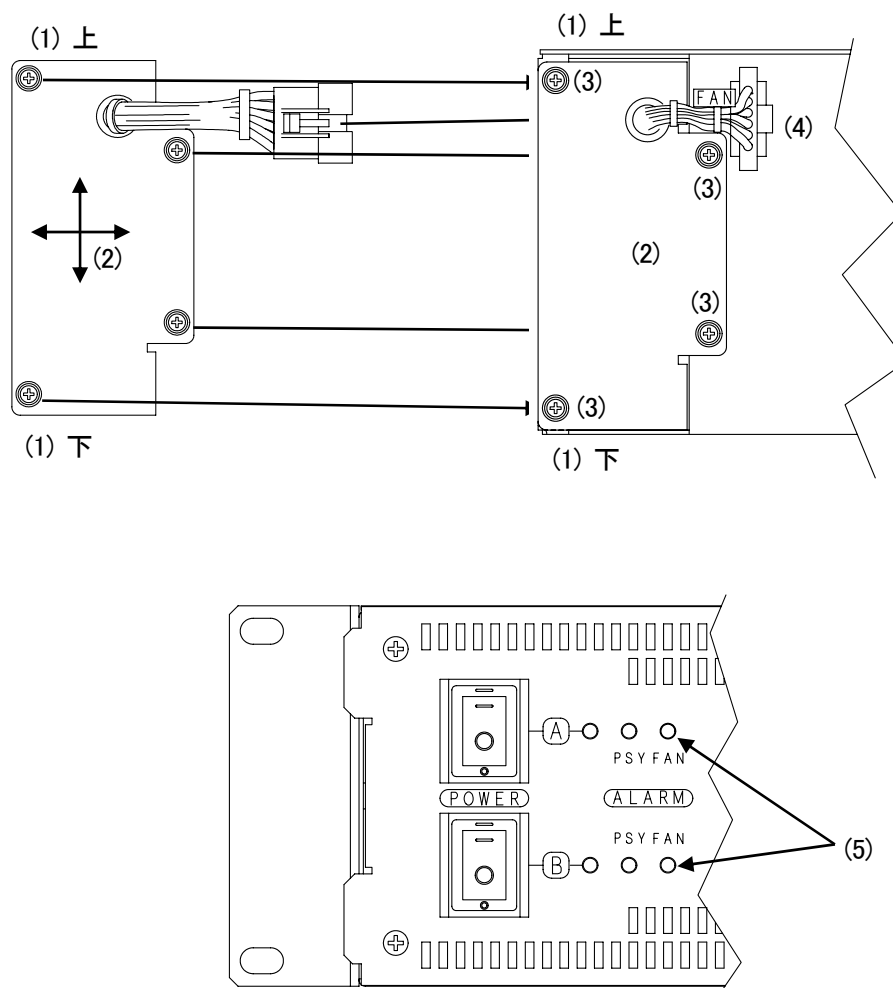
筐体背面



- (1) ファンユニット電源端子の抜け止めを押しながらコネクターを引き抜きます。
- (2) ファンの回転が止まったら M2.6 用ドライバにて取り付けネジが空回りするまで緩めます。
- (3) ファンユニット電源端子とケーブルクランプの間を持ちながらユニットを引き抜きます。

2. ファンユニット実装方法

筐体背面



- (1) 背面より、ファンユニットの実装位置を確認します。
- (2) ファンユニット実装位置にファンユニットを垂直・水平に挿入します。
- (3) M2.6 用ドライバにてファンユニット取り付けネジを締め付けファンユニットを固定します。
- (4) ファンユニット電源端子を背面にある端子に挿入し、ファンユニットが動作しているか確認します。
- (5) 前面にある FAN LED が橙色点滅していなければ正常動作となります。

12. 仕様

1. 機能

BACKGROUND	
・BLACK	BACKGROUNDを黒として背景に設定
・COLOR	BACKGROUNDを任意のカラーで背景に設定
・IN8 THR	入力信号8を背景として設定
・FILE	FTP転送またはキャプチャーした映像を背景として設定
マルチウィンドウ パターン	ユーザーパターン8種類を持つことができ、8個の外部接点でダイレクトに切り替え できます。背景やオーディオメーター、VIEW名称、画枠の太さなどをパターンごとに設定 できます。
フルスクリーン 表示	VIEW1からVIEW8をフルスクリーン表示します。 8個の外部接点でダイレクトに切り替えできます。
AUDIO出力	VIEW1からVIEW8のエンベディットオーディオまたはアナログオーディオを切り替えで きます。8個の外部接点でダイレクトに切り替えできます。
TALLY表示	ON AIRタリー、NEXTタリー、AUDIOタリーを表示できます。ON AIRは赤枠、NEXTは緑 枠、AUDIOはノマーク8個の外部接点でダイレクトに切り替えできます。
オーディオレベル メーター表示	VIEW1からVIEW8のエンベディットオーディオまたはアナログオーディオのオーディオ レベルを表示できます。2、4、8チャンネルの表示切り替えができます。 オーディオレベルメーターの緑、黄色の境界線のレベルを任意の値に変更できます。
16:9、4:3アスペクト	4:3から16:9へ変換のとき、スクイーズ・エッジクロップ・サイドパネルが選択可能 16:9から4:3へ変換のとき、スクイーズ・エッジクロップ・レターボックスが選択可能
VIEWタイプ	VIEW表示モードを切り替えます。MODE Aは入力信号を1:1のイメージで縮小して表示 します。MODE Bは入力信号を80%縮小して上下左右に黒味を挿入し縮小表示します。
VIEW 画枠SIZE	HD-SDI出力では、192ドット×108ライン(1/10)サイズまで縮小できます。最大は1920 ドット×1080ラインです。SD-SDI出力では、72ドット×48ライン(1/10)サイズまで縮小で きます。最大は720ドット×486ラインです。 ユーザーパターンの4種類はこの範囲での拡大、縮小ができます。 VIEWの画枠サイズは左上を0、0の原点として横方向のサイズで表示されます。
VIEW 画枠POSI	HD-SDI出力では、サイズが192ドット×108ラインのとき最大1278ドット、972ラインまで 位置移動できます。SD-SDI出力では、サイズが72ドット×48ラインのとき、最大648 ドット、438ラインまで位置移動できます。移動量は、画枠SIZEにより決定します。
TITLE表示	英数字、JIS第一、第二水準漢字で16文字を表示できます。 タイトル文字は、MVW-90S専用アプリケーションまたはUDP、FTP、RS-232Cから転送 できます。タイトル位置を、左上、上センター、右上、左下、下センター、右下の6箇所 から選択できます。タイトル文字の大きさをサイズ40～100の間で設定できます。 タイトル文字を白100%、グレー50%から選択できます。(各VIEW共通色となります)
フレーム枠表示	VIEWにフレーム枠を表示できます。 フレーム枠は、OFF、2ドット2ライン、4ドット4ライン、6ドット6ライン、8ドット8ライン、10 ドット10ラインの6種類から選択できます。 フレーム枠の色を白100%、グレー50%より選択できます。(各VIEW共通色となります)
PRIORITY表示	VIEWのPRIORITY(表示順)を指定できます。 PRIORITYは1が最上位、8が最下位となります。 VIEW同士が重なった場合に有効となります。
接点制御	GPI1～8、GPI9～16の2系統でMULTI、FULL、ON AIR、NEXT、AUDIOなどを接点制御 できます。 TALLY1～8、TALLY9～16の2系統でON AIR、NEXT、AUDIOタリーなど表示できます。
RS-232C制御	メニュー操作の全てを、外部コマンドにより制御します。
SNMP／ネットワー ク制御	SNMPによるステータスの監視ができます。
ネットワーク転送	PCから10/100BASE-Tのネットワーク経由で、BACKGROUNDファイルの転送ができ ます。

2. 定格

入力信号	
IN 1～8	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8V _{p-p} /75Ω、 or SMPTE170M準拠 1.0V _{p-p} /75Ω BNC 各1系統
AUDIO IN 1～8	ハイインピーダンス(10KΩ以上) -10dBu=-20dBFS(エンベデッド出力にて) アンバランスステレオ RCAピンジャック 各1系統
REF IN	BBS、0.43V _{p-p} /75Ω、BNC 1系統(ブリッジ可) または3値SYNC、0.6V _{p-p} /75Ω、※3値SYNCとBBSは自動切り替え
出力信号	
SDI OUT	SMPTE292M、SMPTE259M-C準拠、0.8V _{p-p} ±10%/75Ω、BNC 2系統
DVI OUT	DVI 1.0準拠、DVI-D 24(シングルリンク) 1系統 ※1
※1.DVI-D出力は、1080i/59.94 525i/59.94のみ対応	
外部/F	
REMOTE	接点入出力 アンフェノール50ピン 入力16系統 ※1 出力16系統 ※2 アラーム出力4系統 ※1 TTL信号で制御する際は、吸い込み電流が12mAまで耐えられるデバイスで駆動してください。 ※2 接点の絶対最大定格は60V、300mAです。外部抵抗で電流を300mA以下に制限してください。 ※REMOTEを使用する際は、メニュー設定で用途を選択します。
RS-232C	D-sub9ピンオス 1系統
10/100 BASE-T	RJ-45 1系統
映像フォーマット	HDTV: 1080i/59.94、SDTV: 525i/59.94、NTSC: 525i/59.94
電源	AC100～240V、50/60Hz
消費電力	110VA
質量	7kg
外形寸法	420(W)×88(H)×400(D)mm (突起部含まず)
動作温度	0～40℃
動作湿度	20～80%RH(ただし結露なき事)

3. 性能

入力特性

SDI IN 1～8

分解能	10bit
サンプリング周波数	HD: 74.18MHz、SD: 13.5MHz
イコライザー特性	HD: 100m/5CFB、SD: 250m/5C2V
反射減衰量	HD: 5 MHz～742.5 MHz、15 dB 以上 HD: 742.5 MHz～1.485 GHz、10 dB 以上 SD: 5 MHz～270MHz、15 dB以上

NTSC IN 1～8

入力インピーダンス	75Ω
周波数特性	0.5MHz～4.5 MHz±0.6dB
サンプリング周波数	13.5MHz
量子化	10bit

AUDIO IN 1～8

音声入力方式	アンバランス(不平衡)信号 2 チャンネル(ステレオ)
音声入力	-10dBu ハイインピーダンス (10KΩ 以上) (RCA ピンジャック)
周波数特性	10 Hz ～ 20 kHz ±2dB 以内 (1 kHz 基準)
音声クロストーク	65dB以上
音声S/N	75dB以上
音声歪率	0.05 % 以下

出力特性

SDI OUT 1、2

分解能	10bit
サンプリング周波数	HD: 74.18MHz、SD: 13.5MHz
信号振幅	0.8V _{p-p} ±10%/75Ω
反射減衰量	HD: 5 MHz～742.5 MHz、15 dB 以上 HD: 742.5 MHz～1.485 GHz、10 dB 以上 SD: 5MHz～270MHz 15 dB 以上
立ち上がり/立ち下がり時間	HD: 270ps 以下(20%～80%間) SD: 0.4ns 以上～1.5ns 以下
オーバーシュート	10%以下
DCオフセット	0V±0.5V
ジッター特性	
アライメント	0.2UI
タイミング	HD: 1.0UI、SD: 0.2UI

DVI OUT

分解能	8bit
サンプリング周波数	27MHz、74.1758MHz

遅延時間	2 フレーム以内
------	----------

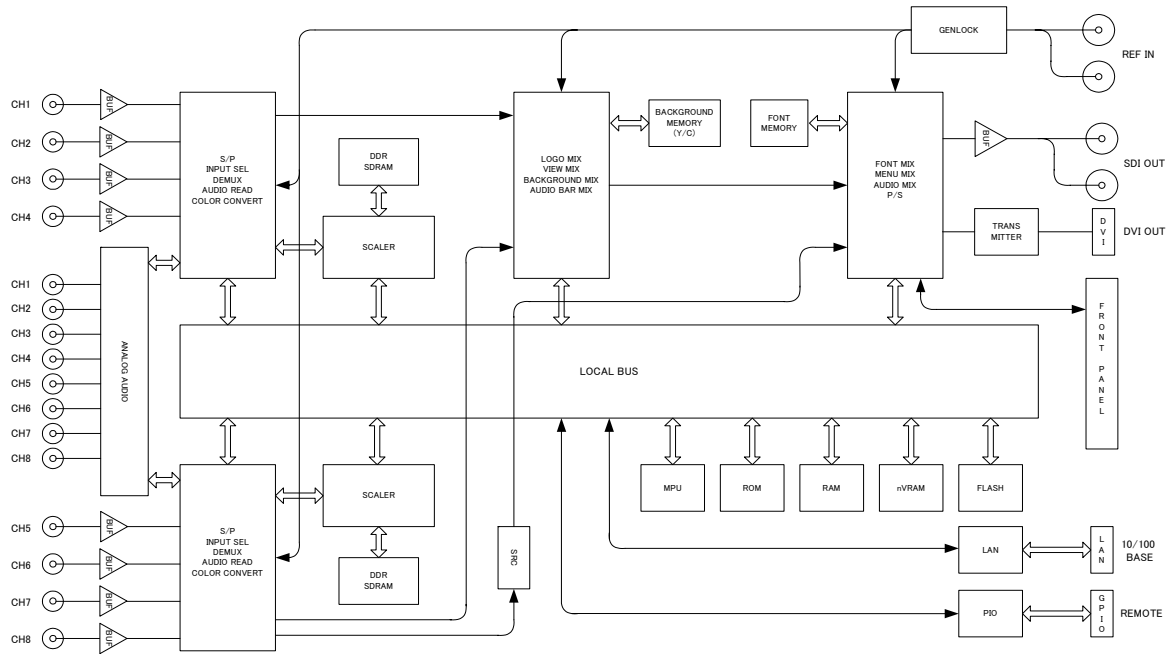
REMOTE

接点入力	12mA 最大定格
接点出力	60V/300mA 最大定格

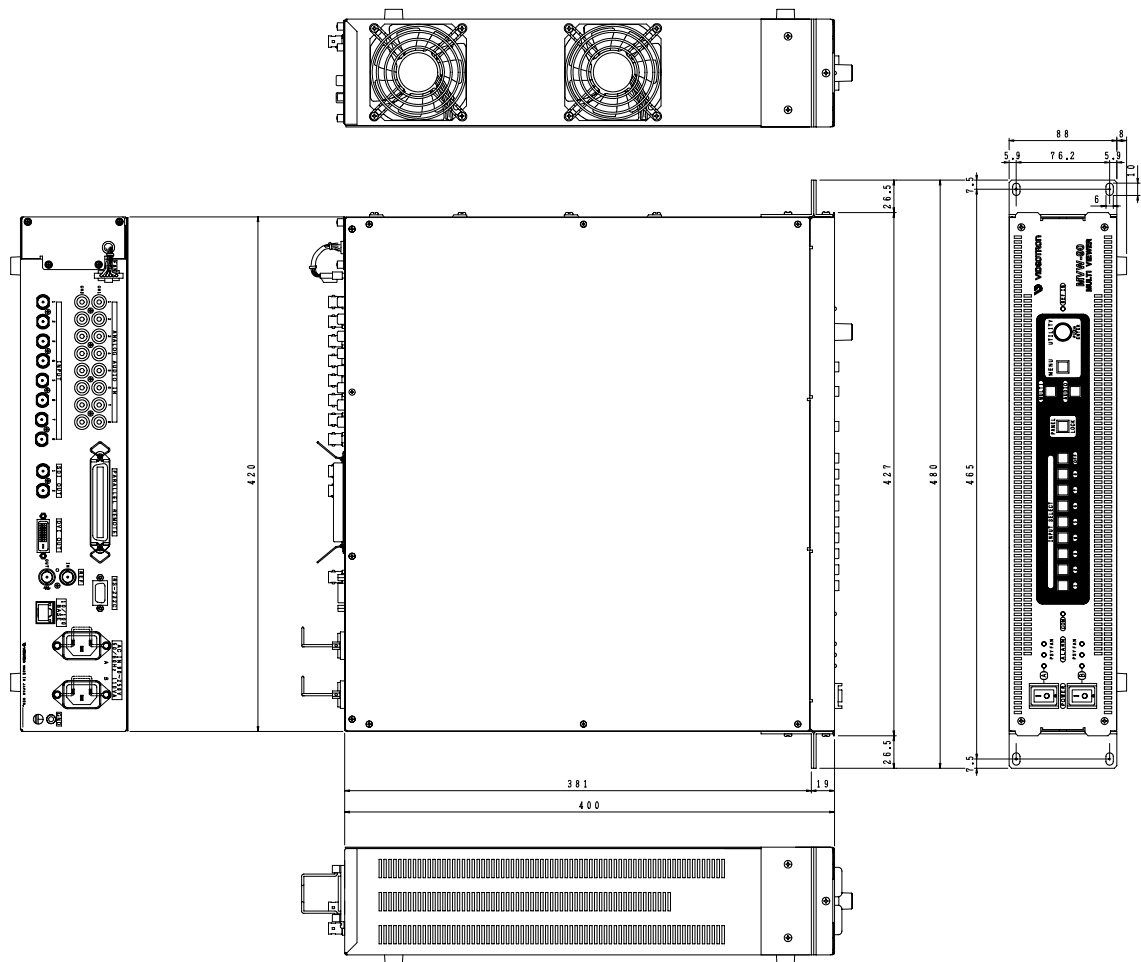
文字フォント

アウトラインフォント	JIS第一、第二水準漢字
------------	--------------

13. ブロック図



14. 外形寸法図



15. リモコン(オプション PRC-1201、MVW-90-01)

1. 概説

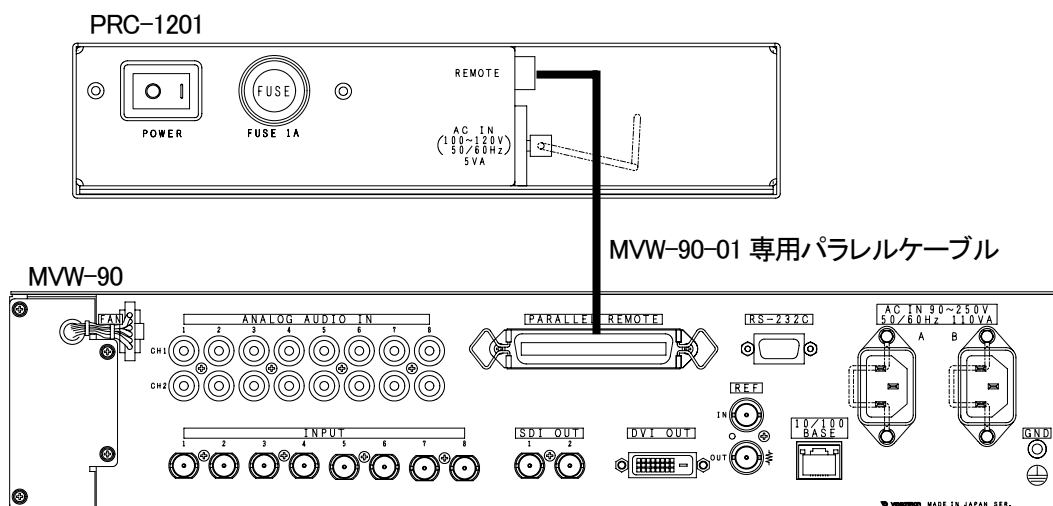
PRC-1201とMVW-90-01はMVW-90に接続できるパラレルリモートコントローラと専用パラレルケーブルです。
PRC-1201の電源入力は、AC入力仕様またはDC入力仕様から選択することができます。

2. 構成

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	12×1 パラレルリモートコントローラ(AC)または 12×1 パラレルリモートコントローラ(DC)	PRC-1201 (AC) PRC-1201 (DC)	1	
2	専用パラレルケーブル	MVW-90-01	1	ケーブル長 10m
3	電源ケーブル または AC アダプター	VAC-12V01A	1	ケーブル長 2m ケーブル長 1.5m
4	ヒューズ	1A	3	(AC 仕様)

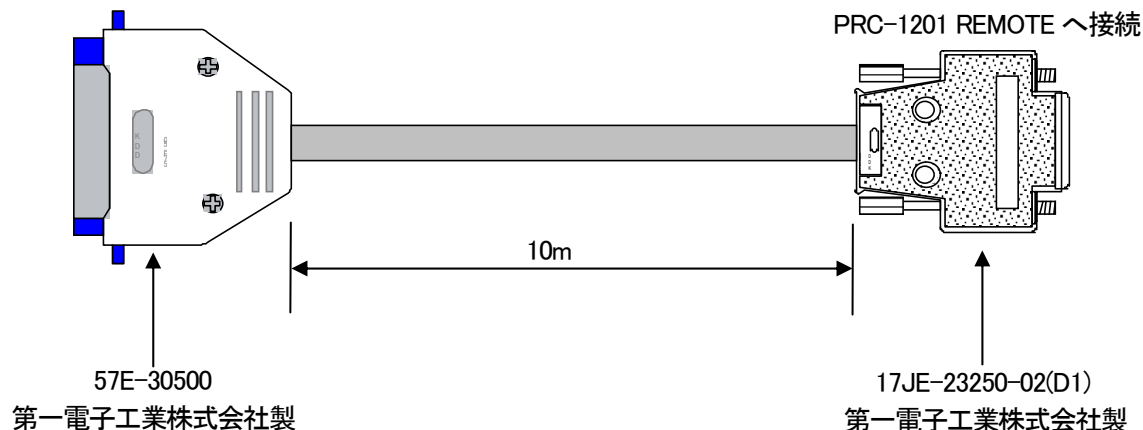
3. 接続

PRC-1201のREMOTEコネクタとMVW-90のPARALLEL REMOTEコネクタをMVW-90-01専用パラレルケーブルで接続します。

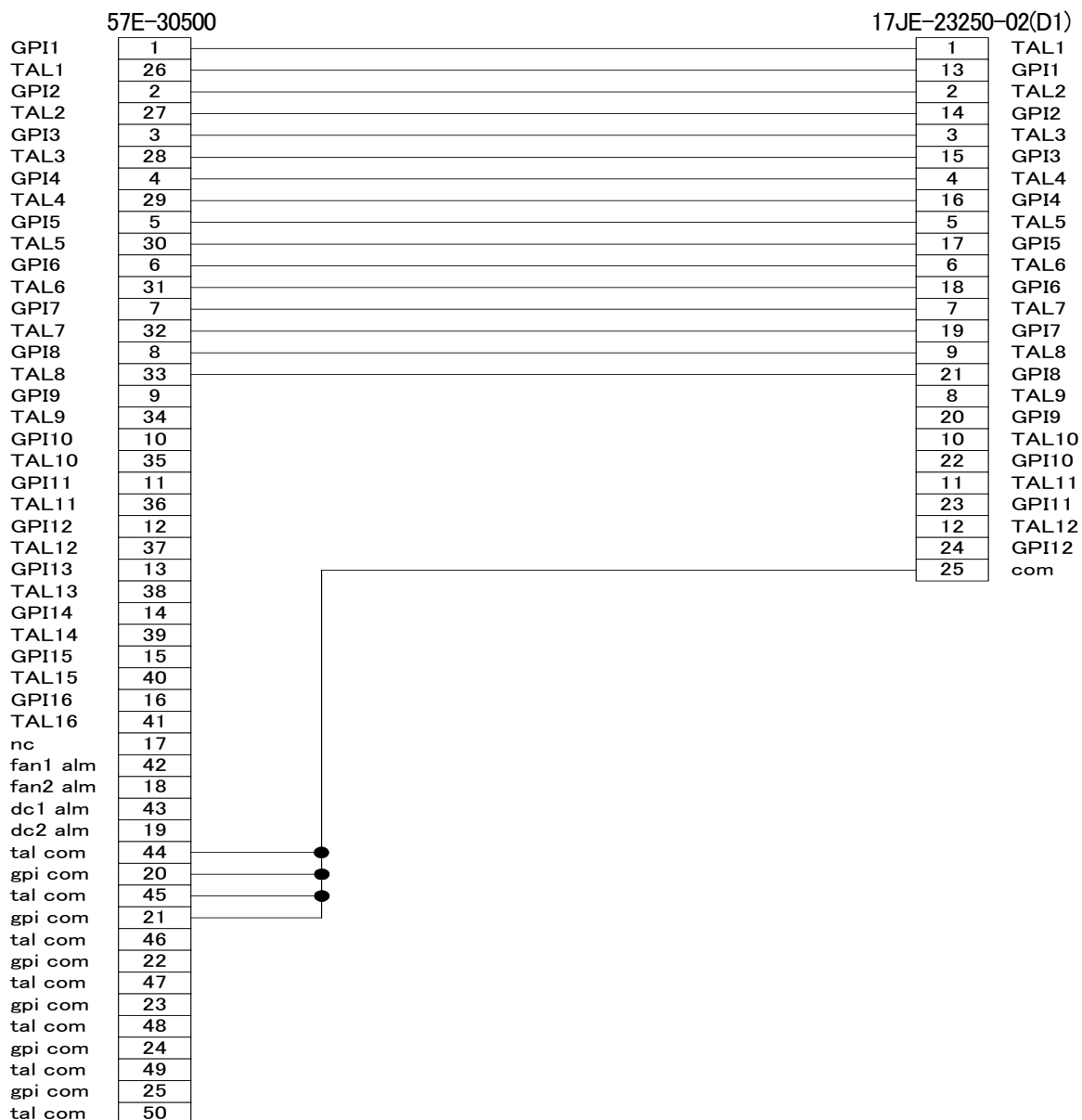


4. MVW-90-01 ケーブル外観

MVW-90 PARALLEL REMOTE へ接続



5. MVW-90-01 ケーブル配線図



6. 基本動作チェック

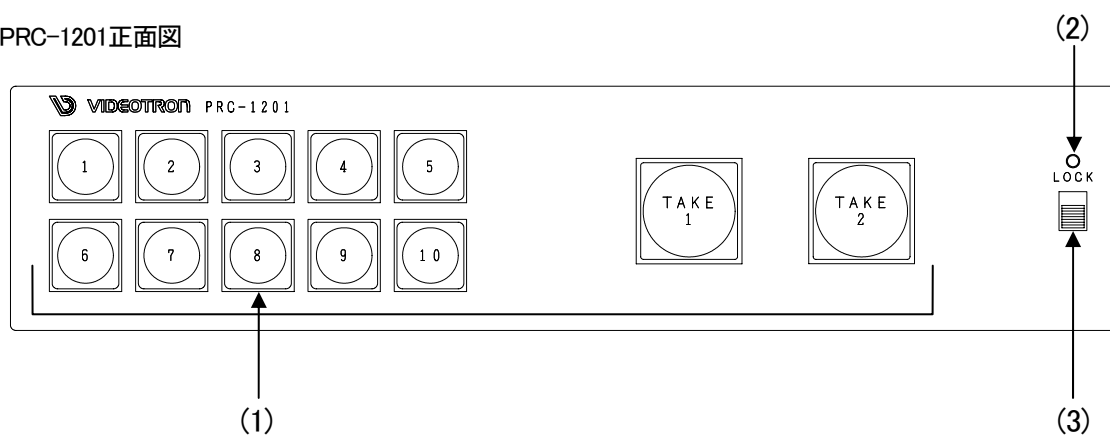
下記の操作で、本機が正常に動作していることを確認します。

- (1) MVW-90 の PARALLEL REMOTE と PRC-1201 の REMOTE を専用パラレルケーブルで接続します。
- (2) MVW-90 と PRC-1201 の電源を ON します。
- (3) MVW-90 の MENU から SYSTEM を選択し、GPI1～8 に MULTI を選択します。
- (4) MENU から SYSTEM の TALLY1～8 に MULTI を選択します。
- (5) PRC-1201 の LOCK スイッチを選択スイッチ有効にします。(選択スイッチ有効: 消灯、選択スイッチ無効: 点灯)
- (6) PRC-1201 の 1 スイッチを押します。
- (7) MVW-90 の USER1 パターンが選択されモニター表示します。同時にタリーを返しスイッチがアンバーで点灯します。
- (8) 他のスイッチを押し、USER パターンが切り替わることを確認します。※1

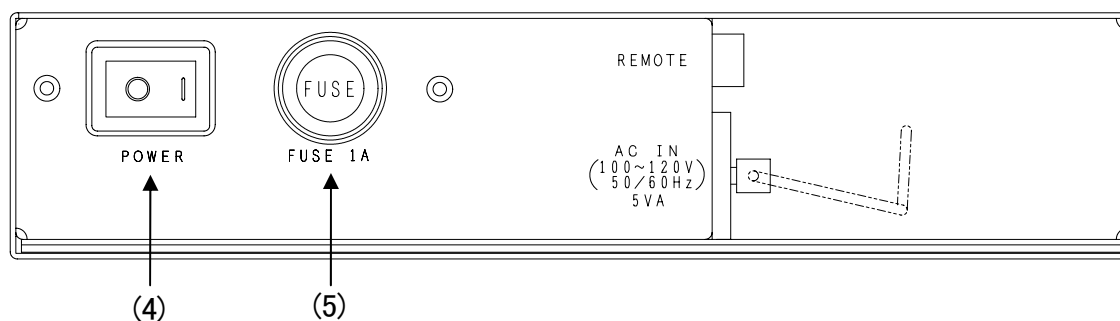
※1. PRC-1201 と MVW-90 を接続したとき、9、10、TAKE1、TAKE2 スイッチは無効です。

7. 各部の名称と働き

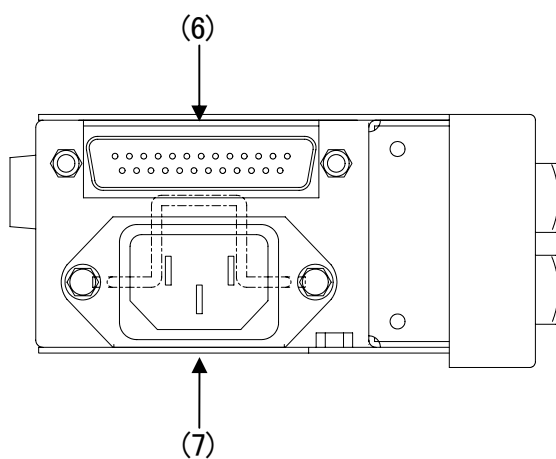
PRC-1201正面図



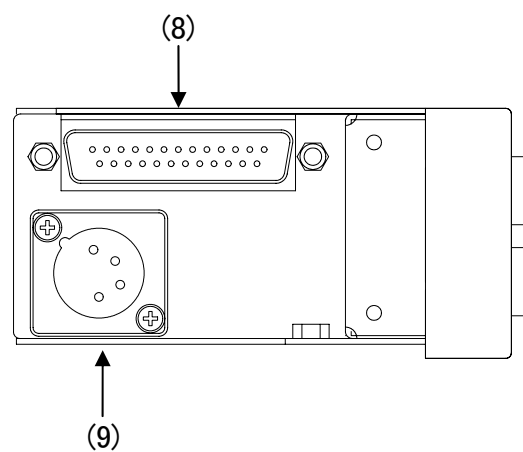
PRC-1201(AC)背面図



PRC-1201(AC)側面図



PRC-1201(DC)側面図



※正面図は、AC,DCによつての違いはありません。

(1) 選択スイッチ

1 ～ **8** のスイッチを押すと、対象となるピンがMAKEします。MVW-90で接点入力を受け取ると、タリーを返し、選択したスイッチがアンバー色で点灯します。※1

(2) LOCK LED

LOCKスイッチがONの時、緑に点灯し、OFFの時、消灯します。

(3) LOCKスイッチ

選択スイッチの有効/無効を選択します。

(4) POWER ONスイッチ

電源スイッチです。右に倒すと、電源をONします。

(5) ヒューズホルダー

1Aのヒューズを装着します。(出荷時は、実装済みです。)

(6) REMOTEコネクタ(PCR-1201 (AC))

接続される機器と繋ぐ際に、使用するI/Fです。

(7) AC IN

AC入力の3ピンコネクタです。付属の電源ケーブルを接続してください。

(8) REMOTEコネクタ(PCR-1201 (DC))

接続される機器と繋ぐ際に、使用するI/Fです。

(9) DC IN

DC入力の4ピンコネクタです。付属のACアダプターを接続してください。

※1. PCR-1201とMVW-90を接続したとき、**9**、**10**、**TAKE1**、**TAKE2** はスイッチは無効です。

また、MVW-90側のメニュー設定でSYSTEM GPI1～8とTALLY1～8の設定によっては、スイッチが点灯しない場合があります。GPIとTALLYの組み合わせで、スイッチ点灯するのは下記設定のときです。

GPI1～8	TALLY1～8	映像/音声選択	スイッチ点灯
FULL	AUDIO	○	○
MULTI	MULTI	○	○
AUDIO	AUDIO	○	○
ONAIR	ONAIR	○	○
NEXT	NEXT	○	○
VIEW	VIEW	○	○
どれに設定しても	INP1 ERR～INP8 ERR	○	×
どれに設定しても	ALL ERR	○	×

8. 仕様

1. 定格

(1) PRC-1201

◇パラレル I/F

・REMOTE (PARALLEL)

Dsub-25(f) インチネジ 1 系統

◇消費電力

5VA

◇外形寸法

200W×44H×87D(mm)(突起物含まず)

◇質量

700g

◇動作温度

0～0℃

◇動作湿度

20～80%RH(ただし結露なきこと)

(2) VAC12V01A (PRC-1201(DC)付属 AC アダプター)

◇電源入力

AC100～240V 47/63Hz、0.31A 平形 2 ピンプラグ

◇電源出力

DC+12V/1A、XLR-4(f) (1 ピン=マイナス極性、4 ピン=プラス極性)

◇消費電力

MAX1A (12VA)

◇動作温度

0～0℃

◇動作湿度

20～80%RH(ただし結露なきこと)

2. 性能

◇REMOTE (PARALLEL)

◇接点入力

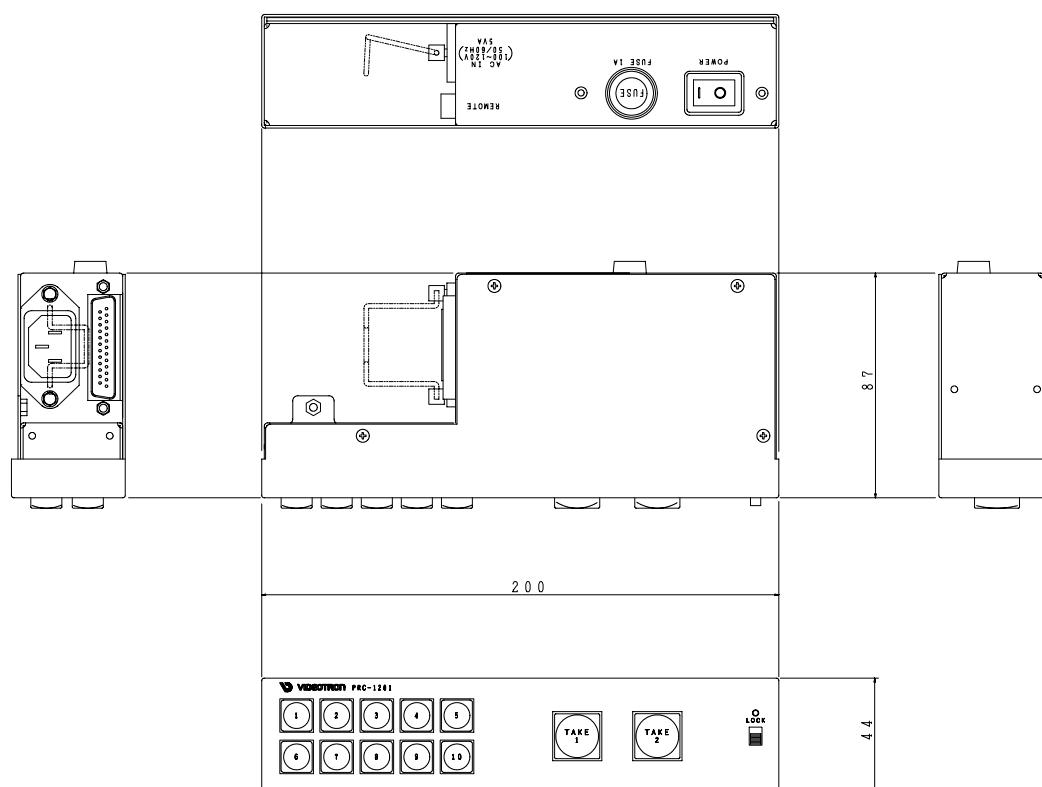
30mA 最大

◇電源出力

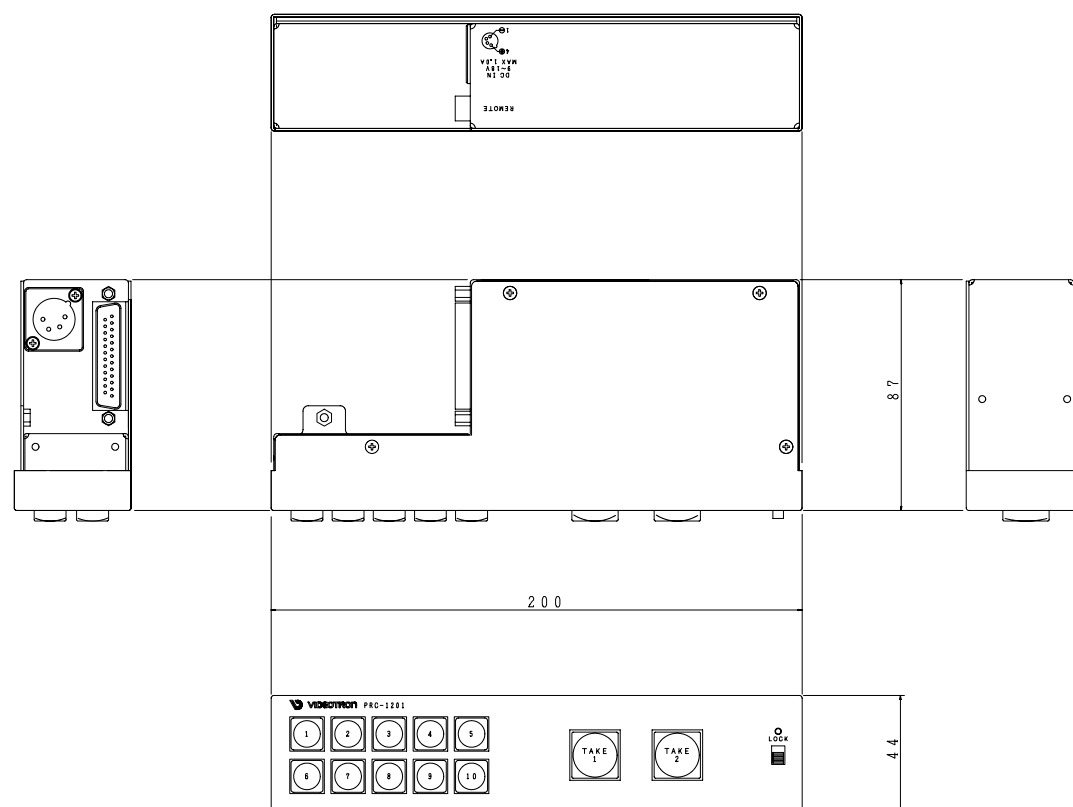
28V/100mA 最大定格

9. 外形寸法

PRC-1201(AC)



PRC-1201(DC)



※一部、外観やスイッチ名称は変更する場合があります。

16. リモコン(オプション PRC-0401、MVW-90-02)

1. 概説

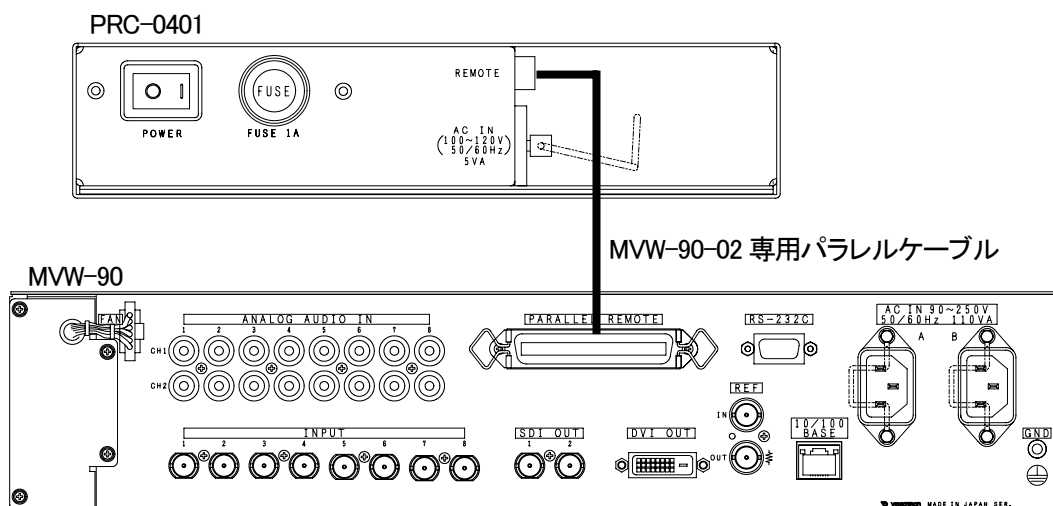
PRC-0401とMVW-90-02はMVW-90に接続できるパラレルリモートコントローラと専用パラレルケーブルです。
PRC-0401の電源入力は、AC入力仕様またはDC入力仕様から選択することができます。

2. 構成

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	4×1 パラレルリモートコントローラ(AC)または 4×1 パラレルリモートコントローラ(DC)	PRC-0401 (AC) PRC-0401 (DC)	1	
2	専用パラレルケーブル	MVW-90-02	1	ケーブル長 10m
3	電源ケーブル または AC アダプター	VAC-12V01A	1	ケーブル長 2m ケーブル長 1.5m
4	ヒューズ	1A	3	(AC仕様)

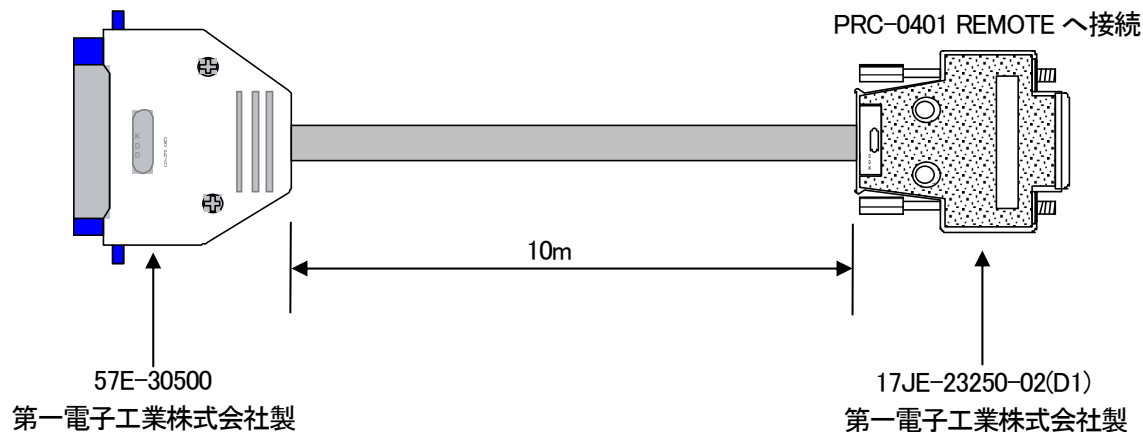
3. 接続

PRC-0401のREMOTEコネクタとMVW-90のPARALLEL REMOTEコネクタをMVW-90-02専用パラレルケーブルで接続します。

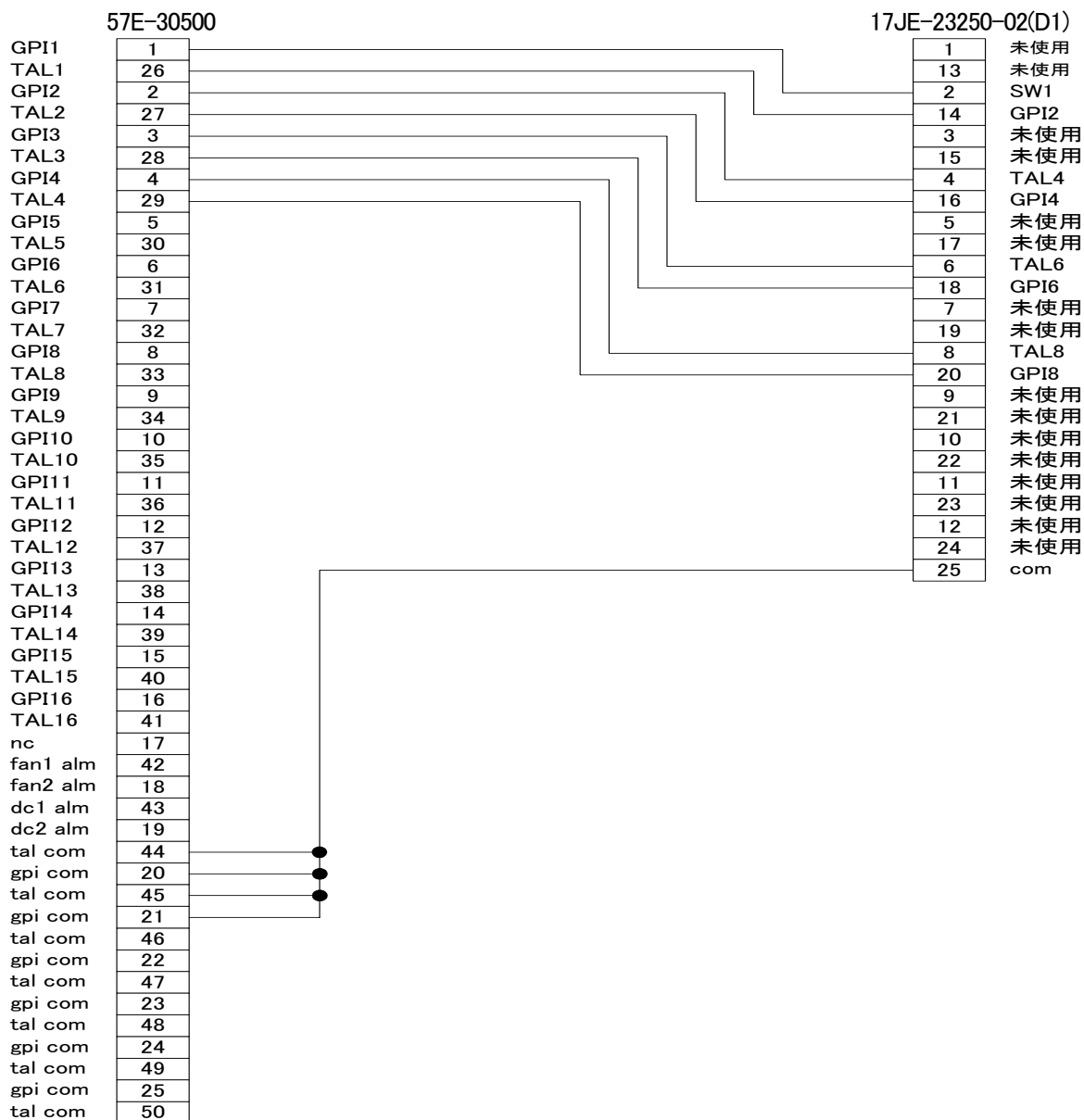


4. MVW-90-02 ケーブル外観

MVW-90 PARALLEL REMOTE へ接続



5. MVW-90-02 ケーブル配線図



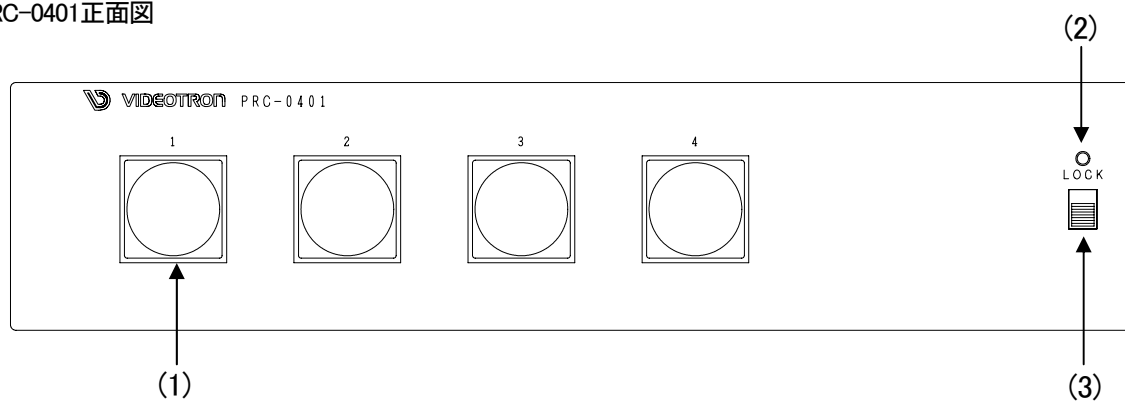
6. 基本動作チェック

下記の操作で、本機が正常に動作していることを確認します。

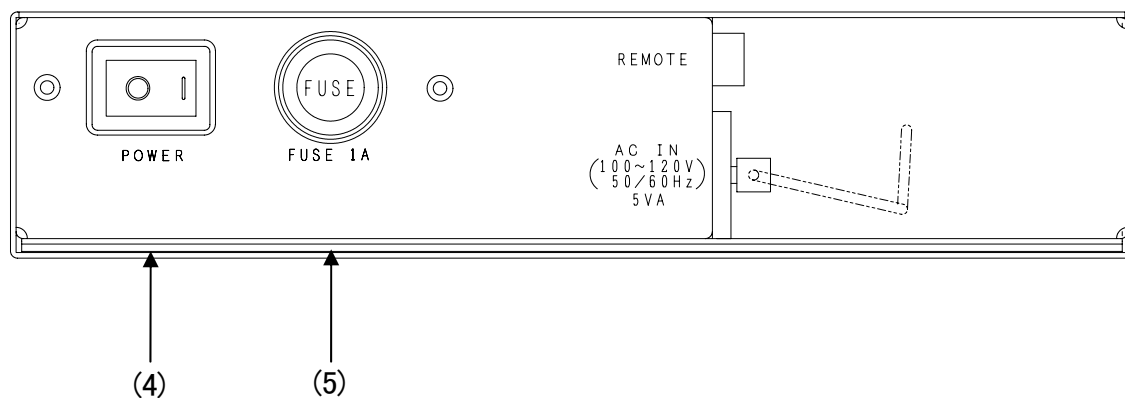
- (9) MVW-90 の PARALLEL REMOTE と PRC-0401 の REMOTE を専用パラレルケーブルで接続します。
- (10) MVW-90 と PRC-0401 の電源を ON します。
- (11) MVW-90 の MENU から SYSTEM を選択し、GPI1～8 を MULTI に選択します。
- (12) MENU から SYSTEM の TALLY1～8 を MULTI に選択します。
- (13) PRC-0401 の LOCK スイッチを選択スイッチ有効にします。(選択スイッチ有効: 消灯、選択スイッチ無効: 点灯)
- (14) PRC-0401 の 1 スイッチを押します。
- (15) MVW-90 の USER1 が選択されモニター表示します。同時にタリーを返しスイッチがアンバーで点灯します。
- (16) 他のスイッチを押し、USER パターンが切り替わることを確認します。

7. 各部の名称と働き

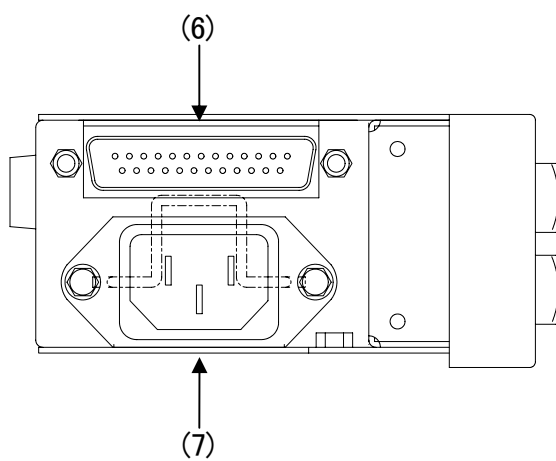
PRC-0401正面図



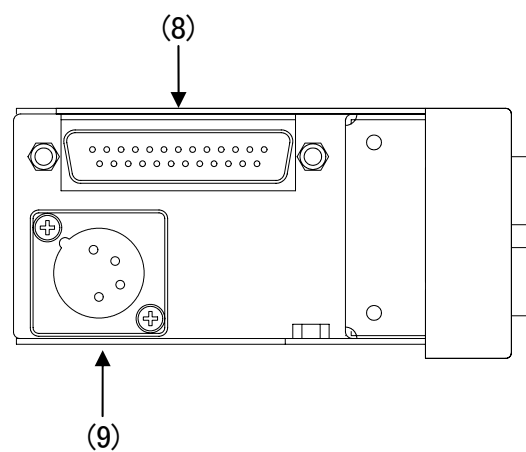
PRC-0401(AC)背面図



PRC-0401(AC)側面図



PRC-0401(DC)側面図



※正面図は、AC,DCによつての違いはありません。

(1) 選択スイッチ

1 ～ 4 のスイッチを押すと、対象となるピンがMAKEします。MVW-90で接点入力を受け取ると、タリーを返し、選択したスイッチがアンバー色で点灯します。

(2) LOCK LED

LOCKスイッチがONの時、緑に点灯し、OFFの時、消灯します。

(3) LOCKスイッチ

選択スイッチの有効/無効を選択します。

(4) POWER ONスイッチ

電源スイッチです。右に倒すと、電源をONします。

(5) ヒューズホルダー

1Aのヒューズを装着します。(出荷時は、実装済みです。)

(6) REMOTEコネクタ(PRC-0401 (AC))

接続される機器と繋ぐ際に、使用するI/Fです。

(7) AC IN

AC入力の3ピンコネクタです。付属の電源ケーブルを接続してください。

(8) REMOTEコネクタ(PRC-0401 (DC))

接続される機器と繋ぐ際に、使用するI/Fです。

(9) DC IN

DC入力の4ピンコネクタです。付属のACアダプターを接続してください。

MVW-90側のメニュー設定でSYSTEM GPI1～8とTALLY1～8の設定によっては、スイッチが点灯しない場合があります。GPIとTALLYの組み合わせで、スイッチ点灯するのは下記設定のときです。

GPI1～8	TALLY1～8	映像/音声選択	スイッチ点灯
FULL	AUDIO	○	○
MULTI	MULTI	○	○
AUDIO	AUDIO	○	○
ONAIR	ONAIR	○	○
NEXT	NEXT	○	○
VIEW	VIEW	○	○
どれに設定しても	INP1 ERR～INP8 ERR	○	×
どれに設定しても	ALL ERR	○	×

8. 仕様

1. 定格

(1) PRC-0401

◇パラレル I/F

・REMOTE (PARALLEL)

Dsub-25(f) インチネジ 1 系統

◇消費電力

5VA

◇外形寸法

200W×44H×87D(mm)(突起物含まず)

◇質量

700g

◇動作温度

0～0℃

◇動作湿度

20～80%RH(ただし結露なきこと)

(2) VAC12V01A (PRC-0401(DC)付属 AC アダプター)

◇電源入力

AC100～240V 47/63Hz、0.31A 平形 2 ピンプラグ

◇電源出力

DC+12V/1A、XLR-4(f) (1 ピン=マイナス極性、4 ピン=プラス極性)

◇消費電力

MAX1A (12VA)

◇動作温度

0～0℃

◇動作湿度

20～80%RH(ただし結露なきこと)

2. 性能

◇REMOTE (PARALLEL)

◇接点入力

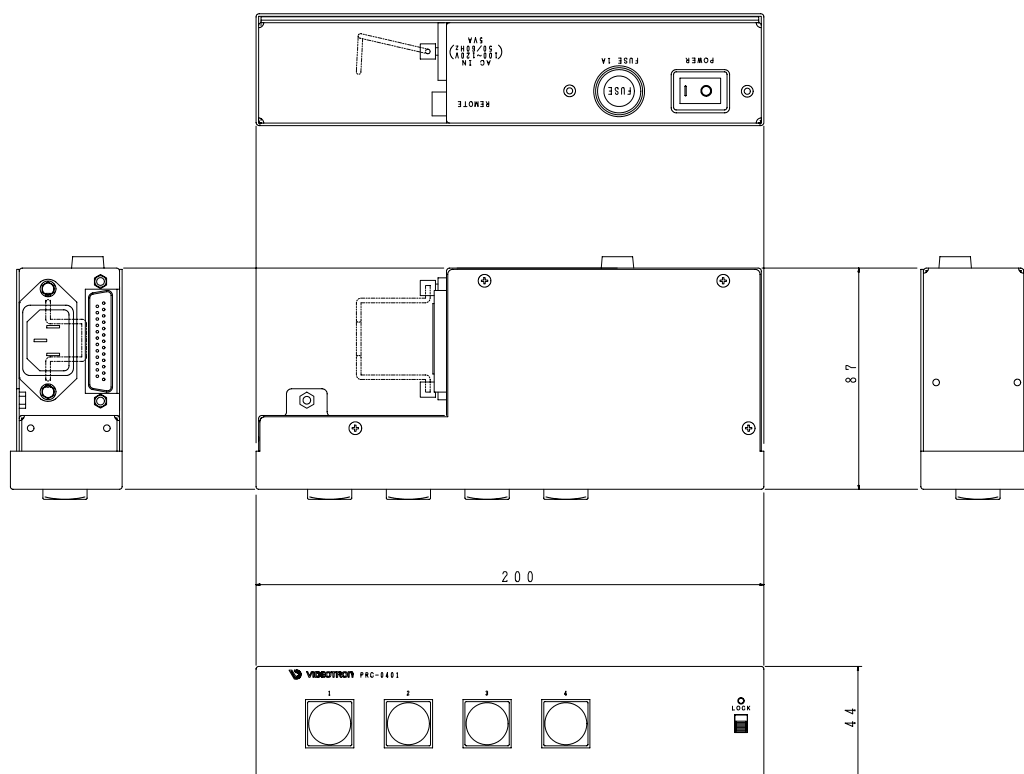
30mA 最大

◇電源出力

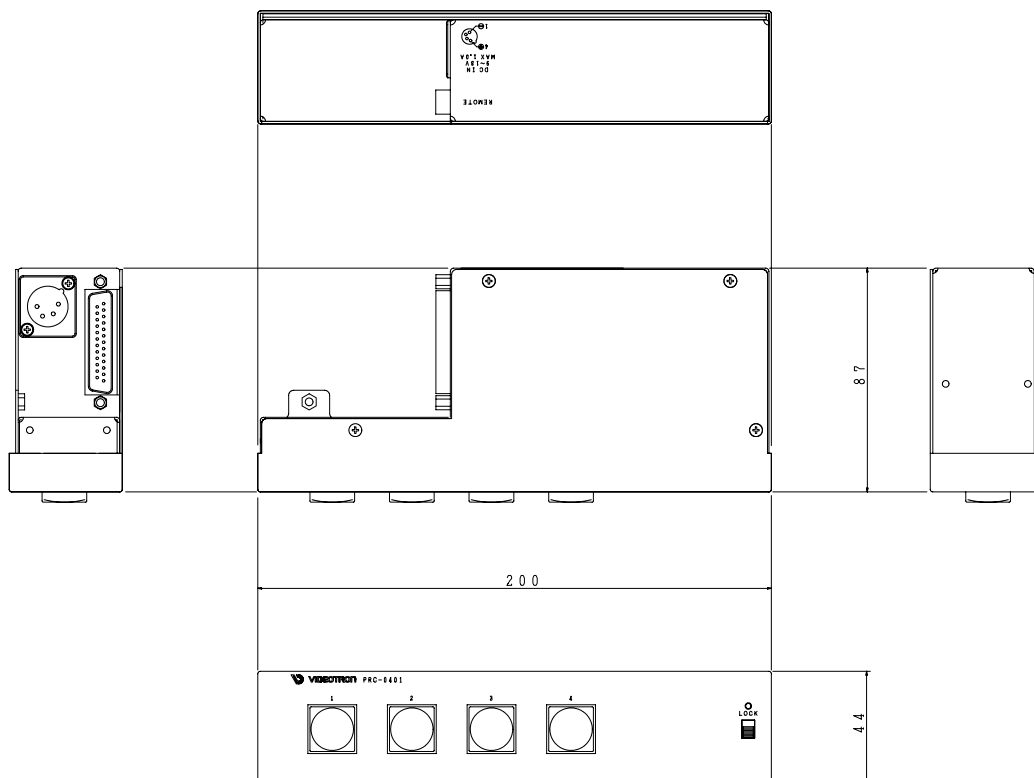
28V/100mA 最大定格

9. 外形寸法

PRC-0401(AC)



PRC-0401(DC)



※一部、外観やスイッチ名称は変更する場合があります。

ご使用者各位

ビデオトロン株式会社

製造技術部

緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。

ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

◎営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社

製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30～17:00

E-mail CS@videotron.co.jp

◎土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507

受付時間 9:00～17:00

※携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますので、あらかじめご了承願います。

無断転写禁止

- ・このファイルの著作権はビデオtron株式会社にあります。
- ・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。